# ２０２２年度　はっとこども園　事業報告

| 分類 | 大項目 | 重点項目（全園＋園独自） | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過<br>（半年後） | 結果<br>（2月記入） | ふりかえり<br>（2月記入） | 次年度の取り組み<br>（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アカデミー（保育＆教育の質の向上） | 理念に基づいた教育・保育 | 教育・保育方針<br>(同年齢の活動・異年齢の活動Wスタンダード) | 子ども同士の繋がりを育む保育<br>（乳児交流・異年齢交流・誕生会P・コーナーゾーン・運動会・発表会） | 随時 | 随時 | [redacted] | 動画・振り返り写真・実践記録 | それぞれの活動ごとに、指導案の作成や振り返りを行ない、ポートフォリオなどで、保護者にも知らせている。 | 誕生会について、乳幼児ともに今一度園として大切にしていく部分を職員で話し合い、共有することで価値を高めた。 | 誕生会の話し合いや今年度導入したクローバーデーなど、話し合いを重ねて実施することができた。乳児の交流も増え、関係が深くなってきたので継続していく。その他も滞りなく実施出来た。 | 来年度も行事を1つ1つ丁寧に振り返り、次にいかしていけるようにしていく。 |
| | | | 主体的で対話的で深いが学びが訪れる保育展開<br>（自然体験・五感を通した学び・ふれあい） | 随時 | 随時 | [redacted] | 週案振り返り | 各クラスで野菜や花を植えたり、感触遊びなどの五感を通した遊びを週案に取り入れ、振り返りをすることで次につなげている。 | 野菜の栽培・感触遊びなど継続的に行なうことができた。 | 様々な活動をする中で、子ども達が主体的に行動できるように考えながら保育を行なうことが出来た。 | 引き続き、子ども達が主体的に学びが深められるような保育を行なう為に、計画や振り返りを適切に行なえるようにする。 |
| | | | ベース会議（全クラスの当期保育検証と翌期保育立案会） | 期 | 8回 | [redacted] | 園だより | 期ごとに各クラスが立てた保育案をもとに会議をし、園だよりで保護者にも伝えている。 | すべての期で話し合いを重ね保育についての具体的な話し合いを行なうことが出来た。 | 10月、2月の期が行事の日で終わる設定をしていた。行事後１週間は見せ合い等で振り返ることがあるので、期を１週間延ばしても良いのではないかと思う。 | 来年度も継続し、保育の広がりやつながりある内容を一緒に考えていく。来年度は、期の区切りの日にちを１週間伸ばした期間にする。 |
| | | 保育者の関係性向上（同僚性向上） | 職種を超えたグループによる教育保育（発表会／一円会議） | 12月～2月／5・10・2月 | 随時／年3回 | [redacted] | 行事記録／一円会議録 | 春に一円会議で科学する心の話し合いを行なった。 | セルフチェックと櫂からの一円会議を後半に行ない、年３回行なうことが出来た。 | 例年はコンセプトブックをすることが多いのだが、今年度は、いろいろなパターンで話をすることができ、得るものも大きかったと感じる。 | 来年度も同じような取り組みをしていく。 |
| | | | 多様なメンバーで開催する全体会議（１or2回制） | 毎月 | 12回 | [redacted] | 議事録 | 10月のみ1回、その他の月は2回制で実施し、小グループは意図的なメンバー編成を考えて行なった。 | メンバーは固定化されずに実施された。 | 誰とでも情報交換に留まらず、活性化した意見を出せる環境となっていた。 | 年次や役割に応じて、意図的に職員間の交流にも繋がるような会にしていきたい。 |
| | | 保護者対応（保護者支援） | 職員の保護者対応ロープレ（要保護家庭／クレーム対応） | 春 | 2回 | [redacted] | 実施記録 | 今年度はまだ実施していない。後期に実施を予定している。 | グループに分かれて電話でのクレーム対応のロールプレイをし、意見交換を行なった。 | 園でも実際に起こった事象をモデルにして、年次の若い職員中心に実施し、全体での意見交換が出来た。 | 回数を増やし定期的に実施していきたい。 |
| | | | 保育参加／個別相談 | 幼児6月・乳児11月 | 2週間／各実施月 | [redacted] | アンケート記録 | 幼児は6月に実施済み。乳児は11月に実施予定。個別相談も随時行なっている。 | 期間を設け、保育参加を実施。たくさんの家庭に参加してもらえた。 | 個別相談は随時行なっているが、特定の家庭が多いように感じる。園の考えを理解していただく必要がある。 | 必要に応じて回数を調整し、引き続き行なっていく。 |
| | | | 懇談会・教育保育内容のプレゼン実施 | 保護者懇談会<br>4月・9月・3月 | 保護者懇談会<br>3回 | [redacted] | 各会の議事録<br>プレゼン資料 | 4月と9月に保護者会を行なった。<br>懇談会の各クラスの議事録もメールで職員共有している。9月にプレゼンを行なった。 | 9月の懇談会で「はっとこども園の特色」のプレゼンを行なった。 | 3月はお知らせ内容を重視し実施なし。次年度の4月に行なう。 | 懇談会が管理職のさじ加減になっているので、現場の先生が全体会等を使ってアピールしたい事を集約していけると良い。 |
| | 地域貢献 | 小学校・養成校など学校との連携 | トライやる・実習生育成・ワークキャンプ・小学校児童館訪問 | 随時 | 随時 | [redacted] | 各種実施記録 | 実習生は8月7名、9月3名、10月1名の実習を行なった。トライやるは6月に2名実施し、11月にも3名実施予定。 | 1月に甲子園学院高等学校の２年生5名の実習受け入れを行なった。 | 3月に5歳児が瀬の浜小学校との交流を予定。実習生、トライやる等の学生を積極的に受け入れることが出来た。 | 来年度も、積極的に受け入れや訪問などの交流を行なっていく。 |
| | | | 学生サポーターP（大学生を中心に） | 夏 | 随時 | [redacted] | メンバー表の策定 | サポーターやボランティアを呼ぶにはまだタイミングとして相応しくない時期と判断し、未実施。 | 学生サポーターの募集に至らなかった。 | コロナの兼ね合いで積極的な展開とならず、優先順位を上げきれなかった。 | 今後の交流に繋げるにあたって学童バイトの学生との交流も検討する。 |
| | | ボランティアプロジェクト<br>（対外、対内、両方とも含む） | 東灘区・灘区における「あおぞら保育」の実践 | 秋 | 1回 | [redacted] | 私保連実践記録 | コロナ禍のため開催されなかった。 | コロナ禍のため開催されなかった。 | コロナ禍のため開催されなかった。 | 次年度は、開催される可能性がある。 |
| | | | ふれまち交流・地域や保護者の園行事への参画 | 随時 | 随時 | [redacted] | ポップ・参画実績 | 地域の18カ所に園だよりを配布。おやじ主催の親子遊び（シャボン玉等）や秋祭りの実施予定。 | おやじの会主催の秋祭り、かもめ組の児童館交流が出来た。 | 昨年度はコロナ禍で実施が難しかったものも、今年度は少しずつ取り組めた。 | 4月にある程度の年間の予定を考えておくことで取り組みやすいと感じた。 |
| | | 地域の子育て支援 | 園庭開放・一時保育・体験保育（随時）／看護師講座＆相談会 | 随時 | 随時／4回 | [redacted] | 利用者記録／実施記録 | 親子ふれあいやタッチケア・園庭開放もできる限り行なった。/親子ふれあいで来園されたご家族に園で流行している感染症についてパンフレット作成して手渡しした。 | 親子の参加が増え、２０組ほどの時もあった。すべての実施ができた。/実施は出来た。 | 親子とタッチケアの年間スケジュールをHPやインスタにあげたり、パンフレット配布で、参加人数が増えたと感じる。/感染症について興味はありそうだが、子どもを遊ばせることが中心であるため、何を提供していくのか考えていく必要がある。 | 親子の人数が増えたことで、ランチルームが使えない日は大変であった。保育との連携をうまく進めていかなければならない。/今後時期的に流行する感染症や、熱中症など注意すべき点について情報提供していきたい。 |
| | | | 親子ふれあい広場・タッチケアの実施／給食体験会・栄養士相談会の実施 | 随時 | 月2回／2回 | [redacted] | 実施記録 | コロナ蔓延時以外は、予定通り進めていくことができた。/試食会を6月に実施した。12月に実施予定です。 | 参加人数も徐々に増え、予定通りに開催できた。/2月に離乳食の試食会を実施した。 | 人数が増えてきたため、活動内容や場所の工夫がもっと必要だった。/今年度、試食会を3回実施出来た。保護者の喫食はまだしていない。 | 参加人数が増えてきているので、次年度も引き続き参加者が増えるよう充実させたい。/コロナが終息していけば、回数も増やし保護者も試食できる様になれば良いと考える。 |
| | 委員会活動の強化 | 食育 | 園内レシピ集の策定（調理員全体の底上げ） | 偶数月 | 2か月に1回 | [redacted] | レシピ | 4・6・8月に実施。8月にレシピ作り、10月は実施出来なかった。12月も実施予定。 | １２月と２月に実施出来た。 | 2ヶ月に１回のペースで実施出来た。 | このペースで続けると丁度よいので来年度も同様に実施する。 |
| | | | 全クラスと連携した食育の実施／農育 | 毎月 | 12回以上 | [redacted] | 食育カリキュラム | 担任と相談しながら、季節を感じられる食育を行なった。/夏野菜の栽培収穫、ひまわりの栽培と種の収穫を実施。 | 栄養士が参加を出来る時と出来ない時があったが、企画は保育者と一緒にできている。/年間を通して、土づくりからの栽培、食育へ繋げた。 | 参加できない日もあったが、栄養士と一緒に食育ができた。/昨年からの土や種を再利用し、子ども達と土づくりから行なった。キンカンやビワなどの果実の収穫から食にもつなげた。 | 調理室と連携を取りながら進めていくのが良かった。出来る形で引き続き行なっていく。/次年度も引き続き、自然の循環も意識しながら行なっていく。 |
| | | | 日本の郷土料理・世界の料理を取り入れた食育の実施 | 随時 | 郷土：2回<br>世界：2回 | [redacted] | 日案 | 年度初めに立案した予定通り、郷土料理と世界の料理を各１回行なうことが出来た。 | 予定通り、郷土料理と世界の料理を２回ずつ行なうことが出来た。 | ２回ずつのペースは丁度良かった。 | 来年度も２回ずつのペースで行なっていけば良い。 |
| | | 保育環境 | 衛生・マナー（職員の規範意識向上）<br>気付いたらキレイに！　自ら挨拶/礼儀 | 随時 | １２回 | [redacted] | 実践記録 | 毎月集まって話をし、職員共有の為に全体会で発表している。またメール発信で共有している。 | 引き続き、毎月月初にマナー委員で集まって目標を話し合った。 | 毎月目標を決めていたが、どれだけの職員が達成出来ているのかは分からない。来年度の課題にしたい。 | 職員の現状を見て目標を決めることができた。目標を達成できるような仕組みをさらに考えていった方が良い。 |
| | | | エコ ：やりっ放し改善・無駄な印刷改善<br>整理整頓 ・ 備品の在庫管理（仕組みづくり） | 随時 | １２回 | [redacted] | 改善記録 | 裏紙を減らす為、裏紙をコピー機の横に移動して利用しやすいよう工夫した。<br>文庫室の備品を整理してロケーション一覧を作成した。 | 月１回、会議をした。毎月の水道光熱費をいくら利用しているか知ってもらうために全体に報告も行なった。 | 文庫室の備品を整理して、備品が探しやすく出来た。 | 棚が今の整理された状態が続くよう声掛けする。光熱費が値上げされているので節電出来るよう気をつける。ロケーションの作成も来年度実施する。 |
| | | | 危機管理を除く各種マニュアルの浸透を検証。改定へ至らせ循環させる。 | 上半期から | 随時 | [redacted] | すべてのマニュアル改定記録・利用記録 | 前年度改訂した乳児マニュアルを読み合わせ「やったマップ」に入れて周知。基本マニュアルも同様に読み合わせに入れていく予定にしている。 | マニュアルの浸透を図るため全体会での読み合わせを行なった。その時期の状況によって読み合わせに入れた。 | 基本マニュアルを読み返す機会があまりないため、初めて読む職員もいたのではないかと思う。良い機会となった。 | 園内に掲示しているマニュアルが変わっていないと思うので、マニュアルの変化とともに職員室に掲示し確認した方が良いと思う。 |
| | | | 園庭環境改善／ミニ園庭を充実させる | 5月から着手 | 随時 | [redacted] | 園庭写真・改善記録 | 園庭でのヒヤリハットや改善箇所の検討を、園庭環境の先生と一緒に着手している。 | 遊具の老朽化しているところを修理依頼した。また、玩具の数や状況を見直した。 | 大型遊具や築山の修理、樹木の剪定など、必要に応じて園庭環境を整えることが出来た。 | 職員からの意見を聞いたり、改善できるところを探したり、ヒヤリハット担当の職員と連携を取りながら進める。 |
| | | | ロフトの環境整備 | 毎月１５日 | 年１２回 | [redacted] | ロケーションシステム構築記録 | 環境整備は進んでいる。ロケーションまで着手出来ていない。 | 卒園式の後に、発表会の衣装・道具類の片づけが出来た。 | 全体的にすっきりと見やすくすることができた。しかし、ロケーションシステムまでは、出来ていない。 | 整ってきているので、引き続き整理整頓を心掛け、ロケーションを構築する。 |

| 分類 | 大項目 | 重点項目（全園＋園独自） | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過<br>（半年後） | 結果<br>（2月記入） | ふりかえり<br>（2月記入） | 次年度の取り組み<br>（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アカデミー（保育&教育の質の向上） | 委員会活動の強化 | 保育環境 | 幼児コーナーゾーンの環境改善 | 必要に応じて随時 | 随時 | [redacted] | ゾーン会議議事録<br>スケール議事 | 毎月開催し、コーナーの共有や環境を整えている。気軽に集まれることから、全体とは別に小グループに分かれたゾーン会議も開催している。 | 後期は行事もあり、なかなか環境を整えることが難しかった。 | 行事の兼ね合いで、週1の環境で2人抜けることが難しく、出来ていない日があった。来年の課題にしたい。 | ゾーン会議を毎月開催することで、行事などの忙しいときも環境に意識を向けることが出来るのではないかと思った。 |
| | | 保育環境 | 乳児コーナーゾーンの環境改善 | 必要に応じて随時 | 随時 | [redacted] | スケール議事録・改善記録 | 毎月の振り返りでコーナーや環境について話し合いをし、改善するところは改善出来ている。 | 各クラスの振り返りの時に環境について話をし、見直しを行なった。 | 毎月、各クラスの振り返りの中で環境を見直し、子どもの姿に合わせて改善することが出来た。 | 環境を変える際に、どのように変えていったのか、写真を撮って記録していっても良い。 |
| | | 危機管理 | ①職員の健康診断<br>②子どもの健康診断（内科検診・歯科検診）<br>③子どもの健康診断（耳鼻科・眼科・尿）④身体測定 | ①冬季<br>②6月・11月<br>③夏季・冬季<br>④毎月 | ①1回②計4回<br>③1回④12回 | [redacted] | 健康記録 | 6月に行なった内科検診、歯科検診について再診の必要のある園児に周知し、質問を受け付けた。 | 日程に添ってすべての検診を実施することが出来た。 | 耳鼻科については早くから日程調整していたが、器具の予約が遅れて借りるのに苦労した為、もう少し早めの連絡をする必要があった。 | 継続して定期的に健診を受けていき、再診の必要のある園児に声掛けしていく。 |
| | | | 危機管理のマニュアルの浸透と検証。改定へ至らせ循環させる。 | 上半期着手 | 1回以上 | [redacted] | 改定記録 | 新たにＢＣＰを作成した。作成したものを園内で循環、浸透は後期に行なう。 | BCPの見直しは行なったが、周知までは出来なかった。 | 職員への周知の仕方が難しかったので、方法を吟味する必要があった。 | BCPが完成したので、来年度は、職員に周知できるようにしたい。 |
| | | | 定時避難訓練、緊急時避難訓練の実施　・　備蓄品の充実 | 毎月 | １２回 | [redacted] | 避難訓練実施振り返り<br>備蓄品リスト | 2ヶ月に1回の緊急時避難訓練を予定通り行なっている。BCPも作成している | 計画通りに行なうことが出来た。BCPを完成させた。 | 看護師と連携をとりながらすべて行なえた。 | 昨年度と同じ内容で繰り返し行なうことで、本当の緊急の時に、それぞれが考えて動くことができると思う。 |
| | | | ヒヤリ・ハットの検証／発生通知の分析 | 5月・2月 ／ 毎月 | 2回 ／ 月1回 | [redacted] | ヒヤリハット記録 ／<br>発生通知集計 | 5月に集計して、園庭環境を変えている。/毎月集計し、MLにてその月の傾向などを交えながら発信している。 | 環境など、場所のヒヤリハットは記録しているので、その都度改定出来ている。場所以外の場合は、感じた時にすぐにメモに書けるシステムを作り、職員全体で意識できるようにした。/毎月集計し、結果と傾向をMLにて発信した。 | 職員室の目につくところにメモを用意し、すぐに書けるようにして集約した。/問題なく行なえたと思う。 | 引き続き、改善点を見つけながら進めていく。/引き続き、同様の形式で継続していけば良いと考える。 |
| | LLを柱とした保育実践と研鑽 | ラボ（実践＝学び）（研究＝ふりかえり）<br>スケール（評価） | 乳児サーキット検証改善／食育研究（やりきる）／科学する心研究 | 随時／随時／随時 | 6回 ／6回 ／随時 | [redacted] | 動画と研究記録 ／<br>論文とプレゼン資料／<br>ソニー資料（2023年夏投稿） | サーキットは半期で2回変更している。まとめたものを作成予定。／科学する心について話し合いをし、テーマを決めた。/論文研究後初めて、栄養士と一緒に作るクッキングの会を行なった。 | 発表会前に舞台ありのサーキットに変更したが回数はあまり出来なかった。/カレークッキングは、今年からの進め方や頻度で子ども達も取り組みやすそうに感じた。/他園の研究保育や講演会・勉強会に参加し、知識を深め自園の取り組みの参考とした。 | ２歳児のサーキットは、体育遊びの先生にアドバイスをもらいながら行なうことが出来た。/研修を受けることで他園で実践している科学する心について知ることが出来た。/毎年違う職員がクッキングに入るので、論文内容を最初に共有することも大切に感じた。 | 次年度は、２歳児だけでなく１歳児も体育遊びの先生にアドバイスをもらうのはどうか。/自園で見られる科学する心をまとめソニーに応募する。/来年も同じようにクッキングに取り組む。 |
| | | | 絵画活動（３原色） | 随時 | １０回 | [redacted] | 種子の冒険 | 5月に3歳児クラスで3原色の実践を行なった。乳児では絵の具との出会いを軸に実践を記録している。幼児は後半に実施を検討中。 | 各クラスで行なった絵具遊びや絵の具を使った排出遊びで、３原色に関わる活動をまとめた。 | 各クラスの提出やまとめがギリギリになったので、余裕をもって取り組めたら良かった。 | 実際に行なった活動を、写真や動画にもまとめ、分かりやすくした。一年を通して段階をお追った活動をし、それを分かりやすくまとめていきたい。 |
| | | ライブラリー（データベース・ファイリング） | 種子の冒険（活用と更新） | 6月・11月 | 5項目以上 | [redacted] | 種子の冒険 | 更新されている内容の改定に着手している。 | ５項目以上の改定を行なうことが出来なかった。 | 優先順位が低くなってしまったので年度初めに改訂項目を決めるなど、具体的な見通しを持つと良かった。 | 改訂項目に見通しを持って行なう。 |
| | | | ハタチプロジェクト | 随時 | 1回 | [redacted] | アンケート交流記録 | 前期は動いていない。後期に20歳になる卒園児に手紙を送る予定。 | 後期も送付するまでは出来なかった。 | はたちプロジェクトに取り掛かる時間がなかなか取れなかった。来年度の前期に行なう。 | 毎年できたらいいが時間が見いだせなかった。しかし、しない年があると良くないので、来年度前期に今年度分を行なう。 |
| アカデミー&マネージメント | 研修の充実 | 内部研修 | 園内公開保育 ・ 保育者交換 ・ ECEQ | 随時 | 3回 | [redacted] | ML・記録・動画 | 乳児と幼児の保育者交換は行なった。幼児のスケールを予定通り行なった。 | ECEQ以外は実施できた。ECEQは再来年度実施することにする。 | 乳児スケールを予定通り１２月に行なった。 | 保育者交換の回数を増やしてもいいと思う。プレスケールだけでなく、園内公開保育も行なっていき保育の向上を目指す。 |
| | | | 一円会議（エピソード・コンセプトブック・子どもの権利条約） | 毎月 | １人１回程度 | [redacted] | 実施記録 | 毎月の全体会で読み合わせをしている。 | 後期に、権利条約に関わる虐待の話をした。コンセプトブック、種も毎月の全体会で読み合わせをしている。 | 定期的に行なうことができた。 | 今年度も全体会での読み合わせを行なうと良い。 |
| | | 外部研修 | 社協研修 ・ 私保連研修 ・ 経営協研修 ・ キャリアアップ研修 | 随時 | １人１回以上 | [redacted] | 研修記録・全体報告 | キャリアアップ研修を含めた各種研修へ計画的に参加している。 | キャリアアップ研修以外は法人内研修もいろいろあったので、外部の研修はあまり行くことが出来ていない。 | 開催時期、年次やクラス等に合わせて、必要な内容を受講し、研修報告のメール発信や全体会で報告をするようにした。 | 研修を受けた後にどのように全体周知や保育に活かしていくかの工夫をする。 |
| | | | 他園見学・キッズいわき研修 | 随時 | 随時 | [redacted] | 研修記録・全体報告 | 他園見学の実施はない。キッズいわき研修は受講した。 | キッズいわき研修では園内の参加者も増え、保育に反映することができた。「科学する心」の研究発表園の公開保育に数名参加できた。 | 参加や受講したことを、全体会やメール発信等で報告出来ている。 | これからも参加者が園全体に発信し、循環浸透が出来るようにする。 |
| | | 法人内研修 | ライジン（公開保育） | 6月・11月 | 2回 | [redacted] | ライジン・スケール議事録 | 幼児は６月に実施済。乳児は12月に予定している。 | １２月に乳児スケールを実施した。 | ライジン当日は、クローバーデーで異年齢交流をし、好きな遊びを選んで遊べるようにした。 | スケールは今年度同様、項目を絞って継続した保育に活かせる内容としていきたい。 |
| | | | 新任研修・合同会議・年齢別会議・ひらめき会・久保研・藤森研・食育プロジェクト・保健プロジェクト | 随時 | 随時 | [redacted] | 研修報告・会議議事録 | すべてに参加し、参加後には各自が研修記録を作成し共有している。 | それぞれの研修に該当する職員が参加し、報告をメールや会議で発信した。 | 発信したことや学んだ事を保育に取り入れたりすることができた。 | 報告するだけでなく、保育に活かせるような工夫や、循環浸透ができる仕組みづくりをする。 |
| | 人財育成・人事評価 | ヘキサゴン　（スキルアップ支援プログラム） | スキルアップ支援（シート＆面談） | 上半期・下半期 | 随時<br>（最低3回） | [redacted] | スキルアップシート・<br>ヘキサゴンシート | 春に面談を行ない、スキルアップシートについて話をした。 | ２月後半から自身の振り返りを行なった。 | 順にリーダーと面接を行なっている。 | それぞれの振り返りを来年度に活かしていけるようにした。 |
| | | | ヘキサゴンの活用 | 上半期・下半期 | 随時<br>（最低3回） | [redacted] | ヘキサゴンシート | 5～6月に実施。10～11月に上半期を振り返り、後半の目標を立てた。 | 2月後半から年度末の振り返りの記入を開始した。 | 3月よりリーダーと管理職が一緒に面談を行なう。１年の振り返りと来年度に向けた話し合いができ、状況を共有する。 | 今年度実施した方法を振り返り、検討しながら引き続き行なっていく。 |
| | | 職員面談　（自己評価・他者評価） | 目標面談・キャリアアップ面談 | 4月・10月・3月 | 3回 | [redacted] | 面談記録・<br>キャリアアップ実績報告書 | 目標面談は、４月に全職員が実施した。<br>キャリアアップ面談は、対象者が4月と11月に実施した。 | 予定通り実施した。 | 1年の成果を振り返る良い機会になっている。 | 次年度はキャリアアップメンバーの変更もあるため、全体的なバランスを考えていきながら目標を決めていきたい。 |
| | | メンター・メンティ | メンターとメンティーの対話 | 5月～2月 | 10回 | [redacted] | メンターメンティ報告書 | 毎月滞りなく行なえている。実施後には報告書を提出し、確認している。 | 予定通り実施することが出来た。 | メンターメンティーの時間を利用して日頃の疑問点について話すことが出来た。 | 前月の用紙が返却されてから行なう。その為に用紙返却の期限をつける。 |
| | 法人外部評価 | 第三者評価や施設関係者評価（学校評価）の活用 | 施設関係者評価の実施 | 12月 | 1回 | [redacted] | 第三者評価の受審実績 | 第三者評価については、6月に受審し、10月に公表となる。 | 予定通り実施し、公表した。 | 自園の課題等が見えた部分もあり、定期的な受審は必要と感じた。 | 次年度は予定なし。3年毎に受審していく。 |

| 分類 | 大項目 | 重点項目（全園＋園独自） | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過<br>（半年後） | 結果<br>（2月記入） | ふりかえり<br>（2月記入） | 次年度の取り組み<br>（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| マネージメント | 財務 | 人件費率マネジメント | 適切な職員配置　人件費率７０%以内で「7・1・1」を確保 | 通年 | ２回以上 | [redacted] | NCT確認表 | 適性な人員配置でNCTも概ね実績を確認できている。 | 行事前などＮＣＴの確保が難しい時期もあった。 | 公平なＮＣＴとなるように職員同士で努力し合う姿があった。 | より平等で多くの機会が設けられるように工夫してきたい。 |
| | | 積立金確保 | 積立金計画の作成・遂行 | 通年 | 毎月 | [redacted] | 月次予算 | 月次で積立金計画を意識し確認している。 | 予定通り遂行出来た。 | 天王寺保育園・みやざき保育園工事代金を繰入した。補助金も予定通り申請出来た。 | 各補助金申請に漏れがないよう気をつける。 |
| | | 適切な予算立てと予算執行 | 財務会議 ・ 事務員会議 | １シーズンに1回 | 4回 | [redacted] | 予算書・稟議書 | 事務員会議や会計研修、内部統制研修に参加し、適切な予算執行を行なっている。 | 収入・支出で変更があれば報告し、修正をした。 | 今年度より予算清算書を作成したので収支が分かりやすかった。 | 予算清算書を活用して、次年度予算の計画を立てる。 |
| マネージメント | 財務 | 適切な予算立てと予算執行 | 大型物品購入・修繕工事<br>（園庭トイレ改装・園庭緑化木育・園庭遊具検討・ホール乳児部屋の床研磨・うみの部屋の扉改善） | 随時 | 随時 | [redacted] | 見積書・契約書 | 築山の土止めの修理。総合遊具のロープの交換。幼児用の背なし椅子の購入。玄関の鍵の設置とミホランドの撤去を予定している。 | 園庭の総合遊具の修理・ランチルームのボールの修理をした。 | 園庭の総合遊具で、ロープ・つり橋・登坂を修理した。老朽化しているので他の箇所も点検をしてもらった。ミホランドは撤去した。 | 1階床張り替えと園庭トイレ改装を行なう予定にしている。 |
| | 運営強化 | 人財定着化と個々の底上げ方法（マネジメントブック糧の活用など） | マネジメントブックの活用 | 毎月 | １２回 | [redacted] | 全体会議記録 | 全体会のタイミングで音読している。1人1人への浸透のきっかけづくりにはなっている。理念研修でも活用されているため浸透度が高まっていると推察している。 | 毎月、継続的に手に取り音読した。 | 糧とコンセプトブック、共に扱っていきながら進めることが良かった。 | 来年度もその時の職員の置かれている状況に合わせ、目と耳でテーマに触れていきながら理念を深めることに繋げていきたい。 |
| | | 情報とテクノロジーを活用した運営 | 動画を中心としたコンテンツの配信増加・チャイルドケアウェブ | 随時 | 随時 | [redacted] | アプリの更新状況 | CCWの不具合改善をCCW社と連絡を取りながら行なっている。今日の様子も電子連絡帳を発信するなど活用している。 | CCWの不具合改善や新機能を取り入れた。 | CCW社と連携をとりながら改善等行なうことができた。 | 引き続き改善等行なっていく。 |
| | | 園の魅力を伝わらせるための広報・宣伝実践 | SNS（Instagram・Twitter）／HP更新 | 随時 | 週１回程度 | [redacted] | データ実績／更新実績 | 更新日を決めて、更新している。（毎週金曜日）インスタも職員輪番で回し、取り組むことが出来ている。 | Instagramは輪番制を導入して各職員で毎週金曜日に投稿することが出来、HPも同じく毎週金曜日を更新日として決めた。 | 毎週金曜日に投稿、更新と決めたが、時間が取れなかったり、忘れてしまっていることもありできないこともあった。 | HP更新、Instagram投稿共に勤務時間内にできるように時間を作る。 |
| | | 採用活動の強化 | 各種フェアへの参加⇒園見学者の増加⇒WEB面接の実践 | 5月～8月<br>11月～2月 | 随時 | [redacted] | 応募者実績 | 6月にweb説明会、7月に対面でのフェアに参加。保育教諭、栄養教諭が複数名園見学に来られ、来年度採用者も決定した。 | 2月に令和6年度に就職希望の学生が来園した。 | 採用については早くから動くことで複数人の応募があった。養成校との連携を図ったり、園の情報を様々な面から発信していく。 | 来年度も早い時期から対面、WEB面接等に積極的に参加していく。 |
| | | | 養成校への働きかけ | 必要に応じて随時 | ２回以上 | [redacted] | 委員会記録・訪問実績 | コロナ渦で養成校訪問の機会はないが、実習担当の先生方との座談会が開催予定。（11/17） | 座談会の実施があり、交流は持てた。 | アフターコロナへ向けて、養成校へ積極的な展開を考慮したい。 | 調査研究委員会から外れることになったが、養成校にはイベント等を通じて連携を図っていきたい。 |
| | | 制度の活用と改善（ロビー活動など） | ロビー活動の強化（地域自治体・議員・保育連盟へのアプローチ） | 必要に応じて随時 | ２回以上 | [redacted] | ML発信（実績報告） | 灘区議会議員へ共同保育の相談。私保連へのアプローチを実施している。 | 議員との交流、園長会等で行政と意見交換を行なった。灘区長や福祉部長との懇親も図れた。 | 行政・議員などへのアプローチを強化したことで繋がりを持てた年であった。 | 持続して関係性を持っていけるようにしたい。 |

# 2022年度　なかはらこども園　事業報告

| 分類 | 大項目 | 重点項目（全園） | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過<br>（半年後） | 結果<br>（2月記入） | ふりかえり<br>（2月記入） | 次年度の取り組み<br>（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アカデミー（保育＆教育の質の向上） | 理念に基づいた<br>教育・保育 | 教育・保育方針<br>(同年齢の活動・異年齢の活動Wスタンダード) | 理念研修(マネジメントブック・コンセプトブック) | 乳幼児会議<br>全体会議 | 年間12回 | [redacted] | 乳幼児会議議事録<br>全体会議議事録 | 全体会議でコンセプトブックや糧を一読した。引き続き行なう予定である。 | 毎月の全体会にて糧やコンセプトブックを音読し学びを深めた。 | その月に注力したい項目を選択し、全体で理念の浸透を行なった。 | 引き続き、全体会で音読し意味や内容を深め合っていく。 |
| | | | ①乳児会議②幼児会議 | 毎月 | ①２週に１回<br>②週１回 | [redacted] | 乳幼児会議議事録 | ① 乳児会議は目標回数より減少気味であるが、ピンポンパンデーの振り返りで集まる際に必要事項があれば伝えるようにしている。<br>②クラスの連絡事項や話し合う項目がある時に随時開催するようにしている。<br>またフリーデーでの振り返りや計画の際も集まるようにしている。 | ①共有しておきたいことは乳児会議を設けたり、ピンポンパンデーの振り返りで話し合いを行なった。②クラス間で話し合いができ、それぞれ伝達し合うことが出来た。 | ①毎月は難しくても、ピンポンパンデーで話し合う時間を設けたので、定期的に開催することができた。<br>②行事が増えることに日を設けることが難しくなったが、クラス間で話し合いができ、それぞれ伝達し合うことが出来た。 | ①来年度も月に１度は乳児会議を行なっていくようにしていきたい。<br>②来年度も必要に応じて話し合う時間を設ける。それ以外は日々口頭で伝え合い連携を取っていく。 |
| | | | 月案会議 | 毎月 | 月１回 | [redacted] | 月案会議議事録 | 毎月ではないが、話し合っている。 | 期案や月案を立案する前に話し合った。 | 毎月の話し合いはなかったが、日常の保育での話し合いの機会はこまめに設けた。 | 普段から各担任との保育内容については話し合う時間を設けていきたい。 |
| | | 保育者の関係性向上（同僚性向上） | ①グループ討議（全体会・乳幼児会議）<br>②乳幼児担任交換 | 随時 | 随時 | [redacted] | 全体会議議事録 | ①必要に応じて開催している。秋口はテーマを決めて積極的に行なっていく。<br>②7、8月に実施。出来ていないメンバーは11月以降に行なう予定。 | ①人権擁護・危機管理など、さまざまな観点で話し合う事ができた。②全員が取り組むことができた。 | ①３～４人での小グループ討議で話しを進め、学びのまとめとして４～５個文章にまとめることで学びを共有し深めることができた。②新しい気づきであったり、乳幼児共に意見交換をすることができた。 | ①来年度も継続して実施する。テーマは繰り返しになるものや時事ネタなど柔軟に決めていくと丁度良い。　②来年度は子ども達の様子や、職員の人数を十分に確保し、実施していきたい。 |
| | | | 組織作りの再構築（年次に応じたグループワーク） | 随時 | 随時 | [redacted] | 会議議事録 | 網羅はしていないが、グループワークを通じて、園運営の再構築に繋がるような取り組みを行なえている。 | グループに偏りがでないようにして様々な年次の人と話しをすることができた。 | １年間を通して、グループワークをするメンバーをその都度決めて実施することで偏りなく話し合う事ができた。 | 来年度も同様に実施する。 |
| | | 保護者対応（保護者支援） | ①全体懇談会・クラス懇談会<br>②クラス親睦会<br>③保育参加（振り返り） | ①４月<br>②随時<br>③10・11月 | ①②年１回<br>③不定期 | [redacted] | 案内・記録 | ①４月に開催した。全体で集まることは避け、クラス毎で話し合った。<br>②コロナ感染拡大の為、中止。<br>③乳幼児、共に開催した。振り返りはアンケート用紙に記入。 | ①４月に開催した。全体で集まることは避け、クラス毎で話し合った。<br>②コロナ感染拡大の為、中止。<br>③乳幼児、共に開催した。振り返りはアンケート用紙に記入。 | コロナ禍でも開催できる方法を検討し、実施できるようにした。 | 来年度は、通常通りに実施したい。 |
| | | | 行事お手伝い（①夏祭り②運動会） | 夏祭り前・運動会当日 | ①４回<br>②１回 | [redacted] | 議事録 | ①②コロナ禍の為、保護者には依頼せず、職員で行なった。 | ①②コロナ禍の為、保護者には依頼せず、職員で行なった。 | コロナ感染者が増加した為、夏祭りは秋祭りに変更し、お祭りも運動会も保護者に依頼しなかった。 | 準備は職員で行ない片付けのみ保護者に依頼する予定にしている。 |
| | 地域貢献 | 小学校・養成校など学校との連携 | 実習生受け入れ | 随時 | 年２０名程度 | [redacted] | マニュアル | 現在6名の受け入れが完了している。後半も同数程の受け入れの予定がある。 | 予定している学生は全て実習を無事に終えることができた。 | コミュニケーションを取ることが難しい学生が数名おり学校の先生との連絡が需要であると感じることが多くなったように感じた。また実習生が縁となり就職者の獲得に繋がる件もあった。 | 今後も学校との連絡を密に取りお互いが気持ちよく関われるようにすると共に就職に繋がることも視野に入れ積極的に受け入れていきたい。 |
| | | | 交流会（①小学校・②中学校）保幼小連携会議 | 不定期 | ①4回②数回 | [redacted] | 振り返り | ①現段階ではコロナ感染拡大防止の為、実施されていない。<br>②現段階では実施されていない。 | ①2月に摩耶小学校との交流会が行なわれた。<br>２４歳児は、上野中学校との交流会を行ない触れ合うことができた。 | ①1年生が小学生になってできるようになったことの発表を聞いた。<br>２4歳児は、上野中学校と交流することができた。 | ①教室や授業の様子を見ることができるいい機会なので、これからも続けていきたい。<br>②コロナも落ち着いてきたので、次年度は行なえるようにしていきたい。 |
| | | ボランティアプロジェクト<br>（対外、対内、両方とも含む） | 養成校ボランティア受け入れ | 随時 | 随時 | [redacted] | マニュアル | インターンシップで１名受け入れた。<br>ボランティアも受け入れ体制を整えているが、現在は学生から声がかかることがない。 | 養成校の学生ではないが、職員の友達が会社の取り組みで、園にボランティアで来園した。 | １年を通して、ボランティア希望者は少なかった。園からも発信する必要性も感じた。今年度、ボランティア証明書を作成した。 | 来年度も同様に受け入れていく。実習生の巡回に来られる先生などにボランティア受け入れの話をしていき、実施人数を増やす。 |
| | | | お話ポケット（地域の方読み聞かせを乳幼児で実施） | 4月～１２月（予定） | 年１０回 | [redacted] | 振り返り | 予定通り開催しているが担当の方との意思疎通が難しい所がある。<br>今年度は2歳から5歳にして頂いており、各学年が楽しんで参加できているように思う。 | コロナウイルスの関係もあり毎月ではなかったが、実施することができた。 | 子ども達も見たことのない本、園にもある本と楽しんでみている姿があったが、少し冊数が多く長く感じた。 | 地域の方と相談し時間を決め冊数も決めていく。20分程度が理想。(約2冊) |
| | | 地域の子育て支援 | （園内）①親子ふれあい<br>②園庭開放 | ①１０、１１月<br>②随時（木曜日省く） | ①年４回<br>②随時 | [redacted] | ①振り返り<br>②記録 | ①6月と10月に開催。13～１６家庭ほどが参加。親子ふれあいをきっかけに園見学に繋がった方もいた。<br>②今年度より予約制をやめている。上半期で5組の利用があった。 | ①3回行なったが、その回も１０組以上の参加で入園希望につながった。②年間利用者は13組だった | ①触れ合いの内容を吟味して毎回行ない、地域の親子になかはらの遊びを知って頂けた。②予約制度を廃止し、いつでも利用できるような体制へ変更した | ①次年度も引き続き開催し回数を増やす。<br>②園の掲示板などを活用し、もっと利用してもらえるような環境を整える |
| | | | （園内）③ヨガ、体操<br>④コンサート | ③7、１１月<br>④１２月 | ③年2回<br>④年１回 | [redacted] | ③④振り返り | ③ヨガ・体操教室の講師の先生が都合悪く、今年度は実施しないことを決めた。<br>④前期実施なし。 | ③実施なし（前期同様）<br>④コンサートはしていないが、原坂先生の講演会を実施した。 | ③ヨガの実施は難しかったが体操は職員がふれあい広場日に実施した。<br>④コロナ禍の為、できなかった。 | ③地域委員会と連動して遊びの広場を多様に実施していくと良い。<br>④ニャリみゆきさんや原坂先生、たかしさんとゆかいな仲間達など来年度も何か企画しても良いと感じる。 |
| | | | （園外）①地域福祉センターでの出前保育<br>②デイサービス交流<br>③原田児童館の学童との交流 | ①12月<br>②7月、12月<br>③随時 | ①１回<br>②２回<br>③随時 | [redacted] | ①記録<br>②③振り返り | ①12月２日に参加予定である。<br>②コロナ感染拡大防止の為、実施なし。<br>③11月・12月に実施予定である。 | ①③制作、リトミック、ふれあいあそびなど1時間あそびの計画を立てて行なった。<br>②コロナ感染拡大防止の為、実施なし。 | ①③事前に年齢を聞き楽しめるものを考えて実施することができたように思う。<br>②コロナ感染拡大防止の為、実施なし。 | ①③子どもや保護者の様子も事前に聞き、みんなで参加できる方法を事前に考えていけるようにする。<br>②次年度は実施できたらと考えている。 |
| | 委員会活動の強化 | 食育 | 日本の郷土料理、世界の料理を取り入れた食育・乳児食育(野菜の皮むき・食材説明) | 通年 | 年７～８回 | [redacted] | 計画案 | 日本の郷土料理と世界の料理の食育は、コロナ禍の影響もあり簡略化したが、１０月より栄養士と保育教諭で取り組んでいる。 | 日本の郷土料理と世界の料理の食育を１０月より栄養士と保育教諭で取り組むことができた。 | 感染症の状況とうまく付き合い、簡略化したり保育教諭と連携をとったりしながら、食育を行なうことができた。 | 世界の料理を6月から11月に給食かおやつで　提供し、栄養士と保育教諭と協力して食育を行なう。 |
| | | | 行事食の充実、各クラスでの食材の紹介、なかよし鍋、<br>食事マナー（食べる姿勢・正しい食器の位置・お箸の持ち方を年長児と） | 通年 | 随時 | [redacted] | 会議議事録 | 行事食は、七夕（そうめん）・夏至（冬瓜）のメニューを提供した。<br>食事のマナーは給食の時に保育士、栄養士から各々声をかけている。 | 行事食は、冬至（かぼちゃ）・春の七草（七草粥）・節分（恵方巻）のメニューを提供した。ひな祭り（ちらし寿司）・なかよし鍋は3月に行なった。 | 行事食は年6回提供し、行事食の意味や由来などを掲示や子どもたちに直接お話しすることができた。食事のマナーは給食時に保育教諭や栄養士から声をかけた。3月には3歳児に箸指導を行なうことが出来た。 | 行事の大切さや意味を理解して今年度にもらえるように引き続き行事食を提供していく。食事のマナーは箸指導に力を入れていきたい。 |
| | | | クッキング（栽培からのクッキングや食材の皮むき、旬の食材を使用）<br>５歳児やりきるクッキング、野菜の栽培や収穫、新メニューの開発 | 通年 | 各クラス<br>年３～５回 | [redacted] | 計画案 | 夏に幼児クラスでとうもろこしの皮むきを実施した。<br>野菜の栽培は各クラスで成長過程や収穫した野菜を観察している。<br>新メニューは、月に１～２品ずつ取り入れることができている。 | ４歳児クラスはピーラー、包丁を使用する練習を行ない、５歳児クラスでさつまいもの食べ比べをおこなった。新メニューは、月に１～２品ずつ取り入れることができた。 | 感染症の都合でクッキングの予定は変更となりできないこともあったが、可能な範囲で調理器具をしようすることができた。新メニューは毎月取り入れることができた。 | 感染症対策をしながら、クッキングや野菜の皮むきを行なっていきたい。新メニューも取り入れて子ども達に色々な食材や味付けに触れてもらいたい。 |

| 分類 | 大項目 | 重点項目（全園） | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過<br>（半年後） | 結果<br>（2月記入） | ふりかえり<br>（2月記入） | 次年度の取り組み<br>（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 保育環境 | 園庭改良（丸太の埋め込み）、植栽（外環境）、ビオトープ作り（外環境）<br>乳幼児のコーナー、ゾーンの整備（内環境） | 随時 | 随時 | [redacted] | 決算報告書 | 室内のコーナーゾーンの充実は、日常の保育の中でも行ないその都度子ども達に合わせて環境設定をしている。丸太の埋め込みは終了している。植栽はどんぐりも実り育ってきている。<br>ビオトープは１１月以降に取り組んでいく予定である。 | 園庭環境、コーナーゾーン共に定期的に手を加え整えている。引き続き植栽ビオトープ作りを進めていく予定。 | 当初予定の形から大幅に変更しトロ箱を使って製作することとなった。赤玉土を入れ水をはり水作りをしている。 | 水が安定しつつある中で、砂を入れる園児が多く悪化の原因にもなる為クラスで話をし、エビ→メダカの順番に入れていく。 |
| アカデミー（保育＆教育の質の向上） | 委員会活動の強化 | 危機管理 | ①子どもの検診（内科健診、歯科検診、眼科健診、耳鼻科健診）視力・聴力検査<br>②職員の健康診断（予防接種・定期健診・生活習慣病予防検診）<br>乳がん・子宮がん検診（自己負担） | ①5月、6月、10、11月<br>②4～6月 | ①内科2回、他1回（対象児もあり）<br>②年1回 | [redacted] | ①健康記録<br>②健診記録 | ①春の検診は予定通り実施できた。10月11月に後半の検診実施を予定している。<br>②10月・11月に実施を予定している。 | ①後半も計画通りに実施できた。<br>②11・12月に予定通り実施。 | ①1年を通して計画通りに実施することができた。<br>②スムーズに予定期間前後に実施することができた。 | ①2来年度も計画通りに進められるようにスケジュールを組むようにする。 |
| | | | ①避難訓練（火災・地震・水害・不審者・小学校避難・消火訓練）<br>②ＡＥＤ・アナフィラキシー対応・熱性けいれん（人形を使用して心配蘇生訓練）<br>③看護師による保健指導・実演指導・保健会議（子ども・職員向け）看護師会議 | ①毎月<br>②半年に１回<br>③随時 | ①１２回<br>②年間各２回 | [redacted] | ①避難訓練実施報告書<br>②記録<br>③会議事録 | ①月１回実施できている。<br>②６月に実施できている。<br>③職員向けの保健会議は全体会の中で行なっている。<br>2か月に1回行なう予定にしていた会議に関しては開催方法について検討中である。 | ①コロナ感染者の状況をみながら全体やクラスで集まり実施した。②2月に実施出来ている。③職員向けの保健会議は全体会の中で行なっている。2か月に一回行う予定にしていた会議は今後どのように行なうか検討中である。 | ①１ヵ月に１回実施できた。②年2回実施できた。アナフィラキシーの訓練に関しては、新学期が発生しやすいため、来年度は早い時期に実施する③職員向け保健会議は全体会の中で行なうことができた。次年度の保健会議をどのように行なうか検討をする。 | ①2次避難を各クラスで行なうことができた。次年度も引き続き行ないたい。②実施時期を見直し実施していく。③次年度どのように保健会議を行なうか全体会で議題について話し合いをすることが必要である。 |
| | | | 非常食の充実、非常時の具体的対応と持ち出し品の見直し、災害時の机上訓練、<br>避難ルート確認、避難訓練のマンネリ化をふせぐ、備品の充実 | 2か月に１回 | 6回 | [redacted] | 各記録 | 各項目、点検や見直しをし改善している。 | 各項目、見直し点の改善策を思考中。 | 不足分や改善の必要な箇所が分かったので、今後どのように改善していくかを検討していく。 | BCPを作成し全体へ周知する。 |
| | LLを柱とした保育実践と研鑽 | ラボ（実践＝学び）（研究＝ふりかえり）<br>スケール（評価） | 幼児：プレイルームの充実（コーナー、ゾーンの充実・研究）<br>乳児：ピンポンパンデーの確立と充実（乳児フリーデー） | 随時 | 随時 | [redacted] | 資料・振り返り | 幼児：各コーナの担当が中心になりあそびの様子や季節に応じて変更している。<br>乳児：各コーナーで毎回の振りかえりを基にあそび内容の充実や環境設定などを行なっている。 | 幼児：各コーナー担当者が臨機応変に変更していった。<br>乳児：予定通り回数もコーナー担当者も割り振りして、充実した内容だった。 | 幼児：あそびの様子や季節に応じて変更することが出来た。フリーデーも充実することができた。<br>乳児：毎回、細かく振り返りをして回を重ねることにあそびの内容も広がった。神戸市の研究会の方々に向けて公開保育も行なえた。 | 幼児：担当が変わるところもあるので、引継ぎを行ない、引き続き子ども達の楽しめる環境つくりを行なっていく。<br>乳児：次年度も担当と時期を計画して子どもの興味関心を探りながらすすめていく。 |
| | | | 乳幼児の交流保育 | 5、6、10、11、3月 | 年間5回 | [redacted] | 記録・振り返り | 前半はコロナ感染拡大予防の為に、交流は避けてクラス活動を行なった。<br>後半に乳幼児での交流を検討中である。 | コロナ禍の為、今年は交流は避けた。 | コロナ禍の為、今年は交流は避けてクラス活動を行なった。 | 今年は乳幼児の交流保育は実施していないが、来年度は少しずつ実施できたらと思う。 |
| | | | 体操の動画作成 | 随時 | 随時 | [redacted] | 実践集・動画 | まだ作成できていない。年度後半に作成を予定している。 | 存続の体操を各クラス行なっている。 | 流行や子ども達の好きなものが変わってくるので新しい体操を覚えて子ども達と一緒に楽しむ事ができた。 | 今年度と同じように進めていく。 |
| | | | プロジェクト型保育の充実（2～5歳） | 毎月 | １２回 | [redacted] | 乳幼児会議議事録<br>全体会議議事録 | (2歳児クラス)<br>四季について取り組んでいる。月の制作を通して四季折々の物を取り入れ活動している。<br>(3歳児クラス)<br>園内や散歩に行った時などに、色んな形に目を向けたり触れたりし、様々な形を意識するようにしている。<br>(4歳児クラス)<br>自分達の野菜を植えて育てたりクラスの生き物のお世話を通して、育てることの難しさや責任について感じている。<br>(5歳児クラス)<br>いちご・ゴーヤ・さつまいもを栽培し、観察・収穫など五感を意識しながら取り組んでいる。 | (2歳児クラス)<br>絵本で季節について学んだり制作で季節を感じることができた。<br>(3歳児クラス)<br>散歩に出かけた際に標識や看板に目を向けて形に触れたり、園庭の葉っぱや玩具の形などを見ながら子ども達と触れてきた。<br>(4歳児クラス)<br>自分の野菜に水やりを毎日行ない大切にする姿があった。餌やりは当番を決め責任をもって行なうことが出来ていた。<br>(5歳児クラス)<br>3種類の野菜それぞれ収穫後グループで観察したり、話し合いからクッキングを行なったりした。 | (2歳児クラス)<br>園庭あそびや制作を３回行なうことができた。季節を感じ楽しむ姿もあった。<br>(3歳児クラス)<br>制作でハサミを使っていろんな形を切り、のりで貼る時なども子ども達なりに形を意識しながら貼っている姿が見られた。<br>(4歳児クラス)<br>野菜は枯れてしまったが、子ども達の中で育てられた喜びを感じている様子があった。また、次回に向けての意欲も増しているようだった。<br>(5歳児クラス)<br>収穫できる時期がそれぞれ違う野菜を栽培していたので、1年を通してバランスよくプロジェクトを行なうことができた。 | (2歳児クラス)<br>一年間を通して季節に触れ感じることができた。子ども達も絵本などで食べ物や季節の行事などがあると季節を尋ねたりする姿が見られた。季節に触れ感じることで楽しみを感じ、味わうことができていた。<br>(3歳児クラス)<br>日常の生活の中で形はいろんなところで目にするもので身近なものだった為、色んな発見ができた。<br>(4歳児クラス)<br>来年度も、継続して生き物飼育を行ない子ども主体で育てていけるようにする。<br>(5歳児クラス)<br>5感を使ってプロジェクトに取り組み、様々な体験や、気付きができた。 |
| | | ライブラリー（データベース・ファイリング） | プロジェクト保育、子どもの話しあいや振り返りのドキュメンテーション作成<br>→保護者閲覧 | 随時 | 随時 | [redacted] | 各記録 | 各クラステーマに沿って実施している。<br>話し合いや活動の様子をフォトレターにまとめ保護者も閲覧できるようにしている。 | 各クラステーマに沿って実施している。<br>話し合いや活動の様子をフォトレターにまとめ保護者も閲覧できるようにしている。 | 回数のばらつきはあったが許容範囲と考える。 | 保護者の方への掲示の仕方などを工夫しながら次年度も積極的に実施する。 |
| | | | フォトレター | 随時 | 随時 | [redacted] | 各記録 | 乳児クラスは月に2枚、幼児クラスは月に1枚のフォトレターを<br>各クラス閲覧出来るようにしている。 | 各クラス作成できた。保護者の方にも見て頂けるようにした。 | 乳児幼児共に規定枚数を作成し掲示できた。 | 保護者の方が見やすい掲示の仕方を工夫し次年度も実施していく。 |
| アカデミー＆マネージメント | 研修の充実 | 内部研修 | 公開保育（対象者） | 11月～１２月 | 5～6回 | [redacted] | 日案・振り返り | 12月に予定通り実施予定である。 | 12月に3回実施した。 | 新任の職員を対象に実施した。今回も年次の高い職員とペアを組みお互いの保育をを見合う機会とした。 | 年次の高い保育者の保育を見る事で気づきが多く毎年実りある機会となっているので次年度も開催する。 |
| | | | ①ピアノ披露　②手作り玩具作成（乳児職員） | ①6、8、11、1、3月<br>②随時 | ①5回<br>②随時 | [redacted] | 記録 | ①今のところ計画通りに実施できている。<br>②クラスで作成ごとに記録している。 | ①年間5回、予定通りに開催することができた。②クラスで作成ごとに記録している。 | ①職員の中でも意識が高まりスキルも高くなってきている。回を重ねる度に新しい曲にチャレンジする姿が多く見られた。②感触・指先・視覚と乳児クラスで作成した物（主に0歳児）などは手作り玩具作成後に子ども達が実際にあそんでいる姿などを記録することができた。 | ①結果が確実に表れるため今後も続けていきたい。②子ども達の姿に合わせて手作り玩具を考えることができた。また、新しく今年度で種類も増えてきたので引き続き継続しながらいつでも見返したり、参考に出来るように記録していきたい。・各クラス１年間に１つは書き込みをして頂けるように引き続き声を掛けていきたい。また、季節ごとに分けて発達や時期に合った乳児の担任が分かりやすく、記録しやすいようにしていきたい。 |
| | | | プレライジン、プレスケール、グループ討議（テーマ毎に） | 随時 | 随時 | [redacted] | 記録 | 幼児では２回、乳児では１回プレを行ない、保育の環境や関わりについて話し合うことができた。<br>全体会の場で、理念研修を受けての内容や種を用いてグループ討議できた。 | 後期は乳児のスケールを実施した。日々のピンポンパンがプレスケールにもなり、部屋環境を充実していった。 | 年間を通して幼児・乳児のスケールを実施できた。また、姉妹園に行った職員から全体会議の時に情報を共有してもらった。 | 来年度も同様に、プレ、当日、情報共有しながら保育室の環境を更新していく。 |
| | | | ゲームあそび・ふれあいあそび・表現あそび・体操の充実 | 随時 | 随時 | [redacted] | 実践 | ゲームあそびやふれあいあそびは、各クラスごとに行なっている。 | 全クラス、活動時や夕方の時間などを利用して行なうことができていた。 | どのクラスもたくさん身体を動かしてあそびを楽しむことができていたように思う。 | 前年度のクラスで行なっていたゲームあそびや体操を引き継ぎ、新しい体操などにも挑戦していければと思う。 |

| 分類 | 大項目 | 重点項目（全園） | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過<br>（半年後） | 結果<br>（2月記入） | ふりかえり<br>（2月記入） | 次年度の取り組み<br>（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アカデミー&マネージメント | 研修の充実 | 外部研修 | 私保連の各種研修、キャリアアップ研修（ZOOM） | 随時 | 随時 | [redacted] | 研修報告 | 各研修、キャリアアップ共に受講中。研修はなるべく各自の行きたい研修に行けるように配慮している。キャリアアップも順調に受けることが出来ている。 | 法人内やキャリアアップの研修の割合が多かった。私保連主催の研修にあまり参加することができなかった。 | 研修に比較的行きやすい時期にキャリアアップ期間が重なりなかなかその他の研修に出るのが難しかったように思う。 | 対面式の研修も増えてくるのと回数も増えてくると思うのでそれぞれの希望する研修に行けるようにしていきたい。 |
| | | | 絵画・造形・保育室の環境（他園の見学）・室内あそび・楽器あそびや歌 | 随時 | 随時 | [redacted] | 研修報告<br>全体会議議事録 | 他園の評価スケールにて造形活動や作品を見学している。見学したことを全体会などで話して共有をしている。 | 他園の環境を自園に取り入れられるように全体会等で共有した。 | 他園の良い所を参考にし、自園にも取り入れてより良い造形活動を行なうことが出来た。 | 造形活動は環境を基本とするため、今後も他園の環境を参考にしたり、研修に参加したりして知識を深めていきたい。 |
| | | 法人内研修 | 評価スケール、公開保育 | 通年 | 随時 | [redacted] | 各記録 | 乳幼児の評価スケールは計画通り実施されている。今年度は瀬区の公開保育の実施園となっており他園の方対象の公開保育も行なう。 | 乳幼児保育も予定通り開催された。11月に瀬区主催の公開保育も実施された。 | 法人内だけでなく法人外からの気づきや意見を頂く機会となった。 | 法人外からの意見は新鮮であり気づきも多かった。瀬区の法人外の施設に行くこともあり学びも多かった。来年度もあるとのことなので順番に参加したい。 |
| アカデミー&マネージメント | 研修の充実 | 法人内研修 | 新任研修、年齢別会議、ひらめき学習会、動画、ＰＣ研修 | 通年 | 随時 | [redacted] | 各記録 | 新任研、年齢別会議、ひらめき研と該当する職員が参加し、学びに繋げることが出来た。動画やPCに関しては、その都度レクチャーしたり、やり方一覧を作成し、誰でもできることを増やしている。 | 誕生会の動画は輪番制にし、たくさんの職員が携わる事ができた。また、PCに関してもマニュアル作成に力を入れた。 | 輪番制にすることとマニュアル化することで主体性を持って取り組むことができた。 | 今後も研修には平等に参加できるようにスケジューリングする。またICT化に伴い全員が認識し活用していけるように必要に応じてレクチャーの時間等を設ける。 |
| | 人財育成・人事評価 | ヘキサゴン　（スキルアップ支援プログラム） | ①スキルアップ支援<br>②ヘキサゴンの実施 | 5月、2月 | 年2回 | [redacted] | 評価表 | ①リーダーとの面談でスキルアップできることについて話し合いを行なっている。<br>②5月にスキルアップを記入しリーダーと面談、１０月に中間振り返りを記入しリーダーと面談と、予定通り実施できている。 | ①目標達成度を話し合い、手立てを話し合う。<br>②年度末にリーダーと面談を実施した。 | ①目標達成のために一緒に考えたり話し合うことが出来た。②１年間を通して、リーダーと話す機会を設けながら、ヘキサゴンによるスキルアップの支援ができた。 | ①来年度も面談を通してスキルアップにつなげていく。②来年度も同様に実施しながら、リーダーを育成していく。 |
| | | 職員面談　（自己評価・他者評価） | 副園長、主任、リーダーとの面談 | 5月、2月 | 年2回 | [redacted] | 面談記録 | 5月にスキルアップを記入しリーダーと面談。<br>その後、各リーダーは、副園長と面談を実施した。 | 年度末にリーダーと面談を実施した。 | スキルアップシートを主に活用しながら、面談を実施することができた。 | 来年度も同様に実施しながら、春に目標を立て、遵宣、面談していきながらリーダーを育成していく。 |
| | | メンター・メンティ | メンター研修の実施 | 随時 | 随時 | [redacted] | 記録 | 毎月、今月の振り返りや立てた目標についての振り返りを行なっている。 | 月１回、月の目標や日々の業務などの中で困ったことがないか、新任職員と話をする時間を設けている。 | 毎回記録を取りながら、新任職員が記入した振り返りを基に毎月話をすることができた。 | 担当は変わるが来年度も実施していく為メンターメンティーの流れを記録に残していく。 |
| | 法人外部評価 | 第三者評価や施設関係者評価（学校評価）の活用 | マニュアルの総点検 | 6月、１２月 | 年2回 | [redacted] | 記録<br>各マニュアル更新日 | 各マニュアルを振り分けて添削している。看護マニュアルの大幅な変更があると思うので、管理職と確認しながら変更していきたい。 | 改訂する箇所が少なかった為あまり改訂しなかった。 | マニュアルも紙ベースではなく、いつでも誰でも閲覧できるような方法があればそちらに変更してもいいかもしれない。 | 随時更新する。 |
| マネージメント | 財務 | 人件費率マネジメント | 適正な職員配置（６０%～７０%）<br>７・１・１の確立(他園との情報交換) | 随時 | 随時 | [redacted] | 予算書・全体会報告 | 国や市の適正基準には満たしている。７・１・１の取り組みは集計を１ヵ月毎に行ない、実施できているか振り返り、改善点は次に活かせるようにしている。 | 前年度に比べて、全員が協力して事務作業時間を確保することができていたように思う。 | 以前よりも、みんなが7.1.1を意識しながら過ごしていたように思う。 | グループによって差が大きく出ていたので、どのクラスも職員が足りている時間は横のつながりを利用しながら出られるように協力できればと思う。 |
| | | 積立金確保 | 積立金１０%目標 | 年度末 | 年１回 | [redacted] | 月次資金収支計算書 | 現在の予算上は8.7%の予定であるが、11月末の補正予算で目標に少しでも近づけるように検討する。 | 二次補正の時点で目標達成の予定。 | 補助金などのシステムに一部変更があったが取りこぼしのないように申請業務を行なった。 | 次年度も補助金のシステムに変更が生じても、柔軟に対応できるようにする。 |
| | | 修繕 | エアコンの清掃 | 4月～6月に着手 | １回 | [redacted] | 決算書 | エアコン洗浄は、５月初旬に行なった。 | 計画通りに行なえた。 | 早めに着手したので計画通りの行なえた。 | 次年度も早めに計画、実行する。 |
| | | 適切な予算立てと予算執行 | 園内外の財務会議・事務員会議 | 6、7月 | 随時 | [redacted] | 予算書 | 全ての会議に参加している。11月末に今年度最初の補正予算について、本部のアドバイスを聞いて作成予定である。 | 本部作成の予算積算書をもとに二次補正を行なった。 | 積算書がかなり細かかったため、入力に時間を要したので、福祉大臣と並行して入力をすればよいのではないかと思う。 | 積算書を再度精査し、月々の業務に取り入れる。 |
| | 運営強化 | 人財定着化と個々の底上げ方法<br>（マネジメントブック糧の活用など） | マネジメントブック「糧」、コンセプトブックを用いたグループ討議 | 4、7、１２月 | 年3回 | [redacted] | 記録 | 全体会で糧のP１６～１７や理念研修で学んだことをグループで話し合い、理解を高めた。 | 全体会で糧と種を読み合わせをして、グループで話し合う機会も設けた。 | 年間を通して、糧と種を使用して、読み合わせをしたり、意味を伝えたり、話し合いをしたりできた。 | 来年度もその時の事柄に合わせた内容で糧や種を用いて理念を伝え、深めていく。 |
| | | 情報とテクノロジーを活用した運営 | ふれあいあそび、ゲームあそび | 通年 | 随時 | [redacted] | 動画 | ゲームあそびの実践ネタを３つ作成。どのように共有し活用していくかも含めて検討し、後期に繋げていく。 | ５歳児のちょこっとネタ動画を作成した。 | 作成したが、共有するタイミングが難しい。何かの為に動画を撮り共有するなど必要性を高めるとより良い。 | ふれあい遊びやゲームあそびでテーマを縛らずに、必要に応じた動画作成をしていくと良いと感じた。例えば発表会の導問などのイメージ。動画作成のスキルは高くなっている。 |
| | | | チャイルド・ケア・ウエブを実施し、業務の効率化を目指す | 通年 | 随時 | [redacted] | 記録・更新 | ペーパーレス化を目指して話し合いを行なっている。 | アプリの使用回数が増え、全体の職員がアプリを扱うことができたと思う。 | アプリを使用することでペーパーレス化につながったと思う。 | 健康調査票、連絡帳、登降園QRをアプリ化する。 |
| | | 園の魅力を伝わらせるための広報・宣伝実践 | ①HPの活用・更新<br>②園内見学・案内<br>③インスタグラム | 随時 | ①月２回<br>②随時<br>③月２回 | [redacted] | HP更新 | ①月に２回担当が更新している。お知らせは、その都度必要に応じて更新している。<br>②１１月末で終了予定だが、今年度も９０組程案内した。<br>③月に２回係が投稿している。<br>子どもの様子以外にも給食のメニューや就職WEB説明会など多方面に発信している。 | ①月に２回更新することができた。<br>②90組を案内することが出来、入園につながった方々もいた。<br>③月に2回インスタを投稿することができた。 | ①担当とどのようなことを更新するかを事前に決めていた為、スムーズに更新することができた。②コロナ禍ではあったが、感染対策をしながら行なえた。疑問・質問に対して丁寧に対応した。<br>③各クラスで投稿した方が、満遍なく乳幼児の様子が投稿できると考え、1月から輪番制にした。 | ①インスタとはまた違う視点で更新できるようにしていく。②次年度も積極的に行なっていく。<br>③来年度からは乳児と幼児で輪番制にし、月2回投稿していく。 |
| | | 採用活動の強化 | 養成校への訪問、採用活動 | 通年 | 随時 | [redacted] | 求人票・パンフレット | 求人票とパンフレットを各大学に送付し、８月には、採用者を決定することが出来た。<br>ホームページを見ての応募もあった。 | ホームページ閲覧や就職フェアに参加して４人の応募があった。 | ネット上やフェアで園の紹介ができ、アピールすることができた。 | 次年度もホームページの内容を充実したり、学生へもアプローチを心がけ人材確保につなげていく。 |
| | | | ハローワーク、就職フェアへの参加、実習生へのはたらきかけ | 通年 | 随時 | [redacted] | 案内・記録 | ６～８月に神戸市の就職フェアへ参加し、学生へ園の特色をアピールできた。<br>ハローワークは必要に応じて求人をかけている。 | 姉妹園で情報を共有しながら、人材確保へ繋がでいった。法人のフェアーも参加した。 | 法人内外でオンラインや対面など様々な方法で実施することができた。 | 来年度も同様に、オンラインと対面を上手く活用しながら進めていくと良い。 |
| | | 制度の活用と改善（ロビー活動など） | ロビー活動の強化（地域自治体・議員・保育連盟へのアプローチ） | 通年 | 随時 | [redacted] | 記録 | 瀬区内の公開保育を行ない、神戸市の方との交流も密に行なった。 | 自園の保育を外部に発信することができた。 | 公開保育をするにあたり、園の保育を見直したり、神戸市の方とも話し合う機会がもてた。 | 今後も機会があれば、外部の方や市関係の方々にもお越しいただき園を知ってもらう。 |

# 2022年度　だいな幼児園　事業報告

| 分類 | 大項目 | 重点項目（全園＋園独自） | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過（半年後） | 結果（2月記入） | ふりかえり（2月記入） | 次年度の取り組み（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アカデミー（保育＆教育の質の向上） | 理念に基づいた教育・保育 | 教育・保育方針<br>(同年齢の活動・異年齢の活動Wスタンダード) | 理念、方針の周知 | 原則月1回 | 年１２回 | [redacted] | 報告書 | 全体会で場の読み合わせを行い、保育理念、保育方針の周知を図っている。 | 全体会で場の読み合わせを行う習慣の中で保育理念、保育方針は周知されてきている。 | 自園の現状や課題に見合ったページを選択した読み合わせは有意義なものとなった。 | 次年度も継続して全体会にて現状や課題に見合ったページを選択し、読み合わせを継続する。 |
| | | | ３チーム制保育、領域活動は別立て（音楽・体育・絵画） | 毎日 | 随時 | [redacted] | 報告書 | 基本的には動物園プロジェクトや園外保育は異年齢グループであるが、感染症拡大時期はクラスでの活動とした。サーキットや音楽等はクラスで取り組んでいる。 | 下半期は行事が多い事からクラスでの活動が多かった。 | コロナ化や行事が続く時等はクラスで取り組むことが多かったように思う。 | 活動内容や興味などからなるプロジェクト保育はその時々によって同年齢、異年齢どちらがふさわしいかを考えていく。 |
| | | | ZOOプロジェクト | 毎週火曜日 | 年３０回 | [redacted] | ドキメンテーション | 上半期に各グループでドキュメンテーションを部屋作成。コロナの状況も鑑みて下半期も実践予定。 | 下半期は行事にかかりきりで、実施できていないので今年度は上半期のみの実施。 | 異年齢の他クラスでも取り組むことや時期を見直した方がいいかと感じている。 | 次年度どう進めていくか定かではないが、いろいろな形を実践できたらと思う。 |
| | | 保育者の関係性向上（同僚性向上） | 全体会・期案会・週案会 | 随時 | 全体会１２回<br>期案会８回<br>週案会４０回 | [redacted] | 議事録 | 全体会は月1回全園員、期案検討会は当期各クラス担任と管理職、週案会は毎週1回各クラス担任と管理職で行なっている。運動会の行事等は期案会を通じて、コミュニケーションや進捗具合、子どもの姿など話し合い進めている。それ以外も日々の保育を通じて週案会の中でエピソード会議も試行中。 | 下半期すぐは上半期同様週案会から開催したが、行事に追つくにつれなかなか開催できなかった。園の現状から全体会もままならずであった。 | 唯一職員集団で話し合う機会をもっと大切にしていきたいが、現場との兼ね合いにより開催が難しい。そこの試行錯誤が必要である。 | 次年度は必ず開催できるよう勧めていくことが必須である。当たり前のことが当たり前にできる環境づくりを整備していく。 |
| | | 保護者対応（保護者支援） | 保護者会 | 4月 | 1回／年 | [redacted] | 日案<br>振り返り | ５月に保護者会を実施した。感染症拡大時期だったためzoomのアウトブレイクルームを活用して異年齢グループで保護者会を行なった。 | 6月には4，5歳クラス、１２月には3歳クラスが保育参加の後、懇談を実施した。 | zoomのブレイクアウトルームで保護者会をしたが、家庭での子どもの様子や家族でリラックスして参加出来ており、良い方法だと思った。 | 次年度も方法は考えるが保護者会は継続して行っていく。 |
| | | | 保育参加・懇談会 | 11月 | 年１回<br>（希望者は2回） | [redacted] | 保護者による感想文 | ４・５歳児の保育参加は６月に実施した。保育参加の後、懇談の場をもった。３歳児は１２月の予定。 | １２月に３歳児クラスの保育参加、懇談会を実施した。 | 懇談会では園と家庭での子どもの様子など情報共有が出来た。また、保護者同士の良い交流ともなった。 | 次年度も継続する。 |
| | 地域貢献 | 小学校・養成校など学校との連携 | 5歳児交流・小学校交流 | 随時 | 随時 | [redacted] | 各種記録 | １０月に1回、５歳児交流に参加した。１１月に１回あり、参加予定。<br>小学校との連携は、すこやか児の対応などの話し合いを、電話で1回行なった。 | ５歳児交流会は他の園の子と触れあうことができ、楽しそうだった。小学校へは要録を渡したり、電話や実際に対面で子どもの引き継ぎをすることが出来た。 | ５歳児交流会でのメールやFAXが送れていないことがあったので、電話を必ず入れる。要録の作成が遅くなってしまい、引き継ぎの時に持って行けなかった。出来るだけ１月中に作成するべきである。 | 次年度も参加する。小学校とも連携を取っていく。 |
| | | | 養成校との関係構築・実習生受け入れ・地域学生体験受け入れ | 随時 | 随時 | [redacted] | 各種記録 | 5月、6月に養成校を訪問し、実習生受け入れを聞きかけた。 | 養成校に働きかけたが、結果として実習生はまだ来ていない。 | 幼児のみの保育園では単位認定がされないとのことで養成校からは敬遠されがちである。 | 中学、高校のトライアルウィークや職業体験にシフトをチェンジして次年度は動いていく。 |
| | | ボランティアプロジェクト<br>（対外、対内、両方とも含む） | 養成校へアクセスしボランティア、アルバイトに繋げる | 通年 | 通年 | [redacted] | 報告書 | 養成校訪問の際、ボランティア募集を聞きかけた。アルバイトは足りているため募集していない。 | 養成校に働きかけたときにボランティアやアルバイトも募集はしたが結果にはつながっていない。 | 実習の単位が取れないことがボランティアやアルバイトにもつながにくいようだ。 | 養成校や高校にもっとアプローチしていく。 |
| | | | 宮本地域福祉センターとの交流 | 福祉センター | 年1回 | [redacted] | 日案<br>振り返り | ９月の敬老の日イベントとして、地域の方と ふれあい遊びや歌、チアダンスを披露した。 | 地域の方が運動会にも初めて来賓で来て下さった。昨年同様、ハロウィンも参加して下さった。 | 園行事などが地域の方々にも認知され始めていることを感じている。 | これからも地域の方々と積極的に交流を図っていく。 |
| | | 地域の子育て支援 | 夏祭り（地域の親子を１０組招待）<br>やきいも大会（宮本地域合同）・ハロウィン（地域巡回） | 8月・１０月<br>・１１月 | 随時 | [redacted] | 日案<br>振り返り | ハロウィンは昨年度に増して、マルハチ本社にも加わっていただき、充実した地域交流することができた。 | おまつりごっこでは地域の方や園児の兄弟が来てくださり、異年齢交流をたくさんすることができた。 | 園行事などを通して、地域の方との交流をし、園の雰囲気を知ってもらうことができたと思う。 | 地域の方にも積極的に参加してもらい、交流を深めていく。 |
| | | | お楽しみこともライブ・課外お稽古・親子トレーニング | 園内 | 年４回 | [redacted] | 日案<br>振り返り | 上半期はコロナ禍により1回のみ、下半期もクリスマスと期末1一回ずつ計3回行なう予定。 | 年度内には上半期と合わせて計3回終えることができた。 | 定例化しつつあるこのイベントを園文化として根付かせていきたいと思う。 | 次年度も1クールに一度のペースでがいさいできたらと思う。 |
| | 委員会活動の強化 | 食育 | 給食室から始まる園運営（食育会議・食育・植栽・クッキング・カレープロジェクト） | 随時 | 随時 | [redacted] | HP<br>食育会議議事録 | 例年通り、1月にお正月メニューを取り入れる予定。 | 今年度はカレープロジェクトに力を入れた。保育士と連携を取りながら進めることができた。 | 植栽でお野菜を育てることがなかなか難しい。<br>他園のように植栽に詳しい方に来てもらうことは難しいのか。 | 雑草が生えないようにする対策と、子どもに危険がないような対策を検討する。 |
| | | | スーパーランチ | 全園児 | 1回／年 | [redacted] | HP<br>食育会議議事録 | カレープロジェクトは保育士が中心となって進行しており、関わる機会は少なかったが、材料や作り方、温具について質問してくれることでお台所と子どもたちと関わることができた。 | 1月7日にお正月メニューを取り入れた。いつもと雰囲気が違い、貴重な経験になった。 | 毎年行ってきたお正月メニューは、保護者の方にも好評だった。毎年続けていきたい。 | 次年度も継続したい。お重を追加購入する。 |
| | | 保育環境 | コーナー・ゾーンの充実 | 月1回 | 年12回 | [redacted] | 全体会議事録 | 世田谷はっとの畑藤先生と話し合いながら、コーナーを作っている。クラス別に分かれたことで玩具が限定されていたが、１１月から異年齢のコーナーに戻す予定である。 | コロナや行事により、様々な形に代わった。コーナーゾーンはしていたが話し合いがあまり出来ず、遊びが浅いものになってしまっていた。コーナー会議ができたら良かった。 | 自分たちでコーナーを充実させるためにもっと会話や工夫が必要であった。行事前でもコーナーが偏らないように充実させていく。 | コーナー会議を全体会議とは別に設ける。コーナーゾーン遊びの前に必ず話し合い、深めていく。 |
| | | | 夏季の市民プール | 夏季　週2回 | １０回 | [redacted] | 日案<br>振り返り | コロナ禍による入退制限（抽選）と職員配置により年長クラスのみ2回行くことができた。 | 抽選により２回行くことができた。 | 次年度もできる限り行けたらと思うので、引き続き動向に注目していく。 | 次年度もできる限り行けたらと思うので、引き続き動向に注目していく。 |
| | | | 動物園プロジェクト | 王子動物園 | 年30回 | [redacted] | ドキュメンテーション | 上半期に各グループでドキュメンテーションを製作。コロナの状況も鑑みて下半期も実践予定。 | 下半期は行事にかかりきりで実施できていないので、今年度は上半期のみの実施。 | 異年齢の他クラスでも取り組むことや時期を見直した方がいいかと感じている。 | 次年度どう進めていくか定かではないが、いろいろな形を実践できたらと思う。 |
| | | | 毎月の衛生推進<br>盆・年末大掃除<br>ロケーションシステム更新 | 園内外 | 年12回 | [redacted] | 議事録 | 毎月の各部屋の掃除チェック表を見直し、必要に応じて都度更新作成している。掃除チェックの中に消毒箇所や曜日なども含めて行なっている。8月中に大掃除ができるよう計画し、担当を振り分けて行なった。ロケーションシステムは更新途中。 | 都度修正しながら更新している。ロケーションシステムは担当を振り分け更新済。 | 更新が所を赤色にし、分かりやすくしたことで見た人も気付くことができるようになっていた。状況に応じて更新している。 | 引き続き都度修正、更新しながらチェック表を作成していく。 |
| | | | 素材の研究、収集<br>レミダ管理 | 随時 | 年4回 | [redacted] | 大掃除表 | 期限を決めて各自担当になったところを事務時間などを使って進めることができた。また、パート職員も加わったことで、期限までに掃除を終わらせることができた。 | 上半期同様、担当を決めて大掃除を行なった。パートの方にも協力して頂き掃除を進めることができた。 | 大掃除表の担当と期限を決めることで、全員が自分の担当に責任を持って進められたのだと思う。 | これからも担当と期限を決めて、掃除を進めていけるようにしていく。 |
| | | | 周回型サーキットの研究(室内での設定方法の研究) | 毎週水曜日 | 年40回 | [redacted] | 園だより | 園だよりにおいて毎期記載することが難しく要検討。体育あそびやサーキットをすることのねらいは掲載済。 | 毎回サーキットを園だよりに掲載するのを止めた。その代わりではないが毎回の様子を玄関に紹介する。 | サーキットとチアのことをどのように扱っていくかが肝要。ウェルネスとの話し合いも綿密に。 | サーキットとチアのことをどのように扱っていくかが肝要。ウェルネスとの話し合いも綿密に。 |

| 分類 | 大項目 | 重点項目（全園＋園独自） | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過（半年後） | 結果（2月記入） | ふりかえり（2月記入） | 次年度の取り組み（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アカデミー（保育&教育の質の向上） | 委員会活動の強化 | 危機管理 | ①職員の健康診断②子どもの健康診断（内科検診・歯科検診）<br>③子どもの健康診断（耳鼻科・眼科・尿）④身体測定 | ①春<br>②年2回ずつ<br>③夏季・冬季<br>④毎月 | ①1回②計4回<br>③1回④12回 | [redacted] | 身体の記録 | 計画通り実施出来ている。職員のインフルエンザ予防接種は園に医師にきてもらい、接種した。 | 全て計画通り実施できた。眼科、歯科の事前検査は担任やフリーが行うようにした。 | 眼科、耳鼻科の事前検査は担任やフリーが行うようにしたことで子どもの状態を把握することができ良かった。 | 次年度も引き続き計画通り進めていく。職員のインフルエンザ予防接種が早かったので、12月頃に行っても良いかと思う。 |
| | | | 緊急時における危機管理のマニュアル更新（園庭見守りマニュアル更新） | | 1回以上 | [redacted] | マニュアル | 月に1回緊急時対応訓練を行ない、振り返りなどで変更した方が良い所は変更し、更新している。 | 職員で対処の仕方が異なる事例があったので、話し合い、見直す。 | 行事等で実施が難しい月があったので実施回数を見直す。 | 実施項目を検討し、二か月に一回行う。 |
| | | | 定時避難訓練、緊急時避難訓練の実施 ・ 備蓄品の充実 | 通年 | 12回／年 | [redacted] | 日案・実施報告書<br>非常食管理表 | 定員が増える次年度に向けて、再度購入予定。 | 購入済み | 全園児、職員が3日間過ごせるよう備蓄している。加えて、お箸とスプーンは洗わなくても使えるだけの量を追加した。 | 次年度の定員増加にあわせて購入する。 |
| | | | ヒヤリ・ハット | 全体会 | 12回／年 | [redacted] | 全体会議事録 | 発生通知・怪我記録は全体会議事録に毎回記載し、周知している。ヒヤリハットは全体会議事録に記載していたが、情報がすぐに共有できるようにノートも設置した。 | 全体会議事録で周知できていた。ヒヤリハットもノートにすることで情報が当日もしくは翌日には共有できた。 | 全体会では、議題も多く話し合うことはなかったが、議事録に載せることで職員に再度共有できたと思う。 | 次年度も継続していく。 |
| | LLを柱とした保育実践と研鑽 | ラボ（実践＝学び）（研究＝ふりかえり）<br>スケール（評価） | サーキット研究 | 通年 | 年4回 | [redacted] | 園だより | 園だよりにおいて毎期記載することが難しく検討。体育あそびやサーキットをすることのねらいは掲載済。 | 毎回サーキットを園だよりに掲載するのを止めた。その代わりではないが毎回の様子を丁寧に紹介する。 | 研究ができるほどのネタを揃えるのが難しいのとそのための時間がさけなかった。 | 体育あそびのあり方について園内でどのように扱っていくかを話し合っていく方向がいいかと思う。 |
| | | | 教材研究　リズム打ち・合唱・合奏 | 通年 | 毎日 | [redacted] | ドキュメンテーション | 期のリズム打ちや歌をクラス毎に歌っている。行事前はで客ていないことが多かった。<br>制作の前に素材研究をし、年齢や活動にあったものを提供している。 | 上半期は、発表会などの行事が多く、発表会で行なうリズム打ちを練習した。<br>製作前には、上半期同様に素材研究をしてから活動に入ることができた。 | 下半期にも日々のサークルタイムでリズム打ちをできるようにしていく。 | 行事前のリズム打ちができていないことが多かったので下半期にもできるようにリズム打ちの曲やリズムを考えていく。 |
| | | | ドキュメンテーション管理・三原色の描画表現 | | 随時 | [redacted] | ドキュメンテーション | 全体会でドキュメンテーションが必要であるかを話し合い、結果に沿って各担当が作成している。監査の時に足りていない物を確認し、揃えている。 | 去年度に比べてドキュメンテーションを減らすことができ、負担を減らし、代わりにエピソード会議などに割けることが出来た。 | 職員の負担を減らしながら、保育かも向上できる仕組みをこれからもみんなで話し合い、だいなのやり方を決定していく。 | 他園からの異動の職員がいるので、仕事内容を見つめ直し、決定する。3原色などの制作も広げて行く。 |
| | | | 絵本の充実・管理 | | 随時 | [redacted] | 絵本管理表 | 購入した絵本や寄付の絵本はブッカーをして絵本棚に収納している。絵本棚が足りなくなってきているので絵本棚購入を検討する。 | 月に一回絵本棚の絵本を季節や活動、興味関心に合わせて変えるようにした。 | 子どもが開けられる場所に絵本棚を置いており、絵本がバラバラになってしまうことがあるので場所を検討したい。 | 他クラスの活動を知り、全体の活動、興味関心に合わせた絵本を選べるようにする。 |
| | | ライブラリー<br>（データベース・ファイリング） | 種子の冒険 | 通年 | 年4回 | [redacted] | メーリングリスト | 全体会で広報誌を設け、質質を呼びかけている。8月より、種子のe冒険の1ヶ月分まとめを事務室に掲示し始めた。9月に体操のe冒険を本部に提出した。 | 担当者が休暇に入ったため、下半期は実施できなかった。 | 上半期のみの実施になった。 | 新しく担当者をおき、必要に応じて検討し、実施していく。 |
| | | | 撮影・編集力向上 | 通年 | 年4回 | [redacted] | タブレット<br>構築物 | 毎月の誕生会や運動会でのお稽古など日々の保育に加えて、e冒険やInstagramなどの広報コンテンツにも効果的に活用することで向上を図っている。3歳児の制作遊びの動画も撮影・編集予定。 | 担当者が休暇に入ったため、下半期は実施できなかった。 | 上半期のみの実施になった。 | 新しく担当者をおき、必要に応じて検討し、実施していく。 |
| アカデミー&マネージメント | 研修の充実 | 内部研修 | 小規模との保育者交換(法人内)・公開保育（プレライジン・プレスケール） | | 年4回 | [redacted] | 振り返りシート | 小規模園との交換保育は担任保育士が1回ずつ1日勤務した。1・2歳の子ども達と関わり乳児保育を経験することが出来た。また、3園の交流の機会となった。プレスケールは数回実施し、心りかえりをその都度行い、本番に備えることが出来た。 | 下半期は行事が多く、実施出来なかった。 | 評価スケールは姉妹園職員からいろんなアドバイスをもらうことが出来、良い学びとなった。 | 次年度も上半期に保育者交換を行っていく。 |
| | | 外部研修 | 社協研修・私保連研修・経営協研修・キャリアアップ | 通年 | 随時 | [redacted] | 研修報告 | キャリアアップ研修に正規職員2名が参加した。りんごの木セミナー（zoomの保育研修）に団体申込みし、フルタイム職員7名が参加した。学んだことを研修報告として発信、発表して職員間での共有を図っている。 | キャリアアップ研修は2名の職員が参加できた。 | りんごの木セミナーは学びが多く、またこのような研修があれば職員みんなで参加したい。 | 機会を逃さず、良い研修にはどんどん参加していきたい。 |
| | | | 連携療育施設との情報交換 | | 年2回 | [redacted] | 視察報告書 | 今年度はコロナ禍と行事の兼ね合いにより未実施。下半期に連携施設と連絡を取り合い、視察予定。 | 今年度は実施していない。その代わりではないが療育施設職員と対面や電話にて密に連携を図る。 | 他の職員も視察等に行けたらよかったのだが、そこまでの現場の余裕がなかったのも事実。 | 今後も療育施設とは密に連携を図り、視察も職員が積極的に行けたらと思う。 |
| | | 法人内研修 | 公開保育（評価スケール） | 6～7月 | 1回／年 | [redacted] | 合意点<br>振り返り | 7月に実施した。コーナーゾーンの見直しが出来、保育環境の充実に繋がった。姉妹園のスケールにも参加し職員の研修の一環にもなった。 | 評価スケールが無事終わってしまうと環境設備がおろそかになりがちであることに気づかされた。 | 全体会の話題にコーナーの充実を盛り入れて職員がみんなが意識出来るようにした。 | 次年度も継続していく。 |
| | 研修の充実 | 法人内研修 | 新任研修・合同会議・年齢別会議 | 法人年間計画参照 | 法人年間計画参照 | [redacted] | 研修報告<br>会議議事録 | 理念研修や年齢別会議はzoomにて、運動会研修は対面にて職員それぞれが参加でき、よい学びとなった。 | 新任研やジュエリー研修、年齢別会議に参加したことにより、理念や方針、子ども観、保育観などが学べたと思う。 | 次年度も継続して頂き、職員は参加したくさんの事を学ぶ機会となれば嬉しい。 | 次年度も継続して参加させて頂きたい。 |
| | 人財育成・人事評価 | ヘキサゴン　（スキルアップ支援プログラム） | スキルアップ支援（シート＆面談） | 上半期・下半期 | 随時<br>（最低2回） | [redacted] | スキルアップシート | スキルアップシート作成前の4月に面談を通して相談にのり、一緒に作成している。 | 面談時に進捗状況を聞くようにしている。ピアノスキルチェックも継続中。 | 期ごとのピアノスキルチェックで職員それぞれの進歩が見られた。 | 今後もシート作成時には面談を1一緒になって目標を考え設定していく。 |
| | | | 新ヘキサゴンの活用・起動 | 5月・10月・3月 | 随時<br>（最低3回） | [redacted] | ヘキサゴンシート | できているかどうかのチェックとして、各個人で記入し指標を定めてもらっているが、提出はしてもらっていない。 | 上半期と同様、指標とはしてもらっているが提出はしてもらっていない。 | 各個人で記入し、指標としてもらえると良い。 | 各個人で記入し、指標としてもらえると良い。 |
| | | | 目標面談・キャリアアップ面談 | 11月・2月 | 2回 | [redacted] | 面談記録 | 4月に面談、11月に実施予定。 | 面談は必要な時に随時行っている。また、日頃からよく対話するように心がけている。 | 面談だけでなく、日頃からよく対話していく事が職員1人1人を理解していく事に繋がっている。 | 今後も面談はもちろんだが日頃から職員1人1人とよく対話し関係性を作っていく。 |
| | | メンター・メンティ | メンタルサポート | 通年 | 随時 | [redacted] | 報告書 | 今年度よりメンターメンティーを始めた。メンターは1名指名し、、毎月実施し、報告書を記入・提出してもらっている。 | 上半期と同様。 | 年齢や経験値の近い先輩とのメンターメンティーは新人にとって安心材料となったようだ。 | 次年度も継続して行っていく。 |
| | 財務 | 適切な予算立てと予算執行 | 園内財務会議(園内財政状況把握) | 6月・10月・2月 | 年3回 | [redacted] | 第1・2次補正予算 | 11月後半に実施予定。 | 本部財務部長、園長と実施した。 | 財務部長に頼るかたちになった。 | 次年度は見通しを持って園長と財務会議を行う。 |
| | | | 法人内財務会議・事務員会議 | 春夏秋冬 | 4回／年　検証 | [redacted] | 議事録 | 事務員会議は月に1回あり、zoomで参加している。 | 事務員会議に毎月参加した。 | 毎月参加することで勉強になった。 | 次年度も継続して毎月参加する。 |

| 分類 | 大項目 | 重点項目（全園＋園独自） | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過（半年後） | 結果（2月記入） | 心りかえり（2月記入） | 次年度の取り組み（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| マネージメント | 財務 | 人権比率のマネージメント | 適切な人権配置・人権比率７０％<br>「６・１・２」へ向けての取り組み | 通年 | 随時 | [redacted] | 予算書<br>シフト表 | 昨年度からのICTの導入や全体会の見直などにより業務の効率化は図られている。７・１・１はほぼ毎日実施出来るようになっている。 | 諸業務の効率化は図られている。 | 諸業務の効率化は図られており、７・１・１もほぼ実施出来ている。 | ６・１・２の実施や適正な配置を図っていく。 |
| | | 積立金の確保 | 積立金計画の作成・遂行 | 年度末 | 1回以上 | [redacted] | 決算報告書 | 毎月、月次収支計算書で進捗を追っている。 | 毎月、月次収支計算書を追っている。 | 毎月確認している。 | 次年度も継続する。 |
| | 運営強化 | 人財定着化と園々の底上げ方法<br>（マネジメントブック種の活用など） | 財務状況の把握と保護者の運営参画(保育内容の検討会) | 毎月 | １２回／年 | [redacted] | 議事録 | 事務員より月次収支計算書の報告を受けている。保護者と保育内容の検討会は４・５歳児の保育参加時の懇談会において子どもの様子やその日の保育について話し合いはもてたと思う。 | 人材定着が課題となっている。 | 人材定着が課題である。 | 今後も事務員と共に財務状況を継続して確認していく。人材ていちゃくも図っていく。 |
| | 運営強化 | 地域連携 | 地域店舗等の連携等を模索 | 通年 | 随時 | [redacted] | 行事振り返り | ハロウィンのお菓子配りでは、地域の６施設の企業、商店に協力をもらう。焼き芋大会では近隣の住民や商店、企業の方々も参加。良い交流の場となった。 | 行事を通じて地域の方々との交流がどんどん深まってきており、今後も持続させていきたい。 | 園行事が地域の方々にも認知され始めているように感じている。今後も継続していく。 | 園行事が地域の方々にも認知され始めている。今後も継続していく。 |
| | | 情報とテクノロジーを活用した運営 | CCWやIPADの活用・クラウド化 | ４～５月着手 | 随時 | [redacted] | タブレットと儲築物 | CCWを活用した運営が保護者にも、職員にも浸透してきた。共有フォルダのデータ処理速度が遅いため、SDカードやHDDを活用して改善を図っている。 | 担当者が休暇に入ったため、下半期は実施できなかった。 | 上半期のみの実施になった。 | 新しく担当者をおき、必要に応じて検討し、実施していく。 |
| | | 園の魅力を伝わらせるための広報・宣伝実践 | ①HP更新<br>②近隣小規模園へ挨拶回り・連携園獲得 | ①隔週<br>②６月～７月 | ①24回<br>②2回 | [redacted] | データ | HP更新は月１回行なっている。連携園には見学者や連携時の事で連絡を取りあい、近隣連携園にはパンフレットを配布するなどして園児獲得に努めた。 | HP更新は月１で無理なく行えている。連携園とは随時連絡を取り合い、次年度の人数など情報を共有している。 | HP更新は月１で無理なく行っていくのが良いと思う。気になることなどがあれば連携園とは気兼ねなく連絡を取り合えている。 | HP更新は次年度の進め具合をみて増やすこともしていくことも検証してもいいかもしれない。 |
| | | 採用活動の強化 | 各種フェアへの参加⇒園見学者の増加⇒採用へ | ５月～８月<br>・１１月～２月 | 随時 | [redacted] | 採用者 | 園パンフレットの配布などの採用広報活動を実施。園の見学者は５名に増加。法人の就職web説明会にも参加した。 | 園パンフレット配布、web説明会、賞成校訪問など採用活動を積極的に行った。、 | 積極的な採用活動を行ったことで２名の採用に繋がった。 | 次年度も園見学者や求人応募者が増えるよう積極的に活動していく。 |
| | | | 養成校への働きかけ | 必要に応じて<br>随時 | 約１～２回／年 | [redacted] | 案内返信記録<br>訪問実績 | 賞成校訪問をした際に園パンフレットを配布し求人活動を行なった。 | 賞成校訪問やweb説明会などで求人活動を行った。 | 賞成校訪問やweb説明会などで求人活動を行った結果、２名採用に繋がった。 | 次年度も採用活動を強化させていき、人材発掘増つなげたい。 |

# 2022年度　ななこども園　事業報告

| 分類 | 大項目 | 重点項目（全園） | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過 | 結果（2月記入） | ふりかえり（2月記入） | 次年度の取り組み（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アカデミー（保育＆教育の質の向上） | 理念に基づいた教育・保育 | 教育・保育方針<br>(同年齢の活動・異年齢の活動Wスタンダード) | 理念ブック（コンセプトブック・糧）の活用と浸透 | 全体会 | 随時 | [redacted] | 資料・記録・園だより | 職員会議の冒頭で糧の読み合わせを実施する。 | 研修委員が担当し継続して実施した。 | 継続し繰り返していくことで浸透していくと感じる。 | 次年度も継続して実施していく。 |
| | | | 期案会議（4～6月、7・8月、9月～運動会、運動会～12月、1月～3月） | 5期 | 年5回 | [redacted] | 動画・期案・振り返り | 4期まで実施。振り返りは、メールで発信し全体で共有している。 | 5期まで実施。 | 園として浸透し定着してきた。 | 現在の期案の様式だと活動面に重点が置かれるため、生活面での記載欄を設けて継続して実施していく。 |
| | | 保育者の関係性向上（同僚性向上） | 縦割りグループ（4G）研究会、行事 | 全体会、7.1.1、G会 | 適宜 | [redacted] | 資料・記録 | 行事の開催準備やシフトの調整等を担っている。 | 大きな行事の開催準備に時間がかかってしまう。 | 機能するためにもメンバー構成を考えていく必要があると考える。 | メンバー編成をして縦のグループで委員会活動を担うようにして継続して実施していく。 |
| | | | 横割りグループ（4G）研究会、委員会 | 全体会、7.1.1、G会 | 適宜 | [redacted] | 資料・記録 | 活動できるような仕組みづくりを行い後半は活動状況を把握していく。 | 全体会議開催通知に活動内容を記載できるようにする。 | 機能するためにもメンバー構成を考えていく必要があると考える。 | 具体的な活動を提案し、それに向けての進捗を全体会で報告をする。メンバー構成も適性を考慮して編成する。 |
| | | 保護者対応（保護者支援） | ①クラス懇談会　②個人懇談 | ①4月・2月<br>②6月～9月 | 各年1回 | [redacted] | 案内・記録 | 4/16全クラス懇談をZOOMにて実施する。5月より保育参加後の個人懇談を順次実施する。 | 4月と3月のクラス懇談は、zoomにて実施。<br>保育参加・個人懇談は、全クラス実施。 | 保育参加の再開ができたことは保護者にも喜んでもらえた。 | 次年度も継続して実施していく。 |
| | | | ななまつりでの和太鼓共催（保護者・職員） | ななまつり | 年1回 | [redacted] | 案内・ホームページ | コロナにより和太鼓共催は中止する。 | ななまつりは、園主催で実施するが、コロナにより保護者と職員の和太鼓共催は中止とする。 | ななまつりは園主催で再開。和太鼓は、ご近所への騒音問題があり難しい。 | ななまつりとして開催は継続するが、保護者と共催の和太鼓については検討する。 |
| | 地域貢献 | 小学校・養成校など学校との連携 | 近隣施設・小学校・中学校との交流 | 随時 | 年1回 | [redacted] | 報告書 | 10月藤井寺南小学校の教員が園を訪問。5年生と年長児の交流会の開催を計画する予定。 | 藤井寺南小学校の5年生と年長児の交流会の場として音楽会に参加できた。 | 小学校の企画で園を取り上げていただいたり、運動会のリハーサルでの体育館使用の許可をいただいたりと交流の機会が増えた。 | 次年度も継続して実施していく。 |
| | | | ふじねっとプラザへの参加・ふじねっとプラザ連絡会議への参加 | 10月（当日） | 会議年5回 | [redacted] | ホームページ | 10/29に開催。5歳児が和太鼓、園としてはサーキットで参加する。 | 今年度はふじねっとも開催され、5歳児にとっても和太鼓を披露できる場所となった。 | 近隣の施設の方と協力できる大切な機会となり小学校との関わりが増えた。 | 次年度も継続して実施していく。 |
| | | ボランティアプロジェクト<br>（対外、対内、両方とも含む） | 四天王寺大学・常磐会短期大学・大阪教育大学等ボランティア受入れ | 随時 | 随時 | [redacted] | マニュアル・記録 | 大阪公立大学より7月に3名受け入れる。 | 大阪公立大学より7月に3名受け入れと12月に八尾高校のボランティア1名受け入れる。 | 学生に実際に保育現場を体験してもらうことで保育の楽しさを感じてもらう機会となった。 | 次年度も継続して実施していく。 |
| | | | 藤井寺市社会福祉施設連絡協議会（ボランティア活動、赤い羽根募金） | 定例会 | 月1回 | [redacted] | 案内・記録 | 10/27赤い羽根共同募金に参加。定例会への参加と、社会貢献事案に同行する。 | 10/27赤い羽根共同募金に参加。 | 行事等で定例会への参加は難しいことも多かった。 | 次年度は積極的に参加をしていきたい。 |
| | | 地域の子育て支援 | ①園庭開放　②つどいの広場　③子育て相談事業 | ①毎週木曜<br>②毎週土曜<br>③随時 | ①②週1回<br>③随時 | [redacted] | 参加名簿・アンケート | ①定期的に実施。<br>②大阪商業大学より休止の連絡があり休止中。<br>③随時受付。 | ①定期的に実施。<br>②大阪商業大学より休止の連絡あり。<br>③随時受付。 | ①利用家庭が増えた。<br>③については、園庭開放時に職員が対応している。 | ①については継続して実施していく。 |
| | | | わんぱく広場（地域のつどい）にゲスト依頼 | 第3木曜 | 月1回 | [redacted] | 参加名簿・アンケート | 定期的に実施。参加者が徐々に増えている。<br>10月より第3月曜日に0・1歳児のベビー広場を実施していく。 | わんぱく広場は定期的に開催。<br>10月より第3月曜日に0・1歳児のベビー広場を開催。 | わんぱく広場は参加人数が増えた。ベビー広場も希望される方が多く、乳児の子育て支援の重要性を感じた。 | 次年度は、園児との活動や看護師、栄養士との関わりも盛り込んでいきたい。 |
| | 委員会活動の強化 | 食育 | 献立、調理法、味付けなど全体的に見直し改善・改革 | 通年 | 毎日 | [redacted] | 給食会議 | 0・1歳児クラスは、保育士と協力して個々に合わせた離乳食の進め方を実施した。 | 前半は、保育との連携も増えてきたが、8月末、1月と2名の栄養士が退職したことで途切れてしまう。 | 栄養士の定着が必須。保育との繋がりを当たり前にしていくための工夫が必要だと感じた。 | 栄養士の姉妹園との交流の機会を設けながら進めていきたい。 |
| | | | 全体クッキング（カレー・豚汁） | 6月・1月 | 年2回 | [redacted] | 業務日誌 | 6月に全体クッキング（カレー）を実施する。 | 6月にカレー、1月に豚汁、節分にイワシを焼くクッキングを実施。 | 今年初めて園庭で魚を焼いたが、子ども達の反応が良かったので継続できればと思う。 | 畑の活用も含め家庭では経験できないことを経験できる企画を栄養士と共に考えていきたい。 |
| | | | 畑の活用（栄養士・保育士・子ども）とクラスでのクッキング | 通年 | 随時 | [redacted] | 計画書 | 2歳児～5歳児まで夏野菜の栽培・クラスでの収穫後のクッキングを実施。 | 夏野菜後、秋・冬にも収穫野菜でのクッキングを実施。 | 給食室の協力を得ながら、保育室で耐熱ガラス鍋やホットプレートを使って積極的に実施していた。 | 次年度は、姉妹園の活動も取り入れながら活動の幅を広げていきたい。 |
| | | 保育環境 | 素材の収集や調達と整理整頓 | 5月・7月<br>10月・1月 | 年4回 | [redacted] | 画像・記録 | 7月に正職員で教材庫の整理。その後整理はクラスで輪番に行う仕組みを実施している。 | 輪番制にしたことで教材の整理整頓が継続できている。 | 職員の提案から実現。 | 次年度も継続して実施していく。 |
| | | | 園内評価スケールの実施 | 通年 | 随時 | [redacted] | 画像・記録・園内化 | 計画の見直しを行う。 | 来年度、園内公開保育で行うことにする。 | 来年度、園内公開保育で行うことにする。 | 次年度は園内公開保育を、養成校等にも広げて計画していく。 |
| | | 危機管理 | 施設安全点検の計画と実施/ヒヤリハットマップの点検 | 毎日・毎月<br>年3回 | 毎日・毎月<br>年3回 | [redacted] | 点検表・マップ | 委員会が点検チェック表を作成し、クラスと全体で共有している。 | 発生通知書・ヒヤリハットの記入、集計や検証を開始する。 | 定着し検証が活かせるにする必要がある。 | 次年度は、集計を検証に繋げる様に会議で発信していく。 |
| | | | ①子どもの検診（内科検診、歯科検診）看護師による視力・聴力検査②職員の健康診断（予防接種・定期健診・生活習慣病予防検診）乳がん・子宮がん検診（自己負担） | ①5月・6月<br>10月<br>②11月～12月 | ①内科2回、歯科1回②年1回 | [redacted] | ①健康手帳<br>②健診記録 | ①5月・6月・10月に実施。<br>②順次実施中。 | ①5月・6月・10月に実施。<br>②順次実施。 | 予定通り実施できた。 | 次年度も継続して実施していく。 |
| | | | ①避難訓練（火災・地震・水害・不審者・小学校合同訓練・社協連絡会・消防訓練）②AED・アレルギー・熱性けいれん・救急法 | ①通年<br>②緊急時の訓練 | ①毎月1回実施<br>②年度はじめ | [redacted] | ①避難訓練実施報告書<br>②会議録 | ①定期的に実施。<br>②4月に実施。 | ①定期的に実施。<br>②4月に実施。 | 定期的に実施はできたが、避難場所、災害の想定がパターン化している。 | 危機管理委員を中心に、計画・実施していく。 |
| | LLを柱とした保育実践と研鑽 | ラボ（実践＝学び）（研究＝ふりかえり）スケール（評価） | 実践（研究）・記録・公開の流れを構築（年度末クラス懇談会でのパワーポイント作成） | 年2回 | 年2回 | [redacted] | 企画・立案・記録 | 7月に全クラス「子どもの発達とクラスの保育について」でパワーポイント作成し発表する。 | 7月に実施。 | 1年間を見通した各クラスの保育で大切にしたいことを共有できる機会となった。 | 年間カリキュラム、クラス懇談会を行うにあたり必要なこととして継続していく。 |
| | | | 種の冒険の動画化 | 随時 | 随時 | [redacted] | 動画 | 動画の撮影は行っているが、整理、活用に至っていない。 | 整理して活用できる仕組みを考える必要がある。 | 動画を撮影する機会は増えているので整理の方法については、職員と話し合いながら進めていく。 | 整理をするところからはじめていく。 |
| | | ライブラリー（データベース・ファイリング） | 画像・動画データの整理（フォルダ仕分け）と公開のシステム確立 | 毎月 | 12回 | [redacted] | 動画 | 動画の整理は今後の課題である。<br>各クラスで動画は公開している。12月に、0・1歳児の動画を配信予定。 | 動画の公開は実施できたが、整理が課題。 | 動画の作成については苦手な分野だったが少しずつ発信できるようになってきている。 | 次年度も継続して実施していく。 |
| | | | 子どもの絵・作品・動画を日常的に園内にて展示・公開する仕組みと環境 | 随時 | 随時 | [redacted] | 動画・画像 | 全クラス定期的に実施している。 | 全クラス定期的に実施している。 | 後半になってクラスによって頻度に差が出てしまったことが今後の課題。 | 管理職がクラスの活動内容を把握しながら担任に声を掛けていきながら実施していく。 |
| アカデミー＆マネージメント | 研修の充実 | 内部研修 | 場面記録の作成と読み合わせと研究会（1人1場面記録＋2研究会参加） | 通年 | 全8回 | [redacted] | 場面記録と議事録 | 5月に新任職員と3年目の職員と管理職で検討会を行う。今年度は11月中に1人1場面記録の提出予定。 | 場面記録は全員提出できた。全員分の検討会ができる様日程調整中。 | 研修委員が中心になって検討会が実施できているが、後半に集中したのが今後の課題。 | 研修委員を中心に、年間を通じて開催する計画を立てて実施する。 |
| | | | 担任交替保育 | 随時 | 年6回 | [redacted] | 日案・記録 | 11月～12月にかけて実施予定。 | 11月～12月にかけて実施し報告書を提出した。 | 職員の同僚性の向上にも繋がり、保育の幅を広げるきっかけになった。 | 次年度も継続していく。 |
| | | 外部研修 | 園見学　（保育を豊かにするために多様性を学ぶ機会） | 通年 | 1人1回 | [redacted] | 報告書 | 現在は、姉妹園への評価スケールへの参加のみとなっている。 | 姉妹園への評価スケールへの参加のみ実施。 | 姉妹園からの学びも多く、保育環境の改善に繋がる。 | 次年度も継続して実施していく。 |
| | | | 発達相談研修（大阪府立大学との連携） | 随時 | 随時 | [redacted] | 報告書・園内浸透 | 5歳児を中心に6/23・7/1・10/27に保育観察と振り返りを実施。 | 5歳児を中心に6/23・7/1・10/27に保育観察と振り返りを実施。 | アドバイスを受け、保育環境やかかわり方が変わったことで子ども達が落ち着き保育者の自信に繋がった。 | 次年度も継続して実施していく。 |

| 分類 | 大項目 | 重点項目（全園） | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過 | 結果（2月記入） | ふりかえり（2月記入） | 次年度の取り組み（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アカデミー&マネージメント | 研修の充実 | 法人内研修 | エカーズ、新任研修、年齢別会議、サーキット研の共有方法 | 随時 | 未定 | [redacted] | 録画・記録 | 参加者には、全体会議で報告し全体で共有している。 | 全体会議で報告し共有。 | 報告後、どのように保育に生かせたのかまでの検証が必要だと感じた。 | 検証を意識しながら継続して実施していく。 |
| | | | 久保研・ひらめき研に職員全員が参加したい（オンラインにて） | 未定 | 年2回 | [redacted] | 企画・立案・記録 | 現在は、管理職のみの参加となっているが今後はレコーディングを利用して共有していく。 | 乳児担任やリーダーの参加も実施。 | 藤森研への乳児担任の参加で、乳児クラスの環境や保育に変化がみられた。姉妹園の活動を知ることで意欲に繋がる。 | 次年度は、より多くの職員が参加できるような仕組みをつくっていく。 |
| | 人財育成・人事評価 | ヘキサゴン　（スキルアップ支援プログラム） | スキルアップ項目に対する具体的支援策 | 4月 | 年1回 | [redacted] | 評価結果・記録 | 4月に横グループ職員の目標設定を確認しアドバイスを行った。 | 4月・10月に実施。3月に振り返りを行う予定。 | 仕組みとして定着してきた。 | 次年度も継続して実施していく。 |
| | | | グループリーダー面談 | 4月・12月・3月 | 年3回 | [redacted] | 評価結果・記録 | 1回目は終了。2回目は11月中に実施予定。 | 4月・11月・12月・2月に実施。 | スキルアップ面談からの課題をリーダーと管理職で共有し改善策を考える機会が持てた。 | 次年度も継続して実施していく。 |
| | | 職員面談　（自己評価・他者評価） | 職員評価と園長・主任評価を相互に実施 | 8月・1月 | 年2回 | [redacted] | 面談記録・評価シート | 8月に園長が職員面談を実施。面談後主任と情報共有し、今後の職員支援を話し合う。 | 8月・12月・1月に実施。面談後主任と情報共有し、次年度の担任を調整する。 | 管理職で共有しリーダー会を持ち話し合う機会が持てた。 | リーダー会議を定例化して継続していく。 |
| | | メンター・メンティ | メンターの支援とアドバイス | 6月・10月・1月 | 年3回 | [redacted] | リーダー会にて共有 | 前期と中期で2回実施し、リーダーとも共有している。 | 前期・中期は定期的に行なったが、後期になると行事に追われてしまう。 | 担当者を限定し、継続できるようにする。 | 担当者を中心に確認をする。 |
| | 法人外部評価 | 第三者評価や施設関係者評価（学校評価）の活用 | 第三者評価受審計画 | 未定 | 未定 | [redacted] | 2023年度受審に向けて | 次年度の受審に向けて準備していく。 | 次年度の受審に向けて準備していく。 | 受審に向けての準備を開始。 | 受審に向けて準備をする。 |
| マネージメント | 財務 | 人件費率マネジメント | 7・1・1実施のための人材確保 | 通年 | 随時 | [redacted] | リーダー会議 | 学生アルバイトを雇用する。 | 学生アルバイト2名が定着して勤務。 | 土曜日にまとまったノンコンタクトタイムが取得できるようになった。 | 次年度も継続して実施していく。 |
| | | 積立金確保 | 過去の他園からの繰入金の返済と10年後の建替えを見据えて | 2月・5月・9月 | 年4回以上 | [redacted] | 予算・補正・決算 | 老朽化に伴い修繕費・備品購入が増えると思われるので補正必要。 | 今年度着手できなかった修繕・備品購入は次年度に計画的に進めてく。 | 次年度、正しく計画的に進めていく。 | 次年度、正しく計画的に進めていく。 |
| | | 適切な予算立てと予算執行 | 負債と資産を的確にとらえ、単年感覚を脱却し、長期的な予算計画 | 4月～5月 | 随時 | [redacted] | 貸借対照表<br>資金収支計算書<br>事業活動計算書 | 施設や備品の老朽化に伴い、修理や買い替えが増える見込み。 | 給食室の備品、屋上防水シート1/3張替え工事を実施。 | 次年度に持ち越した工事もあり、計画を立てて行っていく必要がある。 | 次年度は、計画していること以外にも修繕等が増えることを考えて、正確に実施していく。 |
| | 運営強化 | 人財定着化と個々の底上げ方法<br>（マネジメントブック種の活用など） | 7・1・1実施のための体制の工夫（パート職員を巻き込んだチーム保育） | 通年 | 随時 | [redacted] | リーダー会議 | 学生アルバイトの雇用や、パート保育士の協力で、少しずつノンコンタクトタイムを取得できるようになってきている。 | 行事になると難しくなってくるが、職員が協力しながら取得する仕組みが定着しつつある。 | パート保育士が継続して勤務してくれていることでノンコンタクトタイムの取得時間も少しずつ増えてきている。 | 次年度は、継続して人材確保を行うと共に事務作業の軽減も検討していく。 |
| | | 情報とテクノロジーを活用した運営 | ブログ機能の活用、動画配信と書き込み | 通年 | 随時 | [redacted] | iPad | 定期的にHPのブログの投稿を行っているが、今後は動画の配信を検討。 | 乳児クラスの動画のHPへの投稿を実施。 | 乳児クラスへの動画配信に加え、年度末の各クラスのパワーポイントの動画配信を行うことで、懇談会を欠席の保護者にも1年間の活動を伝えることができた。 | 次年度も回数を増やしながら継続して実施していく。 |
| | | 園の魅力を伝わらせるための広報・宣伝実践 | SNS、HPの活用 | 通年 | 随時 | [redacted] | 画像・動画配信 | 保育士採用に向けてHPの採用のページの活用を検討中。 | 採用のページに動画の掲載を実施。 | 直接採用には繋がっていないが、自分たちの思いを発信する機会と経験になった。 | 姉妹園のHPを参考にしながら活用の幅を広げていきたい。 |
| | | 採用活動の強化 | 養成校とのパイプづくりを採用活動につなぐ | 通年 | 随時 | [redacted] | 求人票・パンフ | 実習生を積極的に受け入れ養成校の先生と話す機会を増やしている。 | 姉妹園園長の紹介で養成校より有償ボランティアの紹介があり採用する。 | 実習生や有償ボランティアからの採用に繋げていきたい。 | 次年度も継続して実施していく。 |
| | | | ボランティア、実習生への指導・かかわりを丁寧に採用へとつなぐ | 通年 | 随時 | [redacted] | 報告書 | 実習生受け入れのマニュアルを作成し、各クラスに配布する。 | 簡易的なものは作成した。 | 誰でもが対応できるようなマニュアルにしていく必要がある。 | 担当者を中心に作成する。 |
| | | 制度の活用と改善（ロビー活動など） | ロビー活動の強化（地域自治体・社会福祉協議会へのアプローチ） | 通年 | 随時 | [redacted] | 記録 | 社会福祉協議会の定例会への出席ができないことが多いが協力依頼についてはできる限り協力している。 | 行事と重なり出席できないことが多かった。 | 協力依頼についてはできる限り協力したが、定例会への参加が難しかった。 | スケジュールの調整をしできる限り参加できるようにしていく。 |

# 2022年度 エールこども園　事業計画

| | 大項目 | 重点項目（全園） | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過（半年後） | 結果（2月記入） | ふりかえり（2月記入） | 次年度の取り組み（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アカデミー（保育＆教育の質の向上） | 理念に基づいた教育・保育 | 教育・保育方針<br>（同年齢の活動・異年齢の活動Wスタンダード） | 異年齢保育（フリーデー・ハッピーデー）・サーキット | 通年 | 週・月１回 | [redacted] | 日誌 | 毎週乳児、幼児の異年齢実施。サーキットは定期的にユニットを変更。 | 感染症の影響も最小限で実施に至ることが出来た。サーキットのユニットは必要に応じて変更した。 | 乳児は火曜日、幼児は木曜日に異年齢活動を行い、職員で振り返り子ども理解に繋げた。サーキットのユニットの見直しを行った。 | 来年度も継続する。 |
| | | | 年カリ・月案会議 | 通年 | 月１回 | [redacted] | 月案 | 新年度に各クラスの年カリをプレゼンし周知。年カリを見ながら毎月の月案会議を行う。 | 毎月、各クラスの月案会議実施 | 担任と管理職が毎月月案会議をすることで、各クラスの保育を共有し一緒に進める事ができ良かった。 | 来年度も継続する。 |
| | | 保育者の関係性向上（同僚性向上） | 中堅会議・人材育成委員会・マナー向上委員会 | 随時 | 随時 | [redacted] | 議事録 | 毎月、個人のマナーチェックを実施。課題や同僚性について発信、情報共有をし、今後を中堅で考えていく機会を持つ。 | マナーについては毎月の振り返りを行う。中堅の集まりは必要に応じて行い、日頃から個別でも声を掛け合う事を心掛けた。 | これまでやってきた内容を見直す時期にあると感じる。チェックすればそれで良しではなく、一人一人の意識改革が必要。 | マナーチェックの見直し、開催の頻度と拡充。 |
| | | | 交換保育・職種を超えたグループ担当による保育（発表会・誕生会） | 随時 | 随時 | [redacted] | 議事録 | 夏期協力日に交換保育を実施。5歳児の子ども達による誕生会司会進行。 | 5歳児による誕生会司会進行を継続中。3月の移行期には交換保育を実施予定。 | 誕生会の司会の子ども達の打ち合わせは、行事が重なると練習が出来ない事もあったので早めに時間をつくるようにしていく。 | 来年度も継続する。 |
| | | 保護者対応（保護者支援） | 個人懇談・保育参加・0.1生活ムービー | 春・秋・２月 | ３回 | [redacted] | 議事録 | 春、秋の懇談、参観実施。０，１歳生活ムービーは12月に個人対応で実施予定。 | 春・秋・進級前・進学前に個人懇談、保育参観。ビデオ上映会を個別開催。 | 例年通り、個人懇談を行う事で保護者とゆっくり園や家庭での様子を共有することが出来た。 | 個人懇談は例年通り。保育参観は時期を選択制で年に1回。ビデオ上映会を少人数グループで開催する。 |
| | | | 保護者との連携・保育活動計画の振り返り・園見学・10周年プロジェクト | 随時 | 随時 | [redacted] | アンケート | 運動会アンケート、活動計画振り返りアンケート２期分よりグーグルフォームで実施。 | グーグルフォームにしたことで集計がしやすく保護者も回答がしやすい。１０周年のアイデアを募る。 | ICT化の便利なところは活用しつつ、各クラスの見直しは必要。 | 来年度もICT化で進める。１０周年に向けて具体化していく。 |
| | 地域貢献 | 小学校・養成校など学校との連携 | 実習生受け入れ・地域学生体験受け入れ・養成校との関係構築 | 随時 | 随時 | [redacted] | レクチャーシート | ７月龍谷短大２名、９月大阪国際短大１名、１０月大阪こども専門学校１名受け入れ。 | 予定通りに実施したが、7月に１名体調不良で途中中断。１２月に不足分を実習。７，８月には職業体験で高校生2名受け入れ。 | 様々な職員が実習指導の担当にあたり、日誌やふりかえりを行うことで、互いの学びに繋がった。 | 来年度も積極的に受け入れていく。 |
| | | | 幼保こ交流・小学校交流 | 近隣園・学校 | ５回 | [redacted] | 報告書 | 感染症の影響で、今年度実施なし。 | 今年度の実施はなし。 | 今年度は実施出来なかったが、来年度は幼保こ交流と小学校交流の実施に向けて計画中。 | 来年度計画実施していく。 |
| | | ボランティアプロジェクト<br>（対外、対内、両方とも含む） | 元気アップサポーターポイント実施・地域ボランティア活動受け入れ | 随時 | 随時 | [redacted] | 報告書 | ボランティアの方が園庭、園周辺の水やり、草引き、玩具の修理や環境整備・掃除等園の環境維持全てに関わってもらっている。 | ボランティアの方が、園内環境整備や園庭環境整備の全ての維持に関わってもらっている。 | 溝掃除、マンホール清掃、寒波の時には事前に水道回り対策や窓ふきまで細部にわたり環境を整えてくださっている。 | 任せっきりになっており、当たり前にならないよう、できることはしていくように意識していく仕組み作り検討。 |
| | | | 中学校区連絡会議参加（あいさつ運動・清掃ボランティア） | 随時 | 随時 | [redacted] | 案内書 | あいさつ運動は、毎月１回園の前で実施した。 | あいさつ運動は、予定通り実施した。 | 来年度は中学校区の連絡会議実施予定なので、積極的に参加し、地域との交流を深めていく。 | 来年度も継続する。 |
| | | | 地域の高齢者との交流 | 随時 | 随時 | [redacted] | 訪問依頼 | 感染症の影響で、今年度実施なし。 | 今年度の実施はなし。 | 近隣の老人ホームへ依頼中である。 | 来年度は秋に2回実施予定。 |
| | | 地域の子育て支援 | 園内子育て支援センター事業（講座・季節の行事・看護師身体測定、相談会・2歳児教室・1歳児体験保育・給食体験） | 毎日 | 随時 | [redacted] | 通信 | イベントの日は予約制にして、利用者のニーズに合わせた内容のイベントを実施。 | 毎月イベント申込みが殺到する為、申込み方法を工夫しながら多くの方が参加できるようにしている。 | 利用者と一緒にイベントの企画を進める中で、利用者主体のイベントになるよう心掛けた。 | １，２歳児体験保育、給食体験も再開していきたい。 |
| | | | 子育て支援センター事業（ホームページ掲載・広報） | 各月１回 | 随時 | [redacted] | 通信 | ホームページ、広報は毎月１回掲載 | 毎月１回掲載している。 | 新規利用者にもわかりやすく目に留まりやすい掲載を工夫している。 | 来年度も継続する。 |
| | | | 一時保育・アルテコローレ（zoom家庭配信） | 随時 | 随時 | [redacted] | 報告書 | 一時保育登録者増加 | 乳児クラスを中心に一時保育の毎日利用者がいる。 | 一時保育を利用してから入園する子も多かったので、園の保育を体験してもらう機会として、大切にしていきたい。 | 来年度も登録者増加を目指して継続。 |
| | 委員会活動の強化 | 食育 | 日本の郷土料理・世界の料理を取り入れた食育の実施 | 年間各１回 | ２回 | [redacted] | フォトレター<br>記録 | 世界の料理を給食、おとまらない保育の際に実施。 | 5歳児を中心に世界の料理のクッキングを実施。 | クッキングを通して子どもたちがたくさんの世界の料理を知ることができた。 | 来年度も食育計画に取り入れたい。 |
| | | | クッキング・各年齢別食育活動・お箸指導・レシピ集の作成・非常時献立作成 | 随時 | 随時 | [redacted] | フォトレター<br>記録 | ３・4歳児にお箸指導、各クラスに食育活動を実施。 | 4歳児は全員箸の使用が可能になったが、数名は持ち方の指導が必要。3歳児は定期的に練習を実施中。 | 箸の使い方に興味を持てることを重視し、指導法を工夫した。意欲的に行うことが出来た。 | 来年度も継続する。 |
| | | | 農育・畑拡大・収穫物を使ってのクッキング | 通年 | 随時 | [redacted] | フォトレター | さつまいもや枝豆など収穫物を使ってのクッキングを実施。 | 各クラスでクッキングを実施。 | 収穫物でクッキングを行う機会が増えた。 | 来年度も継続する。 |
| | | 保育環境 | 美化・エコを意識する仕組み作り | 毎月 | 12回 | [redacted] | 議事録 | 毎月エアコンの掃除や節電節水を周知。 | 掃除チェック表を用いて保育室の清掃を行う。全体会で電気代や水道代を伝え節電節水を呼びかけた。 | 定期的に大掃除を実施し、園舎内を綺麗に保つよう職員全体で意識。電気やエアコンの消し忘れも周知し注意喚起を行った。 | 来年度も継続して節電節水を心掛けていく。 |
| | | | 各種マニュアルの浸透を検証、振り返り、交換保育 | 随時 | 随時 | [redacted] | 報告書 | 夏期に交換保育を実施。マニュアルはより分かりやすく変更。 | マニュアル更新をし園内で回覧し周知している。 | 夏期休暇が多く交換保育の日程は設ける事が難しかった。 | 来年度も継続する。 |
| | | | 在籍する障がい児、配慮児の特徴を勉強、職員間で共有 | 毎月 | 12回 | [redacted] | 議事録 | 加配ケース検討会議を実施し職員間で共有。<br>春・秋に市からの巡回相談受診。 | 2月、巡回相談受審。幼児会議で加配ケース検討会議を実施。 | 巡回相談受診が全て終了。全体で加配ケース検討会議が1回しか実施できなかった。 | 来年度も継続する。 |
| | | | 各保育室・コーナーゾーンの環境整備 | 随時 | 随時 | [redacted] | 議事録 | コーナーの見直し、保育環境の充実を図る。 | 玩具は子どもの興味、関心に合わせて準備し、環境を整えている。 | 新しい玩具を購入。<br>レクチャーして遊びを広げた。 | 来年度も継続する。 |

| | 大項目 | 重点項目（全園） | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過（半年後） | 結果（2月記入） | ふりかえり（2月記入） | 次年度の取り組み（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アカデミー（保育&教育の質の向上） | 委員会活動の強化 | 保育環境 | 絵画展示出展・生活展・SDGｓの取り組み | 随時 | 随時 | [redacted] | チェック表 | 幼児クラスは絵画コンクールに4回応募。 | 絵画展では14名が入賞。<br>生活展はプレ開催も含め２日間実施。 | 生活展は関東姉妹園の先生方が来園。<br>行事への理解も保護者に浸透してきた。 | 各クラスの造形活動を充実させながら、園全体の造形活動の質を向上させる。コンクール、生活展は次年度も継続。 |
| | | | ECC・ウェルネス・リトミック・ピアノ | 通年 | 隔週 | [redacted] | 報告書 | 予定通り遂行。５歳児５月より月１回ラグビー教室開始。 | 振替になった箇所もすべて終了。 | 課外の参加者が増加した。 | 希望者増加のため来年度はピアノ受講者数を増やす。 |
| | | | 屋上庭園計画、園庭環境の整備及び充実するための仕組み作り | 随時 | 随時 | [redacted] | チェック表 | 保護者の寄付で、メダカの飼育を始める。餌やりや、ビオトープの定期的な掃除を実施。 | 設置から飼育方法、環境整備等を繰り返し話し合い、確認しながら観察を楽しんだ。 | 小さな命の大切さを考えることで、石や砂などビオトープへの異物の混入が減ってきている。 | 来年度も継続する。 |
| | | 危機管理 | 各避難訓練（火災・地震・不審者等）・BCP研修参加計画策定 | 毎月 | １２回 | [redacted] | 報告書 | 避難訓練は毎月実施。BCP研修に参加し計画書作成中。 | 毎月、地震や災害に備えて繰り返し行う。 | 毎月避難訓練を行い、訓練の必要性や、命を守る大切さを学んだ。弾道ミサイルの避難訓練も実施。 | 来年度も継続する。 |
| | | | 職員健康診断・インフルエンザ予防接種・子どもの検診（視力・聴力・身体測定等）・園医による検診（内科・歯科） | 毎月 | １２回 | [redacted] | 報告書 | 健康診断（内科、視力、歯科）終了。秋に内科検診終了、歯科、視力は11月に実施予定。職員健康診断終了。インフルエンザは小松病院と日程調整中。 | インフルエンザ予防接種、内科検診、視力検査、歯科検診終了。2月末に聴力検査実施予定。 | 内科検診や身体測定など定期的に行い、子どもの健康状態を把握した。<br>また年1回職員の健康診断を行い職員の健康管理も行った。 | 来年度も継続する。 |
| | | ラボ（実践＝学び）（研究＝ふりかえり）<br>スケール（評価） | ネタ集実践・サーキット研 | 随時 | 随時 | [redacted] | 日誌 | 研修ネタを園内研修で実施。ふれあい遊びを支援や地域の人対象のイベントで実践し好評。 | サーキット研修が実施できていない。乳児サーキットに参加し職員と情報共有。 | 職員同士でサーキットについて共有する機会が少なかった。 | 来年度サーキット会議を検討していく。 |
| | | ライブラリー（データベース・ファイリング） | パソコンマイスター（ホームページ・データー整理更新） | 随時 | 随時 | [redacted] | 動画 | チャイルドケアウェブの新機能の周知やHP更新の確認を行っている。 | チャイルドケアウェブの新機能を全体会などで周知を行う。HPでは園の取り組みを更新している。 | 新機能の周知や変更点なども多くあるが、順調に進める事が出来ている。 | 来年度より電子連絡帳に変更する。 |
| | 研修の充実 | 内部研修 | 公開保育（プレスケール・プレライジン） | 通年 | １０回 | [redacted] | 議事録 | プレを繰り返すことで保育の改善点が見えた。職員で共有しながら具体的な課題に取り組めた。 | プレスケールを繰り返し行う。 | スケールは職員全体で取り組む事が出来た。振り返りでの課題を日々の保育に活かしていきたい。 | 来年度も継続する。 |
| | | | 保健衛生会議（救命安全指導など） | 通年 | １２回 | [redacted] | 議事録 | 毎月1項目を開催。職員が振り返りシートを記入し、議事録に保存。 | 毎月実施済。報告書も提出済。 | 毎月流行時期に合わせて実施することで、職員が周知しやすく、保護者対応や感染対策にも統一した対応ができていた。 | 来年度も継続する。 |
| | | | 乳児会議・幼児会議（エピソード・ボートフォリオ含む） | 通年 | 週1回 | [redacted] | 議事録 | 毎週１回すつ会議を行い、議事録に記録し保存している。 | 日々の記録をボートフォリオに残し、会議でも共有している。 | 乳児、幼児会議の議事録を保存。<br>ボートフォリオもクラス間で周知し、子ども理解に繋げていきたい。 | 来年度も継続する。 |
| | | 外部研修 | アルテコローレ造形・社協研修 | 随時 | 随時 | [redacted] | 報告書 | 京都幼年美術の会の研修に参加。子どもの描画・造形について学ぶ。 | 幼年美術の会主催の研修に参加し、園内研修を行い、職員間で共有する。 | 外部研修に参加し、現場に活かせるようにしてきた。 | 来年度もさらに充実させていく。<br>アルテコローレとは新規プロジェクトを予定。 |
| | | 法人内研修 | ひらめき会議・久保研・藤森研 | 通年 | １２回 | [redacted] | 報告書 | 土曜開催の藤森研は、正規職員全員参加で学びあう。久保研・ひらめき研はリーダー・管理職で参加。 | 予定通り受講した。 | 各自、報告書やふりかえりを提出し、現場で活かせるよう深めている。 | 来年度も継続する。 |
| | | | スケール・年齢別会議・新任研・合同会議・キャリア別研修 | 通年 | ２回 | [redacted] | 議事録 | 園内研修を繰り返しながら、大事にしたい保育の浸透を図る。 | すべて予定通り終了。 | 職員が外部研修を受講後、園内研修を行ったり、法人研修や園内研修は充実していた。 | 来年度も継続する。 |
| | 人財育成・人事評価 | ヘキサゴン　（スキルアップ支援プログラム） | スキルアップ支援（シート＆面談） | 3ヶ月毎確認 | ２回 | [redacted] | スキルアップシート | 5月に目標を立て各リーダーと面談。必要に応じて、目標や手立ての修正を行う。 | 3月に最終ふりかえりの面談をを行い、一年の総括を行う。 | 第一評価者同士の周知を密にし、日々の保育に活かしていけるよう繋げていく。 | 来年度も継続する。 |
| | | 職員面談　（自己評価・他者評価） | 目標面談・キャリアアップ面談 | 随時 | 随時 | [redacted] | ヘキサゴンシート | １０月に中間チェックとして自己評価、他者評価を行い、面談を行う。 | 予定通り実施した。 | シートの記入ミスが数名あった。５月の面談でリーダーと記入方法の確認が必要。 | 来年度も継続する。 |
| | | メンター・メンティ | 新任職員と経験者の対話 | ５月～２月 | １０回 | [redacted] | メンターメンティ報告書 | 月１回開催し、管理職に報告書を提出。 | 行事前後は開催が遅れることがあった。 | 報告書のフォーマットを変更課題が分かりやすく振り返られるようにした。 | 来年度も継続する。 |
| | 法人外部評価 | 第三者評価や施設関係者評価（学校評価）の活用 | 第三者審査結果の今後の受審に向けて書類整理・マニュアル更新 | 随時 | ２回 | [redacted] | 審査結果書類 | 第三者評価者資格取得中。書類整理と不備書類など確認し受審に向けて準備している。 | 第三者評価者資格取得。受審に向けて書類整理。 | ヒヤリハットの報告が定着せず、検 | ミーティング用紙に欄を設け、仕事終わりに記入する。月ごと事務が集計しデータ化して継続。 |
| マネージメント | 財務 | 人件費率マネジメント | 適正な職員配置・保育教諭資格等取得支援 | 随時 | 随時 | [redacted] | 財務会議 | 今年度各クラス担任＋１名の人員配置。看護師と栄養士が保育士資格取得中。 | 担任＋1名の人員配置で、事務作業時間内効率化。看護師・栄養士・事務員が保育士資格取得中。 | ゆとり人員があってもなかなか抜けて出てくることができず、＋１名で保育をしていることが多い。効率よく事務作業していく。 | 担任＋１名体制継続、事務作業の効率化を検討。 |
| | | 積立金確保 | 積立金１０%目標 | 毎月 | １２回 | [redacted] | 会計表 | 目標遂行中 | 目標遂行中 | 目標遂行中<br>目標以上の積み立て確保 | 来年度も継続する。 |
| | | 適切な予算立てと予算執行 | 本部と連携予算立て・稟議書３社見積もり徹底・補助金の獲得 | 随時 | 随時 | [redacted] | 稟議書 | 3社相見積もりの徹底。 | 3社相見積もりの徹底。 | 3社相見積もりの徹底。補助金獲得するための条件交渉。 | 補助金獲得の為、仕組み条件等学び、随時交渉していく。 |
| | 運営強化 | 人財定着化と個々の底上げ方法<br>（マネジメントブック糧の活用など） | 糧・コンセプトブックを使っての勉強会 | 随時 | 随時 | [redacted] | 糧 | 乳児会議・幼児会議で研鑽、ディスカッションを開催。 | 乳児会議・幼児会議でグループに分かれて研鑽、ディスカッションを遂行。 | 園長・主任チャレンジプラグラムもかねて循環・浸透するよう読み合わせの機会を増やす。 | 来年度も継続する。 |
| | | 情報とテクノロジーを活用した運営 | 保育のマネージメント・チャイルドケアウェブの応用 | 随時 | 随時 | [redacted] | ipad | 新しいドキュメンテーションの使用、改善を行う。 | 乳児クラスは電子連絡帳、午睡チェックを活用。 | 午睡チェック、連絡帳など順次電子化に移行している段階の為、不備や使いづらさ等あればその都度検討していく。 | 来年度も継続。今後順次、連絡事項、欠席連絡、園だより等も活用できるように進めていく。 |

| | 大項目 | 重点項目（全園） | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過（半年後） | 結果（2月記入） | ふりかえり（2月記入） | 次年度の取り組み（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| マネージメント | 運営強化 | **園の魅力を伝わらせるための広報・宣伝実践** | ホームページ、インスタの活用、地域広報、新聞折り込みチラシ配布、近隣ポスター掲示、 | 随時 | 随時 | [redacted] | SNS | インスタと共にホームページの更新を強化。新聞折り込みチラシ3千枚配布。園周辺に園児募集のポスター掲示。 | 日々の保育や行事などをインスタ、ホームページにアップ。 | インスタなどで自分たちの大事にしていることや日々の保育の様子を伝えることが出来、保護者からも喜んでもらっている。 | 来年度も継続する。 |
| | | **採用活動の強化** | 養成校との連携・求人案内票送付・保育教諭確保のための資格等取得支援 | 随時 | 随時 | [redacted] | 求人票パンフ | 養成校への求人案内送付と大学求人ナビへ登録。 | 実習生受け入れ養成校の先生が来園の際、園内案内し、学生へアナウンスしてもらえるよう丁寧に対応。 | ハローワーク・大学求人ナビ・ジョブメドレー・guppy・airワークなど、細目に登録更新。 | 来年度も継続する。 |
| | | | ハローワーク・就職フェア参加・お友達企画アピール | 随時 | 随時 | [redacted] | 求人票パンフ | 7月に就職フェアに参加。ハローワーク、エアワークなどへの求人も行う。 | 2月９日にフェアに参加予定。引き続き、求人を行っていく。 | フェアに参加する学生が全体的に減少しているが幅広く養成校にアピールしていき獲得に繋げる。 | 来年度も継続する。 |
| | | **制度の活用と改善（ロビー活動など）** | ロビー活動の強化（地域自治体・議員・保育連盟へのアプローチ） | 随時 | 随時 | [redacted] | イベント案内状はがき | 引き続きインスタ、ホームページ等で園の活動を発信。また園名変更通知の作成をし地域に周知した。 | インスタ・ホームページ等で園の活動を発信。地域自治体と挨拶運動等で交流。 | 感染症対策で、交流がもてなかった。第三者委員宅に毎月訪問し園だよりを手渡す。 | 感染症対策が緩和され、園行事の参加再開予定。 |

# 2022年度　天王寺保育園　事業報告

| 分類 | 大項目 | 重点実施項目 | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過 | 結果（2月記入） | ふりかえり（2月記入） | 次年度の取り組み（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アカデミー（保育&教育の質の向上） | 理念に基づいた教育・保育 | 教育・保育方針<br>(同年齢の活動・異年齢の活動Wスタンダード) | 理念ブック（コンセプトブック・糧）の活用と浸透 | 全体会<br>（園内研修） | 随時 | [redacted] | 記録 | 職員会議の冒頭で「糧」の音読をしている。HP週刊てんのうじに記載し、職員は「やったマップ」で共有。 | 会議の冒頭にて「糧」の読み合わせ実施。週刊てんのうじは「やったマップ」に記入。 | 読み合わせのみになっているのが現状だが、種の会としての取り組みについて解説となるような内容を意識した。 | 読み合わせにとどまらず、理念研修の内容も含めてフィードバックする機会を設けていきたい。 |
| | | 保育者の関係性向上（同僚性向上） | 期案会議 | 4月、6月<br>8月、11月<br>1月 | 5回 | [redacted] | 期案 | 4、6、8月と実施済み。チャイルドケアWEBで期案を作成している。 | 10月・12月・2月で作成済み。振り返りも随時記入している。 | しっかりと作成し記入ができている。1つの書式になっているので、計画を立て振り返ることができた。 | 次年度も同じ書式の形で行い、前の月にしっかりと期案会議をしていきたい。 |
| | | 保護者対応（保護者支援） | クラス懇談会（ZOOM） | 4月・2月 | 年2回 | [redacted] | 資料<br>プレゼン資料 | 5月に対面とZOOMで実施。3月にも実施予定。 | 5/21(土)、3/4(土)の計2回実施。どちらも保護者の希望を取り、対面、ZOOMで実施した。 | 保護者の方と子どもの姿を振り返ったり、成長を喜んだり、普段は言えなかった疑問や気になることなどを共有できる機会となり、信頼関係を深めていくことができた。 | 今後も新年度初めの5月、年度終わりの3月に実施していく形で継続していく。 |
| | 地域貢献 | 小学校・養成校など学校との連携 | 次年度に向けて、近隣高等学校、または小学校での運動会開催打診 | 随時 | 随時 | [redacted] | 申請書<br>承諾書 | 桃陽小学校体育館にて運動会実施。次年度は新園舎の隣の大阪ビジネスフロンティア高校へ打診。 | 12月移管後に大阪ビジネスフロンティア高校に運動会体育館使用について依頼に伺う。 | 学校のクラブ活動の行事や申請先なども含めて4月以降に再度協議する。 | 大阪ビジネスフロンティア高校にて運動会実施（決定）。 |
| | | ボランティアプロジェクト<br>（対外、対内、両方とも含む） | 実習先（養成校）のリサーチ | 随時 | 随時 | [redacted] | 記録 | 11月1日大阪市私保連主催、養成校との教育懇談会に参加。分科会では養成校との先生との情報交換ができた。 | 後半は特に養成校との交流できる場はなかった。 | 元公立施設であったため実習先リストなども引き継ぎがなかったのとコロナの影響で実習を実施できなかった。 | 私保連の養成校一覧リストにて実習の案内と求人票を送付する。 |
| | | 地域の子育て支援 | 園庭開放・子育て相談事業 | 週1回 | 40回程度 | [redacted] | 参加名簿<br>実施記録<br>アンケート | 園庭開放は週1で開催。子育て相談事業は稼働していない為、進め方を思案中。 | 毎週水曜日の10：00～11：30に実施。 | 園庭開放は引き続き週1回行う。12月に新園舎に移ってからお越しになられる方が増えた。近隣の方の遊べる場になると良いと思う。 | 次年度は利用家庭に声掛けをして保育園が地域の方にとってもっと身近な存在になるようにしていきたい。 |
| | 委員会活動の強化 | 食育 | 献立、調理法、配膳、離乳食対応、アレルギー対応の確立 | 通年 | 毎日 | [redacted] | 給食会議 | 公立のメニューや対応などを少しずつ見直しながら改善を図っている。 | 新園舎（移管後）に移ってから設備も充実し、食器なども新調し、法人独自のメニューなどに変更していった。 | 保育士よりメニューや規定量、味付けなど、意見を多く出し合い、給食室でも改善を図りながら取り組んだ。 | 食育の活動（特に子どもたちと直接栄養士が関わる）を充実させていきたい。 |
| | | 保育環境 | 自然物、画材、廃材、積み木などを充足させ保育環境をつくる | 通年 | 毎日 | [redacted] | 期案<br>クラスの掲示 | 各クラスコーナーを作ったりしながら工夫をしてはいる。公立からの画材を保育で使用はしているがまだまだ足りない状況 | 新園舎に移り、コーナーを充実させたり各クラス工夫をしている。0.1歳児クラスはもう少し考えたい。 | 幼児クラスはフリーデイがあるので固定しつつあるが、また子ども達にあったものを置くなど話し合いが必要。乳児はその都度子ども達に合わせた配置換えが必要。 | 幼児クラスはさらに充実するよう今後も担任同士話し合っていきたい。0、1歳児クラスは、今の子ども達よりも月齢差などにも対応できるように、棚の設置など検討が必要。 |
| | | 危機管理 | ①子どもの検診（内科検診、歯科検診）視力・聴力検査②職員の健康診断（予防接種・定期健診・生活習慣病予防検診） | 6月、7月、10月、2月 | 内科年3回<br>歯科年3回 | [redacted] | ①健康手帳<br>②健診記録 | 内科検診6月、10月実施<br>歯科検診7月2回実施<br>職員健康診断10月より実施 | 歯科検診（6/2、9/8）<br>内科検診（6/6、11/7、2/20） | 内科検診は次年度も年3回を実施（かおる先生にも確認済み）。 | 年間の予定を早く決定し、保護者にもお伝えしていく。 |
| | | | ①避難訓練（火災・地震・水害・不審者・合同訓練・消防訓練）②AED・アレルギー・熱性けいれん・救急法 | ①通年②緊急時の訓練 | ①毎月1回実施<br>②年度はじめ | [redacted] | ①避難訓練実施報告書<br>②会議録 | 避難訓練は、毎月実施。消防訓練は、消防署の方と要相談してからの実施予定。 | 毎月実施。旧園舎で8回、新園舎3回実施。 | 新園舎に移動してから、まだ4回しか避難訓練を行っていないので、いろんな災害時を想定し、避難の仕方を再度確認する必要がある。 | 消防署の方と相談し消防訓練を行なっていく。 |
| | LLを柱とした保育実践と研鑽 | ラボ（実践＝学び）（研究＝ふりかえり）スケール（評価） | 実践（研究）・記録・公開の流れを構築（年度末クラス懇談会でのパワーポイント作成） | 年2回 | 年2回 | [redacted] | 企画・立案<br>記録 | 画像や動画を撮り溜めているので、クラス懇談会や園自慢などに活用。スケールは次年度より。 | 画像や動画を撮り溜めているので、クラス懇談会や園自慢などに活用。スケールは次年度より。 | 次年度よりスケールが始まるので、保育環境や玩具などの確認や見直しをする必要がある。 | 次年度よりスケール実施。 |
| | | ライブラリー（データベース・ファイリング） | クラス掲示とふれあい遊び・サーキットの画像・動画データ | 毎月 | 12回 | [redacted] | ドキュメンテーション・動画 | クラス掲示は各クラスで頻繁に行っている。ふれあい遊び・サーキットの画像は各クラスより集めます。動画は収集を考え中。 | クラス掲示は、前期に引き続き各クラス頻繁に行われている。動画は編集して園の共有フォルダへ格納します。 | どのクラスもクラスの様子等保育室前に週一回以上は掲示されている。サーキットやふれあい遊びの画像は各クラスで撮影されている。 | 次年度の参考になるように、共有フォルダに毎月画像動画を格納する |
| アカデミー&マネージメント | 研修の充実 | 内部研修 | エピソード、場面記録、ラーニングストーリー | 通年 | 年1回 | [redacted] | 考察会記録 | キラキラシートを始めている。<br>特別支援の巡回（加藤先生）が保育者のマインドに好影響。 | 職員会議のあり方を見直し、1時間会議、1時間研修というスタイルに移行した。 | 発表会の前に職員同士で思っていることやこれまでの経験を踏まえた話し合いの場をグループで設けたが、いろんな意見が出され、ますがやってみようという意識を持てた。 | エピソードなどを用いて小グループ考察会から試行してみる。<br>救急救命やマニュアル周知など、必須の研修も年間の計画に盛り込む。 |
| | | 外部研修 | 大阪市私立保育園連盟、キャリアパス研修 | 通年 | 1人1回 | [redacted] | 報告書 | キャリアアップ研修は随時受講。<br>私保連に関しては参加なし。 | 幼児、乳児保育、障がい児保育を受けたが、すごくいい勉強になった。もっと保育に活かせるようにしていきたいと感じた。 | 自分が受けた研修内容を他の職員に伝える報告会のようなものがあればいいかなと思う。 | さらに充実した保育となるように各自受けれたらいいと思う。また、それを周りに伝え共有できるようにしたい。 |
| | | 法人内研修 | ライジン、ひらめき研・久保研、新任研修、年齢別会議 | 随時 | 未定 | [redacted] | 記録 | 各研修ごとに書き込みや振り返りをデータで共有しているが、報告や読み合わせまでには至っていない。 | それぞれの研修に参加した内容はMLにて共有したり、スケールの報告などを会議で共有したりした。 | 各会にて振り返りを行っているが全ての会の共有の仕方（浸透・循環）が難しく課題。 | カバゴンの計画に基づいてそれぞれの会の共有の仕方を一つ一つの特性に合わせて形にしていきたい。 |
| | 人財育成・人事評価 | ヘキサゴン　（スキルアップ支援プログラム） | スキルアップ項目の確立とリーダーの役割確立 | 4月、10月<br>1月 | 年3回 | [redacted] | 評価結果・記録 | スキルアップ初年度ということもあり、園長と主任が行っている。 | 12月の面談時にスキルアップの中間報告を実施。進捗状況も確認した。 | 年度末振り返りの面談が実施できなかったが、結果と振り返りは記入し提出している。 | 保育リーダーがメンバーの面談を行って、細かくスキルアップに取り組んでいきたい。 |
| | | 職員面談　（自己評価・他者評価） | スキルアップシート＆職員面談の確立 | 4月、8月<br>10月、1月 | 年4回 | [redacted] | 面談記録<br>評価シート | 管理職との職員面談にてスキルアップシートの内容を共有し、新たな目標や課題について話し合った。 | 12/19～12/27の間で正規職員・パート職員の面談を実施。 | 特にパート職員とは初めての面談だったためいろいろとお話しできていい時間となった。正規職員も悩んでいるところや力を入れて取り組んでいることなどしっかり話ができてやはり対面での話し合いは必要だと感じた。 | 新園舎になって面談する場所が出来たので、次年度は予定通りの期間で実施したい。 |

| 分類 | 大項目 | 重点実施項目 | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過 | 結果（2月記入） | ふりかえり（2月記入） | 次年度の取り組み（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アカデミー&マネージメント | 人財育成・人事評価 | メンター・メンティ | メンター・メンティ制度の確立と定着 | 5月～2月 | 年10回 | [redacted] | 面談 | 休憩中・園内（業務後）・園外（業務後）で月１回計７回実施。今年度はメンティーも多いため、メンターは一人がメンティーを二人担当している。 | 毎月メンターメンティーを行なっている。２月まで実施済み。 | メンターがメンティーを２人ずつ見ることが少し大変だったと感じる。 | 来年度は入職が２名なので、メンターメンティーがしやすいと思う。 |
| | 法人外部評価 | 第三者評価や施設関係者評価（学校評価）の活用 | 第三者評価受審（大阪市民間移管の公募要件） | 通年 | 未定 | [redacted] | 令和5年度受審 | 今年度は受審なし。 | 今年度は受審なし。 | 今年度は受審なし。 | 令和5年度受審。 |
| マネージメント | 財務 | 人件費率マネジメント | 正規職員の残業ゼロを目指す、（元公立）パート職員の配置を調整 | 通年 | 随時 | [redacted] | リーダー会議 | 会議を除いて日常的な残業はほぼない。公立のパートさんも適正な人数になりつつある。 | 大阪市の人件費にあたる補助金は全て申請した。<br>年度の後半は新園舎への引越しや準備などで残業も数回あった。 | 新園舎での保育や過ごし方が確立されるにあたり、休憩や事務時間なども取り方のパターンが出来つつある。 | 人員を確保し、休憩と事務時間、残業ゼロを目指す。 |
| | | 積立金確保 | 財務状況の安定化を図り、姉妹園からの繰り入れなどの返済計画を本部と調整して決めていく | 年4回程度 | 6月、9月<br>12月、2月 | [redacted] | 予算<br>補正<br>決算 | 建築費用、福祉医療機構借入、家具、備品等で多くの購入（支出）があるので積立金は最小限なものになる見込み。 | ２月末時点で3,500万の拠点区分間繰入が必要となる。 | 初年度で多額の費用が必要の中、補助金の項目が他市と比べても少なく、多数の園から繰入をしてもらうことになった。 | 補助金収入が他市と比べても金額が少ないので、予算化している補助金を確実に確保する。 |
| | | 適切な予算立てと予算執行 | 定員区分61名～70名、適切な補助金申請と大阪市単独補助事業の活用 | 通年 | 月1回 | [redacted] | 貸借対照表<br>資金収支計算書<br>事業活動計算書 | 適用できる補助金は全て申請している。定員は71名で80名定員ということで途中入所を積極的に進めている。 | 最終は全園児73名。４歳が３名、５歳が５名埋まらなかった。 | 天王寺区は転入される人も転出される人も多く、年間で５名ほど引越しをされた。そういう土地柄ということも踏まえて運営していかないといけない。 | 今のところ５年度は100名定員中９７名スタートとなる。４歳１名、５歳３名がまだ入園できるので、いつでも受け入れられる体制をとっていきたい。 |
| | 運営強化 | 人財定着化と個々の底上げ方法<br>（マネジメントブック糧の活用など） | ７・１・１実施のための体制の工夫（パート職員を巻き込んだチーム保育） | 通年 | 随時 | [redacted] | シフト表 | 働き方改革推進メンバーが毎日勤務ボードを作って、休憩やフォローなどの体制を作っており、職員みんなで協力し合うよう意識している。 | 職員の数も潤っているため、フリーやクラス内で声を掛け合い全職員がほぼ毎日事務時間の確保ができている。一覧表も作成して、誰がどのくらい取れているのか見える化している。 | ４・５・６月は日々の保育や休憩をとることに注力していたが、７月頃より保育に余裕ができて事務時間が確保できるようになってきた。一覧表途中から１週間ごとに変更した。子どもたちの数に対して職員が多いのでうまく事務時間を取れていると思う。 | 来年度は子どもの数は増え、職員数は減るが協力して事務時間の確保に努める。全員が平等に取れるシステムにし、見える化することは大切だと感じる。 |
| | | 情報とテクノロジーを活用した運営 | チャイルドケアウエブの導入と定着 | 通年 | 随時 | [redacted] | ＰＣ／ｉＰａｄ | 今年度から導入している。週案・個人記録・きらきらシートの記入で使用している。 | 発表会のステップと呼吸チェックもチャイルドケアウェブを使用した。全ての書類に関しても、ほとんどパソコンで作成している。 | チャイルドケアウェブ１年目だが、１年を通して保育者は使いこなせてきていると感じる。いろいろな書類とも紐づけて、チャイルドケアウェブ内で完結できるように、取り組めた。保護者の方に連絡するツールとしても機能している。動画作成なども使用している。 | 電子連絡帳・今日の保育についてもを来年度は導入していく。保育者はより一層使用していくことになる。保護者にもより便利に使っていただけるように説明していく必要がある。マックPCがあることで、動画のエアドロップもしやすい。 |
| | | 園の魅力を伝わらせるための広報・宣伝実践 | SNS、HPの活用 | 通年 | 随時 | [redacted] | 画像<br>動画配信 | HPは各クラスinstagramは広報担当者が投稿している。事前にスケジュールを伝えていることで、定期的に配信することができている。 | 1月からのHP更新スケジュールを掲示し、各クラス毎に更新している。 | 1月からインスタグラムのネタ集めが滞り、投稿できていないのが現状。 | 滞りなく継続的に更新していけるようにスケジュール管理をしていく。 |
| | | 採用活動の強化 | 採用・求人広報を充実させる | 通年 | 随時 | [redacted] | パンフ<br>ホームページ | パンフレットは新園舎での生活が始まってから作り始める予定。デザインはアプリ（CANVA）から探し、複数の候補あり。 | 自園でパンフレットを作成予定。 | たたき台としてCanvaにてデザインを作成した。掲載内容については、詰めていかないといけない。 | こども園化するにあたり、園児や職員確保(集客)のためにも、"天王寺保育園とは"を伝えられるようなパンフレット作成を急ぎたい。 |
| | | 制度の活用と改善（ロビー活動など） | 大阪市私立保育園連盟への加入 | 通年 | 随時 | [redacted] | 案内・送付物 | 大阪市私保連生野ブロック会（園長会）に毎月参加している。様々な情報共有ができている。 | 1月13日生野ブロック会新年会1月27日新園舎見学会（生野ブロック会）。 | 昨年度まで行われていなかった「対面」での会合が行われるようになり、名刺を配ってご挨拶するところから始めている。 | 地域の方（自治会や社協など）や議員などの人脈を模索していく。 |

# 2022年度　つどいの森もみの木こども園　事業報告

| 分類 | 大項目 | 重点項目（全園） | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過（半年後） | 結果（2月記入） | ふりかえり（2月記入） | 次年度の取り組み（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アカデミー（保育&教育の質の向上） | 理念に基づいた教育・保育 | 教育・保育方針<br>(同年齢活動・異年齢活動、Wスタンダード) | 理念研修（理念ブック読み合わせ）心もち、活動の協働知 | 全体会議・M研<br>運動会・発表会 | 年12回 | [redacted] | 次第・議事録 | 全体会議には必ずコンセプトブック・種・もみの木マニュアルを持参し読み合わせを行う。 | 予定通り会議、研修、行事を行うことができ、都度コンセプトブック・種・マニュアルをもとに取り組むことができた。 | これまでできなかった活用は、年間通して行うことができたが、十分活かすには至らなかったと振り返る。 | 常に意識するは確立したので、活かすための仕掛けを工夫したい。例：もみのキッズ、理念、心もちに番号をつけて毎回当てはめる。 |
| | | | 各会議の充実 ①：マニュアルを基準に方向性や原則確認 | 毎月・毎週 | 毎月・毎週 | [redacted] | クラス会議録・<br>全体会議録 | 全体会議には必ずコンセプトブック・種・もみの木マニュアルを持参し、行事の際は読み合わせを行う。 | 毎月、全体会議ではグループワークの時間を設けることができた。 | 行事の前などは全体でマニュアルの確認をしたが、それ以外の部分ができなかった。 | 毎月、マニュアルを用いて、園運営等を皆で確認しあう時間を設ける。 |
| | | | 各会議の充実 ②：各人の思い考えが発言が出来る場として | | | | | クラス会議では参加者全員が必ず発言できるように話を振ったり、思いを引き出している。 | 一人ひとりの思いを引き出すことはできたと思うが、その思いをクラス内で共有するのに時間がかかったように感じる。 | それぞれの思いを尊重しすぎ、"結局どうする"の部分にいくまでに時間がかかった。 | マニュアルを用いて専門性の部分を○×で分かりやすく伝えていく。 |
| | | 保育者の関係性向上（同僚性向上） | 保育活動サポート（実践の意味づけ、業務の見える化）重なり合う3つの三角関係 | 来年度 | 適時 | [redacted] | クラス会議録・<br>全体会議録 | 月に一度リーダーと管理職で集まり、現場や職員の状況を把握している。 | 定期的に行うことができた。 | リーダー会議は定期的に行うことができたが、個々での面談の実施を行うことができなかった。 | リーダーとのスキルアップ面談も現場職員同様に行っていく。 |
| | | | ①：小グループ（4つの基本三角関係） | 日々適時 | | [redacted] | | スキルアップシートを基に保育に関する悩み事やアドバイスなどを話し合う機会を設けた。 | 定期的に行うことができた。 | スキルアップシートを基に相談やアドバイスを行い、一緒に考えていく時間を持つことができた。 | 来年度も引き続き話し合う時間を設け、安心して保育が出来る体制をつくっていく。 |
| | | | ②：行事グループ（10個の三角関係） | 適宜 | | [redacted] | | 最初に各グループが集まり、方針などを話合った。定期的に集まり活動ができているグループもあるが、やってみながら方向を考えているグループもある。引き続き継続する。 | リーダーを中心に行事の予定を立てられていた。 | 取りかかりや時間に余裕がなかったとの感想もあった。 | リーダを中心に係全体が行事の内容をわかっていくことで、次年度以降につなげていけるようにする。 |
| | | | ③：メンターメンティー（3対3の関係、様子、状況の把握） | 日々適時 | | [redacted] | | １ヶ月に１回ペア(１年目：２～３年目)で集まる。簡単な報告を毎回残してもらい、内容を把握。 | 毎月行う。 | 新人の思いを出す場にはなったが、管理が考えていた『業務内容の伝達』はできていない。 | 伝達して欲しいことをリストにまとめ、進捗状況を確認する。 |
| | | | ノンコンタクトタイム本格始動（各人が時間的ゆとりを持つ） | 日々<br>昼ミーティング | 随時 | [redacted] | 昼ミーティング・<br>全体会議録 | ノンコンタイムに毎日４時間のパートさんを確保して始動。 | 昼の全体会・行事前日準備など以外の日でほぼ完全実施。 | その時間を何に充てるかの考え方に個人差があり、共通認識をする機会を設けた。 | 新入職職員も含め、有効な使い方を再確認して実施。 |
| | | | ①：連携と休憩（状況を伝えあい、声を掛け合い保育を行う） | | | [redacted] | | 体制表に縛かくパートさんの配置を記載せず都度インカムで連絡を取り合うようにした。 | 夕方は、現場が子どもの数を確認し合って連携している。 | 欠席児がいても、全員登園時の人数配置にとらわれ「足りない」と思いこむ傾向がある。 | 体制表作成担当者以外でも配置を考えられるようしていく。 |
| | | | ②：準備と振り返り（見通し力と分析力のボトムアップ） | | | [redacted] | | 担任が活動の流れなどを事前に考えることができるよう、事前にクラス会議で活動の流れを聞く。 | 活動の振り返りばかりでなく、活動計画を中心に話をした。 | 事前に話す中で年齢の育ちや子どもの姿に沿っていない活動が多々あり、計画の時点での話に時間がかかった。 | 最低限行ってほしい活動をまとめ、それを基に活動を計画していく。 |
| | | | ③：研修の充実（同じ研修を経験。課題の認識共有と協力解決） | | | [redacted] | | 心だりで研修に出られるよう体制を調整した。 | zoom開催も多く、複数で参加しやすい環境ではあった。 | 法人の理念研修、年齢別会議など、姉妹園職員との意見交換もできた。 | 外部研修の情報を早めに収集して研修を計画。<br>全体会での研修報告。 |
| | | | ④：主任・園長が現場に近づく（タイムリーな共有と協同で方向性の提示） | | | [redacted] | | 主任が乳児・幼児にわかれて保育サポートに入る。サポートメインなため、後期は見本を見せていく。 | 幼児のサポート中心に入る。12月末ごろまで主任が活動を進め、職員は観察者になってもらった。 | その時に心掛けた活動の流れや子どもへの声かけ等を振り返りながら話したが、実際に実践となって繋がることは少なかったように思う。 | "見本をみせる"でなく、一緒に現場に入り、リアルタイムで○×を伝えていく。 |
| | | 保護者対応（保護者支援） | 保育説明会：重点事項、セルフモニタリング、事業の報告と説明 | 前年度末 | 1回 | [redacted] | 議事録・記録 | 保育説明会、予定通り開催 | 設置しているご意見箱の活用もなされている。 | 園からの発信、普段の様子を肯定的に捉え、支持いただいていること確認できた。 | 実施、検討、報告のサイクルは機能していると捉えている。引き続き取り組んでいく。 |
| | | | クラス懇談会：4月、クラス運営の見通し。1月、様子報告と進級について | 4・1月 | 2回 | [redacted] | | 予定通り4月と5月開催。対面も再開したが、ZOOM参加が多い。 | 予定通り1月に開催。4月より対面参加が増えた。 | 4月は土曜日午前、1月は平日夕方の違いで対面とZOOM、参加率が違うよう。 | 今後もハイブリット開催で行う。 |
| | | | 保護者参観と祖父母参観：現状、参観のみ。（新たな形模索中） | 6・10月 | 年中受付 | | | 両方とも予定通り実施 | 祖父母の方が喜んでいたとの意見が多かった。 | 実際の姿を見ることで、説明もイメージしやすそうであった。 | 流れ解散としているが、以前のご意見タイム復活を検討中。 |
| | | | 個人懇談会：基本年中受付。個別対応。 | 11月 | 年中受付 | [redacted] | | 計画通り行う予定 | 計画通り実施 | 個別配慮児は個別懇談の期間でない時も保護者の要望があれば実施。案件によっては園長も同席。 | これまでと同様に継続実施。 |
| | | | 園だより（録画とライブの配信、紙の活用） | 随時 | 随時 | [redacted] | | PDFをHPで配信。紙の使用を減らす。 | HPで配信、園一レンラクで通知した。 | 紙の使用が減った。 | 動画配信の活用を検討。 |
| | | | 保護者会（第三者委員同席のもと保育活動振り返り）オンライン化 | 7・11・3月 | 年3回 | [redacted] | | 7月に予定通り開催 | 予定通り7・11・3月と年３回行う。 | 懇談会に比べると参加率は低く、対面参加者はいなかったがzoomを通して園理念等を伝えることができた。 | 懇談会が１月にあるので、年２回（7・11月）を予定する。 |
| | | | 親コンタクトタイム、保護者と報告でない会話の機会増を目指す | 各クラス週１回から | 随時 | [redacted] | 体制表 | 親コンという時間を設定しているが、それ以外の時間の送迎の保護者とも会話をすることを共有。 | 親コン以外の時間でも、保護者と話そうと意識できた。 | 例年のことだが、保護者からは話す機会が少ないという意見が出る。 | 引き続き、保護者との会話の重要性を共通課題としていく。 |
| | 地域貢献 | 小学校・養成校など学校との連携 | ①実習生受入れ、ボランティア受入れ、②インターンシップの受け入れ | 随時 | ①年5回<br>②随時 | [redacted] | 記録 | ①コロナ禍、実習の日程変更があり調整している。②中学生の職業体験が再開されてきたので受け入れ。 | ①実習生を受け入れた<br>②中学生を1校受け入れた | ②中学生の体験時間、6時間は有意義だった。インターンシップは、期間が短いと感じるので養成校との対話が必要と感じる | 受け入れ前の事前打ち合わせを丁寧に行う。 |
| | | 地域の子育て支援 | （園主催）<br>行事への参加（もみの木マルシェ、移動動物園、移動水族館など） | 各日程事 | 各設定事 | [redacted] | 記録 | 移動動物園は地域親子５組ほど参加。水族館は参加なし。HPや掲示板、インスタなどで周知した。 | もみの木マルシェでは参加者の知り合いの方々が観覧しに来園した。また、折り紙やゲームブースなどの出店も協力していただいた。 | 行事を通して地域の方々との関わりを楽しむことができた。 | 来年度も引き続き、HPやインスタを活用して周知していく。 |
| | | | 施設開放：①園庭開放、②乳児サーキット開放 | ①月～金曜日、<br>②第四木曜日 | ①複数回<br>②年12回 | [redacted] | 記録 | 園庭開放、10回程利用あり。サーキット開放は昨年度よりも利用回数が減っているため再度周知する。 | 園庭開放・サーキット開放ともに前期と変わりなし。 | 一時保育で利用している方や来年度入園するり予定の方が利用している傾向があった。 | サーキット開放のお知らせ（チラシ）をHPやインスタ、地域の施設などで周知していく。 |
| | | | 紙芝居など依頼イベントへの参加 | 時期調整中 | 随時 | | 記録 | お話会、毎月１回行う。 | １月に獅子舞として来園 | 予定通り行うことができた。 | 引き続き、計画を立て実施する。 |
| | | | なかよしランチ：食事に関する情報提供 | | 状況次第 | | 記録 | コロナのため、実施なし。 | コロナのため、実施なし | コロナみて復活していきたい。 | 状況をみて復活していきたい。 |
| | | | （他施設との連携）<br>奥あざみ野・奥たまﾌﾟﾗｰｻﾞｱｿｼｴｲｼｮﾝ（商店会組合）との連携（教室開催、イベントなど） | 土曜日 | 定期開催 | [redacted] | 記録 | アート教室を定期的に行えている。イベントが増え、連携し行っている。その際、様々な形で園名紹介してもらっている。 | 保護者や地域に向けてお善講座を行った。参加人数はとても少なかったが、様々な講座を展開したい。 | 子どもと一緒に参加できるか、保育があるか、参加するためのハードル対策は重要であるとよく理解できた。 | 親子で参加できるおもちゃ講座をキッズいわきパフさんに依頼予定。 |
| | | | ケアプラザと赤ちゃん広場連携（保育・食事・看護） | ケアプラザ | 年4回程度 | [redacted] | | 予定通り行っている。 | 予定通り行った。ケアプラザを定期的に利用している保護者の方もいるので以前よりも○○なところが変わっていますね、やこんな風に成長しているので心配なんだ、などの会話をすることができたように思う。 | 最初はよくわからず、何をするのか様子を見ていたが慣れていくうちに少しずつ話せていけるようになっていった。ケアプラザを長く利用している人も多く、その中でのグループがあるように思った。なのでそのようなところにはなかなか話しかけるのは難しそうだったため無理には話しかけず、様子をうかがっていた。普段保育に入っている職員(リーダー)と行くことも良かったように思える。 | 前年の職員からどんなことをしていたのか話を聞けたりすると、雰囲気などの様子が想像しやすいように思った。いろんな職員に行ってもらうとお互いにいい刺激になると思った。 |
| | | ボランティアプロジェクト<br>（対外、対内、両方とも含む） | 園サポート（ハッピークラブ、近隣住民との連携、サンタクロースの依頼） | 園周り・12月 | 年3回程度 | [redacted] | 記録 | 前期は交流なし。 | サンタクロースとして来園。３歳児の活動で商店街（花屋）で買い物をする | 昨年度よりも地域の方との交流を多く持つことができた。 | 引き続き、連携して交流を続けていく。 |
| | 委員会活動の強化 | 食育 | 体験、経験（調理体験、5歳児お泊り保育など） | 随時 | 随時 | [redacted] | 記録など | 毎月担任と打ち合わせ。子ども達が興味のあることを中心に食育を実施。 | 引き続き、定期的に食育を実施することが出来た。 | 実施はできたが、計画を立てるのがギリギリだったり、うまく内容を共有できていないことがあった。 | 計画は早めに、どういうことをやるのか保育・給食共通の書式で計画・記録を作成する。また、給食会議内で今までより話し合う機会を設ける。 |
| | | | マナー、作法（スプーン・箸、喫食状況 など） | 随時 | 随時 | [redacted] | 記録など | トングのような形状の箸等を、家庭で使っているようで、正しい持ち方は分かってはいるが、癖がついてしまう子が多く、あまり進められなかった。後期は、３歳児にも早めに練習していきたい。 | 箸の持ち方に癖のついてしまっている子もまだ数名いるが、ほぼ正しい箸の持ち方ができていると思う。また、三歳児のお箸の持ち方の練習も除々に進めている。継続していく。 | 年度初めに、箸の練習を行わない時期があったので、年度を通して、行う必要があった。 | 年度を通して、箸の練習を行い、また、喫食中も箸のマナーや、食事のマナーを見守りながら、時には、声をかけていく。 |
| | | | 栽培体験（園庭小畑、畑） | 随時 | 随時 | [redacted] | 記録など | 年度はじめ、苗植えの時期をアナウンス。畑は、近隣の方のサポートを受けている。 | 畑の芋ほり実施<br>2階テラスの栽培物の有効活用をした。 | 水やり、観察など子どもが経験した。 | クラス会議で食育と合わせて話し合って進める。 |
| | | 保育環境 | 掃除・美化活動（パート職員の用務分担内容の明確化） | 毎月全体会議 | 毎月 | [redacted] | 記録 | 用務でやりきれないエアコンフィルターの清掃などを保育の職員で分担できるよう調整。 | 土曜日・夕方でエアコンフィルターを定期的に清掃。 | 業務リストに組み込むのが有効だった。 | 用務と担任との分担を検討して年度を始める。 |
| | | | 職員エコ意識（SDGｓの理解と認識の協働知づくり） | 毎月全体会議 | 毎月 | [redacted] | 全体会議録 | 具体的な取り組みはできていない。 | ベルマーク・テトラパック回収を開始。 | 看護師・事務が中心で進めた。 | 次年度の担当者にも引き継ぎ。 |
| | | | （外環境）屋外あそびの充実（①自然物あそび、②色水や制作あそび、③遊具あそび）　（内環境）素材や画材の整理と管理と運用 | 随時 | 随時 | [redacted] | 全体会議録 | 園庭の植栽が育ってきたことで虫探し、色水遊びが手軽にできる環境に整備されてきた。園内の環境整備は現在取り組んでいるので第3段階のステップで取り組む予定。 | 園内環境を重点的に行っていた。内環境の保育室を第1ステップとして実施。ロケーション作成が完了。 | 外環境の不具合がある物を修理してもらった。経年劣化によるものだったので、当面は問題なく使える。角材等の使い方を検討していく。 | 次年度の担当者に引継ぎ。一気呵成にはできないことが分かったが、一斉に環境整備する時間を取る等やり方を検討していく。 |
| | | 危機管理 | ①感染対策（ｺﾛﾅやその他感染症を踏まえての園運営と管理）、②避難訓練、安全点検、③防犯訓練、救急救命、 | 毎月 | ①月1回<br>②年1回 | [redacted] | 全体会議録 | ①コロナ対策をしながら行事を開催②毎月実行③計画中 | ①コロナ対策をしながら行事を開催<br>②毎月実行<br>③12月に不審者訓練実施、３月にAED研修予定 | ①都度、時期や状況を見ながら話し合いをし開催できた。②③予定通り行うことができた。 | ①少しずつ緩和を目指しながらも対策を考えていく②③引き続き、計画を立てる。 |
| | | | 職員健康診断（医療法人社団晃進会たま日吉台病院）検査内容充実 | 月2～3名 | 1回 | [redacted] | 記録 | 6月に実行 | 6月に実施 | 新しい実施機関だったが、スムーズに終わった。 | 次年度の担当者に交渉等引き継ぎ。 |

| 分類 | 大項目 | 重点項目（全園） | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過（半年後） | 結果（2月記入） | ふりかえり（2月記入） | 次年度の取り組み（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 子どもの健康診断（①5歳児歯磨指導、②幼児尿検査、③4歳視聴覚検査） | 5月・11月（①8月、②5月、③7月） | 2回（①②③1回ずつ） | [redacted] | 記録 | ①②③計画通り実施 | 計画通り実施 | 内科検診は、園医が園内を回るなどの提案を受け、実施方法の選択肢が増えた。 | 次年度の担当者に引き継ぎ。 |
| （保育＆教育の質の向上）アカデミー | LLを柱とした保育実践と研鑽 | ラボ（実践＝学び）（研究＝ふりかえり）スケール（評価） | サーキット①乳児ｻｰｷｯﾄ：実践の積み重ね。②幼児ｻｰｷｯﾄ：担任とコスモscとと連携。 | ①基本毎日 ②週1回 | ①基本毎日 ②週1回 | [redacted] | クラス会議録・全体会議録 | 乳児サーキットは、乳児会議。幼児サーキットは、各クラス月1回。内容や方向を確認している。 | 乳児クラスはクラス会議にて確認や支持ができたが、幼児はコスモscに任せとなった。 | 個別面談にてサーキットに関するご意見をいただいた時、その職員が答えられなかったとのこと。問題であると捉えている。 | 長く続いている中で、「基本過ぎて分かっている」と説明を省いてしまっていたかもしれないので、次年度見直す。 |
| | | | リズムあそび&ふれあいあそび（①0～1歳わらべ歌、②2～5歳リズム遊び、③5歳太鼓、④ふれあい遊びから運動会、集団へ） | ①日々、②週1～2回、③週1回、④月2回 | ①日々、②週1～2回、③週1回、④月2回 | [redacted] | ①②クラス会議録・③夏祭り、マルシェ、発表会 | 「月別活動記録表」に、月毎にクラス担任に作成・提出してもらう。それをもとに、係会議で、月毎のクラスの活動状況を把握し、各項目の傾向を探る。全体会で報告。 | 「月別活動記録表」をもとに、引き続き、毎月の活動の傾向の把握や課題を見出す作業を行った。年間を通してみえてきた傾向や、課題がみえてきたので、全大会で職員に報告し、共有。 | 「月別活動記録」を分析することで、各クラスごとの活動内容を把握し、年齢間で内容を改善したほうがよいことがみえたり、大きな行事（運動会や生活発表会）に関わる活動がどのようなカテゴリーのもとにあるのか、など、新たに見えてきたことがあり、有意義だったと思う。 | 次年度、各学年”やるべき”ふれあい遊びの内容をピックアップし、書籍（あそびっくり箱等）や映像（e園映等）を明示し、確実に取り組む仕組みを整え、実行する。 |
| | | | もみのキッズ（子どもの姿、保育者のかかわり、素敵な姿） | 園内掲示、全体会議にて発表 | 一人年4回 | [redacted] | 各作品 | 全体会で発表する順を決め、提出された物を読み合わせて、目指す子ども像などを話し合った。 | 個人に焦点を当てた書き方だけでなく、関係性を重視した表現になるよう、会議で共有。 | 内容が、１０の姿などとどう連動するか？等共有できた。 | 引き続き実施。 |
| | | ライブラリー（データベース・ファイリング） | 自分たちの良いとこ探し（サーキット・リズムあそび&ふれあいあそび・もみのキッズ）見える化と自慢で自信耕し | 随時 | 随時 | [redacted] | 参考書 | 振り返りを行う中で客観的にみたいいところを発表することで実施者の自信に繋がっている。 | 実施者は適度な緊張感を持ちながら事前の計画・準備をし、振り返りの中で自信に繋がることができた。 | いいところを探し、発表していたが同時に課題も見えてくる。課題部分の抑え方が課題である。 | いいところと課題を７：３程の割合で伝えていく。 |
| アカデミー＆マネージメント | 研修の充実 | 内部研修 | 各会議やノンコンタクトタイムの中で立案・振り返り | 随時 | 随時 | [redacted] | 記録 | 活動の内容、進め方を会議で必ず確認し適合によってはアドバイスをしたり、保育に入り一緒に進めていく。 | 会議の中では活動計画を中心に話し合い、流れや準備物などの確認を職員と一緒に行う。 | 会議の中では話せたがノンコンタクトタイムは個々の事務時間が中心になっていた。 | 会議では引き続き、計画の段階から話を行い、ノンコンタクトタイムでは作業の見える化できる仕組みを考えていく。 |
| | | | 自分、自分達の良いとこ探し（スキルアップシート、もみのキッズ、日々の実践を活用） | 年２回 | 前期後期 | [redacted] | 記録 | 計画通り実施 | 計画通り実施 | スキルアップシートを基に面談する。面談内容をリーダー会議の中で共有し、職員のいいところの共通認識を図ることができた。 | スキルアップシート、もみのキッズの振り返り方の再考する。 |
| | | | M研（正規・パート研修） | 適時 | 適時 | [redacted] | 議事録・記録 | 後期に実施予定 | 12月21.23日の２回に分けて実施 | 「不適切保育について」事前アンケートを行い各々の「困りごとについて」マニュアルを用いて伝え、全体共有する。 | 引き続き実施。 |
| | | | マニュアルの整備（全職員が同じ認識へ立ち返るバイブル） | 適時 | 適時 | [redacted] | 記録 | 全体会にマニュアルを携行して参加。年度末に見直しをして、改訂版を全職員に配布。 | 全体会で読み合わせ | 読み合わせる中で、必要な部分を改定していった。 | 全体会やクラス会議で内容の確認をしていく。 |
| | | | 写真＆動画の撮影＆編集のセンス磨きとスキルアップ | 適時 | 適時 | [redacted] | もみのキッズ | 写真の撮り方は会議などで伝えているが動画や編集のスキルアップはできていない。 | 動画撮影＆編集の機会はなかった。 | 動画を発信する機会自体がなかった。 | 動画に関しては難しいが、写真に関しては引き続き会議で伝えていく。 |
| | | 外部研修 | ① 行政研修、 ② 絵画・造形…サポート依頼（5歳児デッサン、オンライン研修にて絵画指導：岡田先生、環境：岩城さん） | ①年間 ②月1回 | ①50回程度 ②12回程度 | [redacted] | 研修報告 | ①計画通り実施。②8月におかだ先生の絵画研修実施(対面)。いわき先生研修(ZOOM) | ①実施 ②実施 | ①会議の中で報告してもらい、全体に共有できた。 ②実技で行うことが良い刺激になった。 | ①引き続き実施 ②対面での研修予定（いわき先生） |
| | | 法人内研修 | 公開保育、スケール、（ECQE） | 5月・10月・11月 | 年3回 | [redacted] | 評価記録 研修報告 | 姉妹園の保育環境や関わりをみて学び、写真掲示や会議内での研修報告で職員に共有した。 | 計画通り実施 | 他園を見ることで刺激を受け、クラスに取り入れようとする職員の姿もあった。 | 引き続き実施。 |
| | | | 藤森研・久保研・平林研（管理職の知の開拓と実践の言語化） | 年4回ずつ | 年12回 | [redacted] | 議事録・記録 | 藤森研修終了。多くの職員が参加し、乳児会議や全体会議で触れられる、話題となった。 | 計画通り実施 | 研修を通し、理念や自園に通ずるところや大事にしていきたいことなどを管理職で共有することができた。 | 引き続き実施。 |
| | | | 行事見学（アルテ作品展、ハットナラ、みやざきフェスタ） | 年3回 | 年3回 | [redacted] | 研修報告 | 未実施 | 12月アルテ作品展、ハットナラへ | 園長主任で出席。後日、雰囲気や良さを職員に伝える。 | 11月：もみの木マルシェ、せみなーれフェスタ。12月：アルテ作品展、ハットナラ |
| | 人財育成・人事評価 | ヘキサゴン （スキルアップ支援プログラム） | 自分自身を見つめる 自己チェックを目指す | 8月・2月 | 年2回 | [redacted] | 記録 | 各人が作成し、リーダーと管理が確認し、進行している。 | メンバーとリーダー職員と具体的な項目や悩みについて話を持つことができた。 | リーダー会議の際、管理職員とリーダー間でメンバー一人一人の様子を様々な角度から共有できた。 | リーダーが担当するメンバーを何とか3人までとし、リーダー4人う鼻段は整った。 |
| | | 職員面談 （自己評価・他者評価） | 個人面談（正規面談、パート面談） | 中期・後期 | 年2回 | [redacted] | スキルアップシート 個人研修計画表 | 運動会後に実施予定 | 計画通り実施 | 中期の面談内容を受けて後期に向けての保育姿勢が変わった職員もいた。 | 引き続き実施。 |
| | | メンター・メンティ | 新卒者ケア。分からないことを出し出し合う経験、分かったことを出し合える経験。 | 毎月 | 年12回 | [redacted] | 記録 | 時間が合わせにくくメンター・メンティーの時間が毎月は取れなかったが、勤務外や休憩中等に悩み事や保育の話を頻繁にしている。 | 前期と同様、行事前ということもあり、２人きりで話す時間が取れなかった。 | 勤務中に二人きりで話す時間を設けることはできなかったが、プライベートや休憩中などにコミュニケーションを取ることができた。 | 月に１回ではなく毎月何日にと日付を設定し、面談と同じように体制に組み込んでいたらお互いが意識して時間を作れたかもしれない。 |
| | 法人外部評価 | 第三者評価や施設関係者評価（学校評価）の活用 | セルフモニタリングの実施（全保護者対象の園評価） | 適時 | 適時 | [redacted] | 全体会議時に報告 | 年3回予定している保護者会、1回目を終える。次回、12月を予定。 | 11月ｾﾙﾌﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞｱﾝｹｰﾄ、12月2回目保護者会。不適切保育に関する関心が高かった。 | 概ね肯定的に捉えていただいているが、心配である面もあるよう。親コンの横み重ね大切であると改めて振り返る。 | 親コンは時間帯による偏りがどうしても起こるので、2か月毎に状態状況を確認する仕組みを整え、次年度実行する。 |
| | | | 法人外部者を招いた活動を模索する。 | 適時 | 適時 | [redacted] | 記録 | 昨年度の第三者評価を参考に、今年度の行政監査の準備。 | 監査は11月17日実施<br>自己評価は第三者委員にも確認依頼の予定 | 第三者委員に保護者会にも参加してもらった。 | 保護者会、行事日程を事前に伝え、連絡を取り合う。 |
| マネージメント | 財務 | 人件費率マネジメント | 業務分担と進捗の見える化（時間的ゆとり確保と残業0を目指す） | 随時 | 随時 | [redacted] | 月次収支計算書 | 朝の時間に乳児、幼児、各３０分準備の時間を設けた。 | お互い分担しながら、確認やｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを取る姿が随分と出てきた。 | ノンコンも機能し、時間のゆとりがあること、いつ誰が何をしているか見えることで、気にかけられることは確認できた。 | 次年度は細かな体制表から少し大雑把な体制表とし、連携を取り合う仕組みに変更する。引き続き時間のゆとり確保に注力する。 |
| | | | パート職員の適正な配置と雇用の保障 | | | | | 毎月、体制管理者と現場の状況を確認し、職員配置を考えた。 | ノンコンや親コンを安定いて運営できた。 | | |
| | | 積立金確保 | 実態に沿った計画と推移の確認（補助金収入の増への取り組み、支出減へ必要な経費と省ける経費の見極め） | 毎月 | 毎月 | [redacted] | 月次収支計算書 | 現時点では大きな問題はないが、物価上昇、最低賃金改定など注意すべき点がある。 | こども園化に伴い、収入増となったのは大きかった。 | 10%の積み立てを行うことが出来た。 | 再来年度が建替え10年となるので、引き続き十分な積み立てを意識して取り組む。 |
| | | 適切な予算立てと予算執行 | 毎月推移の確認を行う（各書類と会計ソフトを随時確認更新し、月単位で確認する）計画として、玄関アプローチ拡張、バギー置き場の見直し、2階テラス整備、見守りカメラ導入 | 毎月 | 毎月 | [redacted] | 月次収支計算書 | 玄関アプローチ拡張、終了。 | 玄関アプローチを拡張したことによって、外灯の範囲不足が分かったので、2階スポットライトと外階段外灯と一緒に工事した。 | バギー置き場、2階テラス、見守りカメラは、見直し行わなかった。 | 玄関前に水道設備を新設する。 |
| | 運営強化 | 人財定着化と個々の底上げ方法（マネジメントブック種の活用など） | 問いを常に意識し、会話を増やし、目的と理由を定め、達成に向けて取り組む。ゆとりと自己充実から他者へと向かう意識作り、次のリーダー育成。 | 適時 | 適時 | [redacted] | 議事録・記録 | 現場の課題を把握できるようにリーダー会議を月１で行い、そこで挙がったことをクラス会議等で議題に挙げるようにした。 | 月１でリーダー会議を実施 | まだまだ“園全体”という意識は低いのかもしれないが、昨年度よりリーダーの役割を明確にすることができた。 | 引き続き実施。 |
| | | 情報とテクノロジーを活用した運営 | ①1号獲得にむけて（連携園への説明と他施設へのアピール）<br>②様子や行事の動画やフォトレターの作成と配信 | 適時 | 適時 | [redacted] | ホームページ Instagram | 7月に連携園にパンフレット送付。説明会を7／30・9／10開催。 | 一時保育利用者の中で１号入園者がいた | 育児雑誌の特集で幼稚園情報のみとなる号があり、情報掲載したところ見ておられた方がいた。実際に入園もされた。 | 一時保育利用家庭に積極的に１号の案内をする。また２歳児前期クラスの懇談で園の特色等を改めて説明する。 |
| | | | | | | | | 8／29～9／2に1号希望者の親子体験を行い、園の様子を知ってもらった。 | 行事は全クラスに映像配信 | 行事は時間を区切ってや参加クラスを制限しての開催になったが、他クラスの様子も知ってもらうことができた。 | 引き続き動画も活用して園の状況を発信していく。 |
| | | 園の魅力を伝わらせるための広報・宣伝実践 | ③地域との連携（他の赤ちゃん広場やサークルとのつながり）<br>④ホームページとInstagramの活用（他施設との連携、お互いのページからもアクセスできるように） | | | | | 近隣の地区センターに案内を掲示してもらった。 | 近隣の方がもみの木マルシェでチアや合唱を披露 | 近くのケアプラザで行われている折り紙の団体とお買い物こっこを実施。 | 引き続き行うことができるのか計画中。 |
| | | | | | | | | １号募集要項、説明会案内をHPとインスタにUP。 | HPは２週に１回、Instagramは月に最低３回UP。 | Instagramも定期的にupすることができた。 | 引き続き実施し、フォロワーを増やして繋がりも深くする。 |
| | | 採用活動の強化 | 関東園長会、地域園長会と情報共有、ハローワークや就職フェアへ | 適時 | 適時 | [redacted] | 議事録 | web就職説明会より入職者1名確保。 | HPを見て、採用希望者の連絡があった。 | HPを見て、実習や採用の問い合わせが増えてきた。作り込み過ぎず、かと言って手を抜かず、リアル感があるのがウケているよう。 | 引き続き情報共有を図る。 |
| | | | 養成校との連携（職員卒業校とのパイプづくり、実習生の引き入れ） | | | | | 実習受入は多い。採用勧誘を行っている。 | 実習から採用があった。 | | 絶えず実習生は受け入れられているので、続けたい。 |
| | | 制度の活用と改善（ロビー活動など） | 公私施設、地域情報の収集 | 適時 | 適時 | [redacted] | 議事録 | 定期的に区園長会、地域連絡会に参加。 | 対面の連絡会議が増えてきた。 | 連絡会が再開し始めたので、参加する。 | 区や他団体が運営するweb案内等にも情報を掲載してもらう機会が増えてきたので、活用していく。 |
| | | | アンテナ塔として情報発信、ランドマークとして場所提供 | | | | | 現時点では、充分機能していない。 | 掲示板への貼り紙が、一定の効果があった。 | 貼り紙の効果もあるので、活用する。 | |

# 2022年度　みやざき保育園　事業報告

| 分類 | 大項目 | 重点項目（全園） | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過（半年後） | 結果（2月記入） | ふりかえり（2月記入） | 次年度の取り組み（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アカデミー（保育＆教育の質の向上） | 理念に基づいた教育・保育 | 教育・保育方針<br>(同年齢の活動・異年齢の活動Wスタンダード) | 理念研修（糧・コンセプトブック読み合わせ） | 乳幼児会議 | 年１２回 | [redacted] | 次第・議事録 | 乳幼児会議で毎月１回読み合わせを続けている。 | 乳幼児会議で実施した。引っ越し等でできない月もあった。 | 読み合わせを行うことで理念の共有はできている。 | 次年度も続け保育につながるようにしていく。 |
| | | | 乳児会議・幼児会議 | 毎週 | 週１回 | [redacted] | 会議録 | 基本的に毎週行い、新園舎引っ越し後の保育の話など詰めていっている。 | 毎週行い、新園舎で変わった部分の行事や保育の話を詰めた。 | 新園舎になることでの変更が多い中で、理念のすり合わせや、保育を考えていった。 | 次年度も続け保育を深めていく。 |
| | | | 月案会議 | 毎月 | 年１２回 | [redacted] | 月案・振り返り | 年カリ、毎月振り返りから来月の月案を進めている。 | 毎月実施、先月の振り返りから当月の月案作成をしている。 | 新園舎になることでの変更が多い中で、理念を見据えながら月案を考えていった。 | 次年度も続け保育を深めていく。 |
| | | 保育者の関係性向上（同僚性向上） | 全体会議・乳児会議・幼児会議・プレゼン発表 | 毎月・毎週 | ①月１回<br>②週１回 | [redacted] | 次第・議事録 | 毎月、毎週行うことで関係性の向上につながっている。 | 毎月、毎週行うことで仮園舎で分かれていても、関係性の向上につながった。 | 仮園舎で分かれ、乳児、幼児の保育が見えない中で保育の発表を行うことで関係性の向上につながった。 | 各年齢の保育の発表で全体の保育がよくわかり、関係性の向上にもつながる為、次年度のもつなげていく。 |
| | | 保護者対応（保護者支援） | 保育説明会・懇談会・教育、保育のプレゼン | ５月・１月 | ２回 | [redacted] | 各会の議事録<br>プレゼン資料 | ZOOMで行ったことで両親で参加し、保育の話やプレゼンを聞くことができたことを喜んでいた. | ５月はZOOMで保育説明会とクラス懇談会を同日に行う。１月は新園舎で対面で同日に開催した。 | ５月のZoomの両親共に聞くことができる良さもあり、１月は来園し実際見ていただく良さもあった。 | 次年度は保育説明会は４月、クラス懇談会は５月、２月に実施予定。 |
| | | | 保育参観・保育参加・個人面談 | １０月より<br>随時 | 基本<br>年１回ずつ | [redacted] | 保護者感想用紙<br>面談記録 | 新園舎になり、１１月より実施する。 | 11月より、幼児の保育参加、その後の個人面談、乳児の保育参観を実施。乳児は別日に個人面談を実施した。 | 短期間の開催だったが、個人面談する場所も多くあり、保育もゆとりある部屋でできているため実施できた。 | 次年度は、６月から開催。乳児クラスも保育参観後の個人面談の形に変更する。 |
| | | | 新園舎建設、新園舎生活の説明 | ５月・９月 | 説明会<br>随時 | [redacted] | 説明会議事録 | ５月は保育説明会で説明した。９月は書面のみで行った。 | ９月は書面のみだったが、新園舎で中に入ることができる為、その都度伝える形で説明した。 | ３月の保護者アンケートでは新園舎になりよかったことを書いている保護者が多かった。 | 新園舎関係の説明会は終了。 |
| | 地域貢献 | 小学校・養成校など学校との連携 | 実習生受け入れ・育成 | 随時 | 随時 | [redacted] | 実習生記録 | 事前にオリエンテーションを丁寧に行い、９月に３名実施した。 | 予定通り実施。２月にも実施予定。 | 大学から決められて以外に、自分で探してみやざきを実習先に希望する学生が増えた。 | 可能な限り受け入れをしていく。 |
| | | | 小学校町探検・地域中学の家庭科実習・地域中学の職場体験 | 随時 | 随時 | [redacted] | 記録 | 小学校の町探検が２年ぶりに行われ８名の２年生が来園。 | 小学校の町探検が復活。今までは卒園生が多かったが、今年度は他の園の卒園生が多かった。 | 新園舎になり、見守りの保護者も含めゆったり話すことができた。 | 可能な限り受け入れをしていく。 |
| | | | 幼保小連携会議（ZOOM会議、アンケート方式）年長担当者会議 | 随時 | ４回 | [redacted] | 記録 | ZOOMで行われている。 | Zoomで実施。年長担当者会議では子どもも含め参加型の交流もZoomで行っていた。 | Zoomでの子ども参加型は上手くいかない場面もあった。 | 来年度は対面形式で行う。 |
| | | | 年長児の小学校体験・老人福祉センターとの交流 | ９月・１月 | 年１回 | [redacted] | 記録 | 老人福祉センターだけでなく地域の老人ホームとの交流も始まった。 | 小学校訪問はできなかったが、ＤＶＤが送られてきたので、年長児はそれを見て小学校体験をした。 | 小学校体験はできなかったが、映像を見たことで小学校に向けての気持ちは高まった。 | 次年度の予定は未定だが、小学校、老人福祉センター、施設との交流を続けていく。 |
| | | ボランティアプロジェクト<br>（対外、対内、両方とも含む） | 新園舎、園庭ボランティア | 随時 | 随時 | [redacted] | 計画・記録 | 園庭が完成した時点で実施予定。 | 園庭の完成が３月だったため、実施していない。 | 園庭の完成が３月だったため、実施していない。 | 園庭ボランティアや夏祭りボランティアを募る予定。 |
| | | 地域の子育て支援 | 乳児お話会 | １１月 | 年１回 | [redacted] | 計画・記録 | １１月実施予定。新園舎が完成したのでコロナの様子を見ながら乳児お話会も復活する予定。 | 乳児のお話会は、復活したが、地域の子供達を招いてのお話会はできなかった。 | 新園舎で乳児お話会を復活させるだけで精いっぱいだった。 | 次年度は６月から園庭開放の復活と共に、地域の子供達にもお話会を行っていく。 |
| | | | 移動動物園 | １０月 | 年１回 | [redacted] | 計画・記録 | 連携園の子ども達や地域の子供達も参加した。 | 乳児の移動動物園に連携園や地域の子供達も参加した。 | 幼児クラスは別日にしたため、ゆったりとした移動動物園が実施できた。 | 来年度も乳児、幼児別日に１回ずつ行い、乳児クラスの実施日に地域や連携園の子供達に参加してもらう。 |
| | | | 音楽コンサート | １２月 | 年１回 | [redacted] | 計画・記録 | 日本フィルが復活。クリスマスコンサート１２月実施予定。 | 日本フィルが復活。クリスマスコンサート１２月実施、ホールが広すぎて乳児が落ち着かない部分もあった。 | 広いホールでのコンサートの開催の行い方を考えていく。 | 次年度も実施。開催方法を考える。 |
| | | | 宮崎子ども支援出前講座・赤ちゃん広場（遊びの講座） | 子ども文化センター | 随時 | [redacted] | 記録 | 今年度は行う予定だったがコロナで実施なし。 | 今年度はコロナで実施なし。 | 今年度はコロナで実施なし。 | 次年度は開催予定。 |
| | 委員会活動の強化 | 食育 | 栽培、収穫、調理 | 随時 | 随時 | [redacted] | 食育記録 | 幼児クラスは栽培や芋ほり、保育のつながりでのクッキングを計画を立て行っている。 | 野菜の栽培や芋ほり後のクッキングが復活。全クラスで行う豚汁クッキングも行った。 | 幼児のクッキング以外にも、果物を見て触って匂いを嗅いで食べてみる食育も乳児クラスで行った。 | コロナが終わり、食育も各クラス年間計画を立て行っていく。 |
| | | | 各クラスに出前食材の紹介（その日の給食の１品の説明や間の前で調理） | 随時 | 随時 | [redacted] | 食育記録 | 乳児クラスは栽培や芋ほり後のクッキングが復活。全クラスで行う豚汁クッキングも行った。 | 給食の食材を子供たちの目の前でゆでたり、焼いたりして素材を味わった。 | 前半はコロナの影響で、後半は新園舎で体制を組むのが大変で回数は少なかった。 | 次年度も実施予定。 |
| | | | 食育献立（郷土料理・野菜の日・カミカミ献立・鉄人献立・骨太献立・レバーの日・焼きたてパンの日） | 毎月 | １２回×６ | [redacted] | 食育アルバム | 予定通り実施している。 | 予定通り実施。 | 予定通り実施。手作りパンや楽しい給食をインスタにもあげ、その影響で栄養士の募集に応募が多かった。 | 次年度も続けていく。 |
| | | 保育環境 | 幼児 制作・ままごとコーナー | 通年 | 随時 | [redacted] | 全体会議録 | 新園舎になりコーナー環境を整え中。 | 新園舎になりコーナーの配置も何度か変更。コーナー会議でも話し合いを続けている。 | コーナーの形、内容ともに話し合うことが多く、会議で話し合いが続いている。 | 多目的コーナーの配置や、使い方を再度話し合って決めていく。 |
| | | | 幼児 絵本・ゲーム・ラキューコーナー | 通年 | 随時 | [redacted] | 全体会議録 | 新園舎になりすべてのラベル付けから新たに行っている。 | 新園舎になりコーナーの配置も何度か変更。コーナー会議でも話し合いを続けている。 | 絵本の貸し出しは開始。絵本のラベル張りは終了したが、絵本の選定は続いている。 | コーナーの配置も含め、各コーナーの目的など話し合いを進めていく。 |
| | | | 幼児 サーキット・園庭環境 | 通年 | 随時 | [redacted] | 全体会議録 | 室内サーキットの用具を購入。サーキットの写真、片付けの写真を作成。 | 園庭は３月完成の為、実施なし。幼児サーキットは会長に来ていただき大幅な改善。 | 広いホールを使ってのサーキットで子ども達が飽きることなく楽しんでいる。振り返りも行ってきた。 | 振り返りの方法を含め、サーキットを学ぶ形を作っていく。 |
| | | | 乳児 ままごとコーナー | 通年 | 随時 | [redacted] | 全体会議録 | 新園舎になり各クラスのままごとコーナーを再設定した。 | 新園舎になり各クラスのままごとコーナーを再設定を行い、会議で話し合いを続けている。 | 新園舎になり各クラスのままごとコーナーを再設定を行い、遊びを考えている。 | 次年度１歳児クラスが１０名増えるため、コーナーのつくり方を考えていく。 |
| | | | 乳児 絵本・机上 | 通年 | 随時 | [redacted] | 全体会議録 | 乳児貸し出し用、各クラス用、職員用でのラベル付けを行っている。 | 乳児幼児の貸し出し絵本コーナーが開始。 | 乳児絵本の各クラス、職員用、貸し出し用のラベルも貼り貸し出しも開始、保護者から好評。 | 絵本、机上共に選定から、考えていく。 |
| | | | 乳児 サーキット・園庭環境担当 | 通年 | 随時 | [redacted] | 全体会議録 | 新園舎のサーキット用具、環境を整え、時間割も設定し、行っている。 | 乳児サーキットの形の話し合いを続けている。 | 新園舎のサーキット用具、環境を整え、時間割も設定し、行っている。 | 乳児、幼児の園庭環境に取り組んでいく。 |
| | | | 乳児 手袋人形・パネルシアター担当 | 通年 | 随時 | [redacted] | 全体会議録 | 新園舎の保管場所、職員が扱いやすい環境を整えている。 | 新園舎の保管場所、職員が扱いやすい環境を整えて、使い方も共有し使用している。 | 環境を整えることで、どのクラスもいつでも使える環境になった。 | 自分たちが取り扱うことができる研修や、取説を作成していく。 |
| | | | 植栽担当 | 通年 | 随時 | [redacted] | 全体会議録 | 仮園舎で実施。新園舎の園庭が完成したところで開始。 | 仮園舎で実施。園庭の歓声が３月だったため、新園舎では、３歳のみテラスで大根を育てる。 | 仮園舎では狭い園庭ながらも実施できたが、新園舎ではほぼ実施できなかった。 | 次年度は園庭に畑もでき、緑化地帯には植栽もされ、雑草も植える予定。 |
| | | 危機管理 | 子供の健康診断 | 毎月 | 毎月 | [redacted] | 健康診断記録表 | 予定通り実施している。 | 予定通り実施している。 | 予定通り実施。 | 次年度も続けていく。 |
| | | | 職員健康診断 | ５月 | 年１回 | [redacted] | 記録 | ５月に実施。 | ５月に実施。 | 仮園舎で狭い環境の中、時間を決めて実施した。 | 次年度も続けていく。 |
| | | | ①避難訓練の計画、実施　②安全点検の計画、実施③防犯訓練 | ①毎月<br>②毎日、毎月<br>③随時 | １２回<br>③年２回 | [redacted] | 避難訓練振り返り<br>安全点検記録 | 予定通り実施。新園舎の消防計画、避難訓練計画、安全点検簿を作成。 | 予定通り実施。新園舎の消防計画、避難訓練計画、安全点検簿を作成。 | 仮園舎、新園舎の消防計画、避難訓練計画、安全点検簿など作成が何度もあった。これからも見直し必要。 | 新園舎の避難計画、安全点検のマニュアル作成を続けていく。 |
| | | | 新園舎危機管理マニュアル作成 | １０，１１月 | １回 | [redacted] | 基本マニュアル | 新園舎の毎日の危機管理をチェックしマニュアル、安全点検簿の作成をしている。 | 新園舎の毎日の安全点検をチェック、安全点検簿の作成をしている。 | 安全点検簿は作成したが、危機管理のマニュアル作りまではできなかった。 | 今までの危機管理マニュアルを基に早急に新園舎の危機管理マニュアルを作成する。 |
| | | | 保健指導 | 随時 | 随時 | [redacted] | 保健指導計画・記録 | 保健指導計画にそって各クラス行っている。 | 保健指導計画にそって各クラスで行った。 | 新しい職員も増え、保健指導計画があることを知らない職員もいた。全員に浸透させていく必要がある。 | 保健指導計画のことを伝えることから始める。 |
| | | | ヒヤリハットの検証・分析 | 乳幼児会議 | 月１回 | [redacted] | ヒヤリハット記録 | 全体会議で周知、乳幼児会議で検証分析している。 | 全体会議で周知、乳幼児会議で検証分析している。 | 全体会議で周知、乳幼児会議で検証分析している。新園舎になり、分析することも多かった。 | 次年度も続けていく。 |
| | LLを柱とした保育実践と研鑽 | ラボ（実践＝学び）（研究＝ふりかえり）<br>スケール（評価） | 各クラスポートフォリオからの子どもの発達（乳児クラスプレゼン） | 全体会議２部 | ３回 | [redacted] | プレゼン資料 | ０・１歳まで実施。各年齢の発達、保育を知り合う良い機会となっている。 | ０～２歳まで実施。各年齢の発達、保育を知り合う良い機会となっている。 | 仮園舎で離れている中でも、乳児保育の重要性をプレゼンにより知ることができた。 | 次年度も続けていく。 |
| | | | コーナー遊び研究　①幼児　　②乳児 | ①毎週<br>②雨の日 | ①月２回<br>②月１回 | [redacted] | 記録 | 新園舎になり、コーナーの見直しも行われている。 | 新園舎になり、幼児会議で何度もコーナーの見直しも行われた。 | 新園舎になり、コーナーの形から入っていたため、各コーナーでの遊びの内容の深まりは難しかった。 | 次年度は、内容にもっと踏み込んでいきたい。 |
| | | | プロジェクト発表（幼児クラスプレゼン・ドキュメンテーション作成） | 全体会議２部 | ３回 | [redacted] | プレゼン資料 | ４歳児クラスが発表。４歳の年齢にあったプロジェクト発表が職員の学びにつながった。 | ３歳児クラスを除き、全クラスが実施。３月、３歳児クラス実施予定。 | 仮園舎で離れている中でも、各クラスの保育のプレゼンにより全体で繋がることができた位重要だった。 | 次年度も続けていく。 |
| | | ライブラリー（データベース・ファイリング） | 各クラスポートフォリオ | 随時 | 随時 | [redacted] | ポートフォリオ集 | 随時作成している。 | 随時作成、ホームページで保護者にも知らせている。乳児会議でポートフォリオ研修も行った。 | 新人も増え、最初は戸惑いもあったが、目的、書き方をすり合わせることで、質は着実に上がっている。 | 次年度も続けていく。 |
| | | | チャイルドケアウエブの改善 | 乳幼児会議 | 随時 | [redacted] | 改善結果 | 改善に向けて意見収集している。 | 連絡ノートをCCWで行うことが決定。どのような形で行うか、CCWと連絡を取り合っている。 | 週案、月案、個人月案などまだ取組みが持ち越された部分も多い。 | 次年度も続けていく。 |
| | | | コーナー記録集 | 毎週火曜日 | 週１回 | [redacted] | コーナー記録 | 毎週作成している。 | 作成の仕方も変え、毎週行っている。 | 毎週作成、ホームページで保護者にも伝えている。 | 職員のライブラリーとしてどのような形がいいのか考え、次年度も続けていく。 |

| 分類 | 大項目 | 重点項目（全園） | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過（半年後） | 結果（2月記入） | ふりかえり（2月記入） | 次年度の取り組み（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アカデミー＆マネージメント | 研修の充実 | 内部研修 | 個人ポートフォリオ発表・プロジェクトの共有 | 乳幼児会議 | ６回程度 | [redacted] | プレゼン資料 | 発表すること、聞くことで子どもの発達の良い学びとなっている。 | 全体会議で発表することで、各年齢の発達を学んだ。 | 各年齢の保育の発表で、保育のつながりも感じることができ、遊びの展開にもつながっている。 | 次年度も続けていく。 |
| | | | サーキット | 10,11月 | ２回 | [redacted] | 計画・記録 | 新園舎になり会長よりサーキット、ふれあい遊びの研修を全職員が受け良い学びとなった。 | 会長よりサーキット、ふれあい遊び研修を受け、幼児サーキットは全く違う形になった。 | サーキット研修後も幼児サーキットについて話し合い、形も変わっている。 | 次年度は乳児クラスの人数も増えるので形も考えていく。 |
| | | | 遊びの達人（ゲーム・積み木等） | 幼児会議 | 随時 | [redacted] | 幼児会議録 | 会議の中で行っている。 | 会議の中で行ってはいるが、ゲームコーナーの形、種類などの話の方が多かった。 | 遊びの達人というよりも、年齢ごとのふさわしいゲームの選定の話の方が多かった。 | 大人も楽しみながら、ルールを学び年齢ごとのゲーム選定を行っていく。 |
| | | | 手袋人形・パネルシアター・わらべ歌・手遊び | お話会<br>乳児会議 | 月１回 | [redacted] | お話会記録<br>乳児会議録記録 | 誕生会・お話会を行うことでの学び、乳児会議で教えてもらうことでの学びになっている | 誕生会・お話会を行うことでの学び、乳児会議で教えてもらうことでの学びになった。 | 乳児幼児会議の中での研修の回数は少なかった。 | 次年度は、研修と会議を分け進めていく。 |
| | | 外部研修 | キャリアアップ研修 | 随時 | 随時 | [redacted] | 修了証 | ZOOMの他会場で受ける研修も復活し受けたい研修を受講している。 | キャリアアップ研修だけではなく、コロナ禍でもZoomでいろいろな研修を受けることができた。 | キャリアアップ研修だけではなく、コロナ禍でもZoomでいろいろな研修を受けることができた。 | キャリアアップ研修の受講を増やしていく。 |
| | | | 宮前区年齢別会議・研修 | 随時 | 随時 | [redacted] | 記録 | 全員が１回以上受講している。 | Zoomでの研修会議に全員が１回は受講した。 | 年齢別研修で他園の実践はよい学びとなっている。 | 次年度も続けていく。 |
| | | | 宮前区研修・川崎市研修・社協研修・保育連盟研修 | 随時 | 随時 | [redacted] | 記録 | ZOOMの為受講できる研修も増えている。 | 殆どの研修はZoomで参加。 | 川崎市、宮前区の研修は多すぎて全てを受講することはできなかった。 | 次年度も続けていく。 |
| | | 法人内研修 | ライジン・新任研修 | 未定 | 未定 | [redacted] | 記録 | 予定通り実施。新任研修は藤森研修と同日行い良い学びとなっていた。 | 予定通り実施。２歳のライジンは新園舎で行い、他園の職員から認められることで自信にもつながった。 | ライジン、新人研修、園自慢共に、見ていただくこと、他園を見ること、研修を受けること、園自慢の作成することで、職員の保育が深まり、自信にもつながっている. | 次年度も続けていく。 |
| | | | 藤森研修、久保研修、平林研修 | 月１回 | １２回 | [redacted] | 記録 | 予定通り実施している。 | 予定通り実施している。藤森研は乳児の先生の、久保研、平林研は園長主任の力になっている。 | 久保研、平林研が全体で行うことになったが、今までとは違った学びになった。 | 次年度も続けていく。 |
| | 人財育成・人事評価 | ヘキサゴン　（スキルアップ支援プログラム） | ヘキサゴン・スキルアップシート | 5月・１０月・3月 | 3回 | [redacted] | ヘキサゴン・<br>スキルアップシート | ５月実施。引っ越しで10月できなかったため１１月実施予定。 | 引っ越しや、保育を整えるのが先決課題となり、半期の分が年度後半になってしまった。 | 第１次評価が終了後の評価者の話し合いが、１次評価者の学びにもなっている。 | 次年度は期間を守り実施していきたい。 |
| | | 職員面談　（自己評価・他者評価） | 職員面談 | 4月・１０月<br>２．３月 | 3回 | [redacted] | 面談記録 | ５・６月実施。11月実施予定。 | １１月の実施ができず、年度後半に持ち越してしまった。 | 職員からは、仮園舎、新園舎の引っ越し、新園舎の保育を作っていった大変さの話ばかりになった。 | 次年度は期間を守り実施していきたい。 |
| | | | 他者評価・職員メッセージ | ３月 | １回 | [redacted] | 他者評価表<br>職員メッセージ | ３月実施予定。 | ３月実施予定。 | 他者評価は10年以上行い、良さもあったが、年長、年中の順で評価されるため、今年度実施なし。 | 次年度どうするか検討して決定。 |
| | | メンター・メンティ | メンターとメンティーの対話 | 月１回 | １０回 | [redacted] | 報告書 | 現在できていない為、これから実施予定。 | 実施できていない。 | 今年度から始める予定だったが、新園舎になり他の話し合いが多く今年度実施できなかった。 | 次年度は行う。 |
| | 法人外部評価 | 第三者評価や施設関係者評価（学校評価）の活用 | 新園舎マニュアル作成 | ８月<br>１０月以降 | | [redacted] | 基本マニュアル | 基本マニュアルの変更を行っている。完成は３月。 | 安全点検、危機管理などの基本マニュアルの変更を行った。 | 一つ一つ、危険個所の確認、どうすべきかを決定している。来年度も続けていく。 | マニュアルが出来上がるのは、来年度になる。 |
| マネージメント | 財務 | 人件費率マネジメント | 適正な配置・業務の見直し | 随時 | 随時 | [redacted] | シフト表<br>職員配置表 | 新園舎になり、シフトの見直し、業務の見直しを行っている。 | 新園舎になり、シフトの見直し、業務の見直しを行っていった。 | 延長も増えてきて、シフトの見直し、業務の見直しも増えている。 | 定員も変更するため、再度見直しを行う。 |
| | | 積立金確保 | 積立金見直し | 年度末 | １回 | [redacted] | 予算書・決算書 | 今年度は積立てではなく、新園舎建設に向けての支払いを行った。 | 今年度は積立てではなく、新園舎建設に向けての支払いを行った。 | 来年度からに向けての、積立金の確保を本部と共に模索している。 | 積立金の確保を本部と共に模索していく。 |
| | | 適切な予算立てと予算執行 | 適切な建て替え予算立て、 | 随時 | 随時 | [redacted] | 月例会計確認<br>定例会 | 今年度は積立てではなく、新園舎建設に向けての支払いを行った。 | 今年度は新園舎建設の支払いを行った。 | 新園舎建設の支払いを完了。 | 今年度で終了。 |
| | 運営強化 | 人財定着化と個々の底上げ方法<br>（マネジメントブック類の活用など） | マネジメント研修参加 | 随時 | 随時 | [redacted] | 資料 | キャリアアップ研修でマネジメント研修を受けたことで成長している。 | ７年目以上のマネジメント研修受講者の全体を見ていく力は着実についている。 | マネジメント研修を受けることで園の中での自分の役割に気づくことが多く園運営に置いて極めて有効だと思っている。 | 次年度も続けていく。 |
| | | | 糧・コンセプトブックの活用 | 乳幼児会議 | 年１２回 | [redacted] | 乳児会議録<br>幼児会議録 | 読み合わせや感想を言うことで気持ちがよっていくのを感じている。 | 理念研修を行い、話し合いをすることで、保育が深まっている。 | 後半読み合わせもできないこともあったが、読み合わせ、話し合いをすることで基本に立ち返ることができている。 | 次年度は会議と研修を分けることで確実に底上げできるようにしていく。 |
| | | 情報とテクノロジーを活用した運営 | ①childcareweb・ホームページ・その他情報の整理<br>②nstagram、<br>③ホームページの保護者のページ（ポートフォリオ） | 随時 | 随時 | [redacted] | 記録<br>更新 | ホームページの保護者のページがお知らせ、ポートフォリオ、写真の項目になった。 | ホームページの保護者のページがお知らせ、ポートフォリオ、写真の項目になった。来年度から。<br>CCWの電子連<br>絡帳へ移行に向けてどういう形で行うか話し合っている。 | 広報の係がインスタを随時挙げていく取組を行っている。係だけではなく全員が関わる取り組みになっている。ホームページがおろそかになっていることがあるので気を付けていく。 | 保護者のページにあげるもの、インスタに上げるもの<br>を見極め、次年度も続けていく。 |
| | | 園の魅力を伝わらせるための広報・宣伝実践 | ①ホームページ・Instagramでの広報（外部向け）<br>②ホームページ（ポートフォリオ）Instagramでの広報（保護者向け） | 随時 | 随時 | [redacted] | 更新 | 週１回Instagramを更新、保護者向けホームページも随時更新している。 | 週１回Instagramを更新、保護者向けホームページも随時更新した。 | 保護者向けホームページは職員の負担にならないようにもしていきたい。 | 新園舎の魅力を保護者のページ、インスタで伝えていく。 |
| | | 採用活動の強化 | 関東園長会との情報共有 | 随時 | 随時 | [redacted] | 記録 | 関東園長会で情報共有している。 | 急に１名採用することとなったが、他園に応募してきた人を採用することができた。 | 情報共有することで困ったときに助けていただいている。 | 次年度も情報共有を続けていく。。 |
| | | | 養成校との連携 | 随時 | 随時 | [redacted] | 記録 | 連携は続けている。 | 連携は続けている。 | 連携は続けているが、今のところ採用枠がない。 | 次年度も連携は続けていく。 |
| | | 制度の活用と改善（ロビー活動など）採用活動の強化 | ロビー活動　①新園舎に向けて　②認定子ども園に向けて | 随時 | 随時 | [redacted] | 計画<br>記録 | 新園舎が出来上がったところで１１月に認定こども園に向けて川崎市と初めての面談を行う。 | 認定こども園に向けては、川崎市に１１月に訪問、２月には川崎市より、保育課と子ども園担当係長が来園。話し合いを行った。 | すぐに解決がつく話ではないが、子ども園化しなければいけないと思っている感はあり、気運の高まりを待っていることも感じられた。 | 議員、保護者も巻き込んだ活動を行っていく。 |

# 2022年度　世田谷はっと保育園　事業報告

| 分類 | 大項目 | 重点項目（全園） | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過（半年後） | 結果（2月記入） | ふりかえり（2月記入） | 次年度の取り組み（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アカデミー（保育＆教育の質の向上） | 理念に基づいた教育・保育 | 教育・保育方針<br>(同年齢の活動・異年齢の活動Wスタンダード) | 運営会議・職員会議・カミセブン会議（リーダー会議）・乳幼児会議 | 通年 | ４～１２回 | [redacted] | 次第・議事録 | 計画通り実施。カミセブン会議は区の保育実践コーディネーターと共に行なっている。 | 計画通りに実施。 | クラス会議、カミセブン会議は定期的に実施でき内容も深めることができた。 | 会議は定期的に行い、必要に応じて開催するようにしていく。 |
| | | | 教育課程の作成、年案、月案（起案）の作成、実施、振り返り | 随時 | ２～４回 | [redacted] | 教育課程・指導計画 | 随時実施、更新している。 | 随時実施、変更なし。 | 定期的に見直しを行なえた。 | トピックウェブ形式での月案作成。振り返りをきちんと行い翌月に活かすようにする。 |
| | | | 小グループでのワーク（ECEQ方式） | 通年 | 12回以上 | [redacted] | 議事録 | 会議の中で田の字ワーク法が定着。誰でもどんな意見でも伝えやすくなっている。 | 後半はワークを利用しなくても、意見を言い合える会議内容になっている。 | 定期的に活用することで、会議内容をより深めることができている。 | 世田谷区のミドル研修受講者が増え、更に浸透しやすくなっている。チームワーク向上にも繋がるので継続していく。 |
| | | 保育者の関係性向上（同僚性向上） | 乳幼児連携副担任制度 | 通年 | 通年 | [redacted] | 議事録 | 各行事やつばさ組保育でも機能している。 | 継続的に機能している。 | 他のクラスへの意識が高いまま継続することができた。 | 乳児の職員が幼児クラスを担当をすることで、さらに園全体への意識を高めていく。 |
| | | | カミセブン・Ｓ４制度 | 通年 | 通年 | [redacted] | 議事録 | 常にカミセブンを中心とした保育がなされている。 | 世田谷区保育実践フォーラム研修に参加したことで、会議を継続的に行なうことができた。 | 継続してきたことで、保育内容の話し合いを深めることができた。 | 更にリーダーの意識を高め、自分達で考えて行動するようにしていく。 |
| | | 保護者対応（保護者支援） | 懇談会（５月クラス懇談会　２月クラス懇談会） | ５月・２月 | ２回 | [redacted] | 懇談会次第 | 5月は感染者数拡大の為、ZOOMでの開催。 | 2月は昼の時間帯にZOOMで開催。クラスの半分以上の保護者が参加している。 | 平日に開催しても、クラスの半分ほどは出席している。編集し、録画配信も行なっている。 | 5月は対面で行い、2月は平日の昼ZOOM開催で行なっていく。 |
| | | | 保育参加・個人面談・苦情解決委員（弁護士への相談） | 通年 | １２回以上 | [redacted] | 面談記録・アンケート | 状況により内容に変更はあったが、計画通り実施及び実施予定。 | 個人面談は、随時実施。苦情については、すぐに対応。 | 保育参加を予定通り実施。また随時受け入れを行なっている。 | 随時参加できるようにし、保護者の保育理解を深められるようにする。 |
| | 地域貢献 | 小学校・養成校など学校との連携 | 実習生受け入れ及び実習生からの学び | 通年 | １２回以上 | [redacted] | 実習記録 | 2月に2名実施予定。 | 計画通りに実施。 | 計画通りに実施。 | 要望があれば、来年度も同様に実施する。 |
| | | | 小・中・高校生の保育体験・地域の学童保育職員との合同研修実施 | 通年 | ２０日以上 | [redacted] | 記録・アンケート | 計画通り実施。 | 出来る時に実施した。 | 期間外にも子ども達が自由に来園する日が増えた。 | 来たい時に受け入れられるようにしておく。 |
| | | ボランティアプロジェクト<br>（対外、対内、両方とも含む） | ハットナラプロジェクト（専門家によるワークショップ・ハットナラ実施） | ４月～１１月 | １０回 | [redacted] | 実施計画書・記録 | ハットナラに向けてシャケちゃんから手遊びの研修を受け、自分達で手遊びを作成中。 | ・計画通りに実施。<br>・自分達で作った手遊びを動画で配信した。 | ・シャケちゃん研修は自分達の身になるものだった。 | ・来年度も同様に実施する。<br>・研修も引き続き出来れば実施したい。 |
| | | | ハタチプロジェクト（卒園児、保護者との連携強化） | 通年 | １０回 | [redacted] | ＳＮＳ | はっとカミング、小学生ボランティアを実施した。 | ハットナラへの招待、はっとソングプロジェクトの周知を行なった。 | ハットナラには多くの卒園児が参加していた。 | 今年度実施した活動を継続して行なっていく。 |
| | | 地域の子育て支援 | 子育て支援講座（キッズヨガ・親子ワークショップ・離乳食講座）・一時保育 | 通年 | １２回以上 | [redacted] | 計画書・記録 | 地域向け講座は、少しずつ参加者も増えてきている。 | シャケちゃんLIVE、はっとくらぶ、共に集客が増えた。 | コロナ禍で離乳食講座や新規イベントの実施が出来なかった。 | コロナも落ち着いてきたので、地域支援に力を入れていきたい。 |
| | | | 体験保育（育児不安の軽減・出産を迎える親の体験学習） | 通年 | ６回以上 | [redacted] | 計画書・記録 | 前半未実施。 | 後半、未実施 | 感染症の拡がりもなく、後半は企画し実施すべきだった。 | コロナも5類に位置付けられるため、定期的な開催を実施する。 |
| | | | 園だよりの発行・ＦＢ・SNSでの情報発信 | 通年 | １２回以上 | [redacted] | 園だより・ＦＢ | 計画通り定期的に、更新している。 | 随時、発行・更新を行なっている。 | 計画通りに実施できた。 | 来年度も同様に実施する。 |
| | 委員会活動の強化 | 食育 | 食育の日の計画実践（イッテ給・行事食・世界の料理・地域の料理） | 通年 | １２回以上 | [redacted] | 食育計画書・記録 | 旬の食材を含んだ献立を取り入れたり、食材の調理の手伝い等を行っている。 | 計画通りに実施できた。 | 旬の食材や行事食について子どもと対話し、考えていくことができた。 | 来年度は旬の食材や行事食等の料理の提供方法を新たに考えていく。 |
| | | | クッキングの実践（カレープロジェクト・味噌作りその他） | 通年 | １２回以上 | [redacted] | ドキュメンテーション | ＣＰをグループごとに行ない、実践している。味噌作りも実施予定。 | お泊り保育の夕食作りやスイートポテト作りなど、クッキングを実践している。 | 概ね計画通りに進めている。ありがとうの会に向けて、CPを実施予定。 | 子どもの学びに必要な保育内容なので、継続していく。 |
| | | | 野菜の栽培 | ５月～１０月 | 随時 | [redacted] | ドキュメンテーション | 各クラスで野菜を決め栽培収穫し、収穫した食材でクッキングをした。 | 栽培収穫消費を通じ興味が広がり、栽培が継続しているクラスもある。 | 計画通り進めた。野菜の育ち具合でクラスにより取り組み頻度に違いあった。 | ・継続して野菜の栽培を行う。<br>・子どもが興味ある野菜を育てる事も考慮する。 |
| | | 保育環境 | エコ（教材・水道・光熱費使用量の管理・消耗品、教材の使用量管理と削減） | 通年 | １２回以上 | [redacted] | 記録 | 絵本などを通して子ども達にエコを伝えている。職員にも季節ごとにエコについて促している。 | 引き続き絵本や表示などを通して子ども達にエコや物の大切さを伝えている。 | 教材に関してもっと大切に使うよう意識出来るよう伝えていった。 | 園で出来るSDGsの取り組みを子ども、職員と共に探し実施していく。 |
| | | | 図書・おはなし（朗読・読み語り） | 通年 | 随時 | [redacted] | 記録 | 随時貸出絵本の入れ替えを行った。 | 絵本の購入や入れ替えなど定期的に行う事ができた。 | ハットナラに活かしていければということだったが、担当者が各ブースにバラバラになってしまうのて難しかった。 | 貸出カウンターの購入と本棚の追加は来年度に行う。 |
| | | | 清掃・衛生・消毒 | 通年 | 随時 | [redacted] | 記録 | 基本的な清掃・消毒は行なえているが、棚の下など細かい所も注意して行ないたい。 | 手指の消毒液などしっかり行い、感染拡大防止に努めた。 | 計画通りに実施した。 | 来年度も同様に実施する。 |
| | | | STEM（科学コーナーの充実・数・不思議） | 通年 | 随時 | [redacted] | 記録 | 単発の物が始どだが、順次行っている。<br>磁石・色水・浮く沈む等をしたが、現状では子ども達の力から○○したいと提案を受けるようになった。 | 単発での実験は反響があった。特にジュース作りは盛り上がった。 | ドキュメンテーションなどを出したのは良かったが、他の職員との連携をもう少し擦れればと思った。 | 論文を出せるような定期的な取り組みを行うのが課題。 |
| | | | 園内装飾（各行事の飾りつけ、発信・デザイン） | 通年 | 週１ | [redacted] | 記録 | 季節や行事に合わせ園内を装飾している。 | 係で計画的に行事ごとで装飾する目安日を設け、予定通り実施。 | 付属品の買い足しや長期的に使える物は購入していく方向で進めていく。 | 来年度も同様に。 |
| | | | 音楽・リズム（楽器研究含む） | 通年 | 週１ | [redacted] | 記録 | 音楽遊びやリトミック遊びを常に取り入れている。 | 計画通りに実施できた。 | 日々の生活の中でリトミックを取り入れたことで継続して実施出来た。 | 来年度も同様に実施する。 |
| | | | アトリエ（環境設定・教材の研究） | 通年 | 週１ | [redacted] | 記録 | アトリエの教材整理と家具の配置換えをし、環境整備を行った。 | 掃除と整理整頓しかできなかった。 | 行事で保育者が使う事も多く、整理整頓・配置換えができなかった。 | 子ども達向けて季節の素材コーナーや、各素材のポップを作っていく。 |
| | | | 手作り玩具 | 通年 | １２回以上 | [redacted] | 記録 | おままごとで使用している物のリメイクや新調したい物を依頼し作成してもらっている。 | 乳児のおままごとの素材を新調したり、劣化した物の作り変えを進めた。 | 幼児クラスからのリクエストが少なかったが、直しの発注は適宜あった。 | ボランティアさんに依頼・発注することを継続していく。 |
| | | | サーキット（組み方・職員周知・園だよりでの発信） | 通年 | １２回以上 | [redacted] | 記録・動画 | 乳児は動画撮影し、保護者に可視化した。幼児も進めていく。 | 計画通りに実施。 | 乳児クラスで動画作成、サーキットコースを可視化した。 | 来年度もクラスを絞って同様に実施する。 |
| | | 危機管理 | ヒヤリハット・事故報告書・リスクマネージメント | 通年 | ４回～６回 | [redacted] | 記録 | 5歳児の脳震盪の事故があった際、全体会議内で話し合ったが、定期開催はしていない。 | 不定期でリスクマネージメント会議を実施。 | 定期的な会議は未実施だったので、年間で計画的に会議を設け振り返る時間を作ることが必要だった。 | ヒヤリハットの記入形式や見える化を具体的にすることを検討する。 |
| | | | アレルギー対応 | 月１回 | １２回 | [redacted] | 記録 | 月1回のアレルギーチェックを行っている。 | 計画通りに実施。 | 計画通りに実施できた。 | 来年度も同様に実施する。 |
| | | | 消火避難訓練の実施・報告・防災用品、備蓄の管理 | 月１回 | １２回 | [redacted] | 記録・備蓄表 | 実施は毎月行っている。BCP計画も進んでいるが、どの程度ブラッシュアップすればよいか、不透明。 | 備品の表はある程度できた。入れ替えがあった際にどのように数字を管理するかが課題。 | 避難訓練は計画的に出来た。 | 消火消防訓練を出来たらと思う。 |
| | LLを柱とした保育実践と研鑽 | ラボ（実践＝学び）（研究＝ふりかえり）<br>スケール（評価） | プロジェクト型保育・教育の記録・ドキュメンテーション | 通年 | １２回以上 | [redacted] | ドキュメンテーション | 随時、作成中。 | 随時、作成発信中。 | 計画的によりも、子ども達の活動の姿に合わせて記録している。 | 定期的に行っているものは継続しつつ、子どもの姿に合わせて作成していく。 |
| | | | 誕生会プロジェクト・プレゼンテーション | 月１回 | １２回 | [redacted] | ドキュメンテーション・ＰＰ | 誕生会は随時、作成中。まとめを全体会で発表を行なっている。 | 子ども達同士、子どもと大人同士の対話が深まってきている。 | プレゼンテーション後に職員で問いを深めていく事で次回のプロジェクトへ活かすことができた。 | 子どもの発想や発見を大事にし、対話を深めつつ行なっていく。 |
| | | | サーキット研 | 月１回 | １２回 | [redacted] | 記録 | アルテに月1回指導。サーキットの振り返りはユニット変更する際に実施。 | 計画通り実施。 | 話し合いをする事で職員がサーキットに関して意識を高め、ユニット変更にも携わっている。 | 次年度も同様に振り返りを行ない、子ども理解を深めていく。 |
| | | | ＤＩＹプロジェクト・木育 | 随時 | 月１回以上 | [redacted] | 記録 | 必要に応じてDIYで作りものを行なっている。コーナーの中で木育活動を行なっている。 | つばさ組の子ども達を中心に木育活動を行っていった。 | コマ台や配膳の踏み台など、子ども達に必要なものをDIYで作った。 | 引き続き年間を通して木育活動を行う。<br>次年度はそら組とも行う。 |
| | | ライブラリー（データベース・ファイリング） | チャイルドケアウェブ・ＩＲＥＳデジタル連絡帳・動画ライブラリー | 通年 | 毎日 | [redacted] | ＣＣＷ・ＩＲＥＳ | CCW,IPESを継続利用している。<br>IPESは不具合が多発している。 | 度々、システムの不具合が頻発している。 | すぐに対応してもらえないことが多いため、困ることがある。 | 新システムを考える必要がある。仕事の効率化が図れるものを使用したい。 |
| | | | ドキュメンテーション（運動会・発表会の取り組み他） | ９月～２月 | ２回 | [redacted] | ドキュメンテーション | ミニパラ、パラは作成発信。 | 発表会は、日々クラスの1日での様子に発信中。 | 紙ベースでは提出していないので、まとめても良いのかもしれない。 | 来年度も実施していく。 |
| | 研修の充実 | 内部研修 | 新人研修、公開保育、実践発表、ECEQ | 通年 | １２回以上 | [redacted] | 研修記録 | 随時、実施。 | 公開保育・実践発表は予定通り実施 | 新任研修は法人内での扱いの為園内ではOJTを実施。公開保育は近隣園を招いて行う。 | 次年度も同様に行っていく |
| | | | キャリアパスとファシリテート研修、絵画・造形研修 | 通年 | ８回 | [redacted] | 記録 | 計画的に実施中。 | 計画的に実施。 | 研修を受けたことが実践に結びついている。 | 来年度も計画し継続していく。 |
| | | 外部研修 | 世田谷区研修・子どもの文化学校・キャリアアップ研修・オンライン研修 | 随時 | 随時 | [redacted] | 計画書・研修記録 | 各自、計画的に受講中。 | 計画的に実施。 | オンラインが主だったが、様々な研修を複数で受講することができた。 | 来年度も継続して受講していく。 |

| 分類 | 大項目 | 重点項目（全園） | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過（半年後） | 結果（2月記入） | ふりかえり（2月記入） | 次年度の取り組み（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アカデミー＆マネージメント | 研修の充実 | 外部研修 | 海外研修2名派遣（レッジョエミリア） | 5月ｏｒ11月 | | [redacted] | 計画書・研修記録 | 未実施（国内でのJIREA研修受講に計画変更） | レッジョ、スウェーデンの研修を受講（オンライン） | オンラインが主だったが、様々な研修を複数で受講することができた。 | 現地研修を実施予定 |
| | | 法人内研修 | 新任研修・理念研修 | ４月・６月・７月 | ３回以上 | [redacted] | 研修記録 | 理念研修、運動会研修、藤森研修を受講。 | 後期理念研修を予定通り実施。 | 法人マターで行った。 | 次年度も同様に実施予定 |
| | | | 保育環境スケール・公開保育（ライジン）・ＥＣＥＱ | 5月～１２月 | ４回～6回 | [redacted] | 記録 | 計画通りに実施中。 | おおよそ計画通りに実施。 | 公開保育の必要性を改めて感じることができた。 | 継続的に実施する。公開保育後の子どもの姿をきちんと押さえられるような仕組み作りを意識する。 |
| | 人財育成・人事評価 | ヘキサゴン　（スキルアップ支援プログラム） | スキルアップ支援（スキルアップシートと面談） | ４月・９月・２月 | ３回以上 | [redacted] | スキルアップシート | 計画通り実施中。 | 計画的に実施。 | ひとつの目標として自分で決めた課題に向き合い取り組んでいる。 | 来年度も計画し継続していく。 |
| | | | キャリアパス制度を基準にしたスキルアップ | １０月・２月 | ２回 | [redacted] | ヘキサゴン | 計画通り実施中。 | 計画的に実施。 | チェックのしづらさがあり、カミセブンで内容の精査をしている。 | 今あるものをベースに精査し、形にしてチェック出来るようにしていく。 |
| | | 職員面談　（自己評価・他者評価） | 個人面談 | ９月～２月 | ３回以上 | [redacted] | 記録 | 計画的に中間チェックを実施した。 | 計画的に面談を行なった。 | 実践を踏まえながら、キャリアパスの作成を着実に行なっていく。 | OJT担当者は目標を把握し、進捗状況合わせて日頃から話をする。必要に応じて目標を変更するなど身になるものにしていく。 |
| | | メンター・メンティ | OJT | 通年 | 随時 | [redacted] | 記録 | 随時面談を行ない、個々に話をしている。 | 面談を行ないながら、研修を受けた内容を実践している。 | 個々のカミセブンの意識の強化がなされている。 | 面談や会議でのファシリテート、職員育成について学び、自他ともにスキルアップを図ることを継続していく。 |
| | 法人外部評価 | 第三者評価や施設関係者評価（学校評価）の活用 | 受審前の勉強会と書類作成 | ７月～９月 | １回 | [redacted] | 受審表 | 今年度は受審予定なし | 今年度は受診予定なし。 | 今年度は受診予定なし。 | 再来年度に受診予定。 |
| | | | 受審結果の振り返り | １０月～３月 | １回～２回 | [redacted] | 評価表 | 今年度は受審予定なし | 今年度は受診予定なし。 | 今年度は受診予定なし。 | 再来年度に受診予定。 |
| マネージメント | 財務 | 人件費率マネジメント | 職員適正配置 | 月１回 | １２回 | [redacted] | シフト表 | 適正に配置されている。 | 適正に配置されている。 | 適正に配置されている。 | 適正に配置しつつ、ノンコンタクトタイムが取れるようにもしていく。 |
| | | 積立金確保 | 積立金目標達成・こども園化に伴う改築のための積立 | ９月・２月 | ２回 | [redacted] | 予算書・決算書 | 計画通り執行中。 | 計画通りに執行 | 若干の補正はあったが概ね計画通りに執行。 | 今年度と同様に計画 |
| | | 適切な予算立てと予算執行 | 園庭整備（土壌改良、フェンス工事）木製食器の購入 | 随時 | 随時 | [redacted] | 稟議書・収支計算書 | 園庭整備、木製食器購入済み | フェンスは未実施 | 未実施事業は次年度計画にする。 | フェンス工事を次年度行う。 |
| | 運営強化 | 人財定着化と個々の底上げ方法（マネジメントブック糧の活用など） | 理念研修・カミセブン、Ｓ４制度による運営強化、ファシリテート力強化 | 毎月 | １２回 | [redacted] | 事業計画書 | 計画通り実施中。 | ほぼ、計画通りに実施。 | ほぼ、計画通りに実施。 | 来年度も継続して実施する。 |
| | | 情報とテクノロジーを活用した運営 | ＩＣＴ化・ＦＢによる情報発信と情報収集・ＰＣマイスター活用 | 随時 | 随時 | [redacted] | ＳＮＳ・ＨＰ | zoom等を利用しリモート会議、研修、保護者会を実施。 | 職員の技術が向上。 | ほぼ、計画通りに実施。 | 来年度も継続して実施する。 |
| | | 園の魅力を伝わらせるための広報・宣伝実践 | メディアによる地域発信・公開保育・実践発表会への参加 | 随時 | 随時 | [redacted] | ＳＮＳ・ＨＰ | 随時更新、実施中。 | 定期的に随時更新中。 | 定期的に随時更新。 | 来年度も継続して実施する。 |
| | | 採用活動の強化 | 養成校教員との関係の構築 | 通年 | 随時 | [redacted] | 求人票・ＨＰ・SNS | 求人サイトへの掲載、又は就職フォーラムへの参加。 | 実習生の受け入れ及び、研修の受講。 | 計画通りに実施。 | 来年度も継続して実施する。 |
| | | 制度の活用と改善（ロビー活動など） | ロビー活動の強化（自治体・厚労省との関係強化、有識者との関係強化） | 通年 | 随時 | [redacted] | 各種団体会議・園長会 | 有識者、政治家との関係を構築中 | 有識者との関係が強化された。 | 政治家との関係が築かれていない。 | 民保連役員の継続・区議会議員との関係強化 |

# 2022年度　アルテ子どもと木幼保園　事業報告

| 分類 | 大項目 | 重点項目（全園） | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過（半年後） | 結果（2月記入） | ふりかえり（2月記入） | 次年度の取り組み（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アカデミー（保育&教育の質の向上） | 理念に基づいた教育・保育 | 教育・保育方針（同年齢の活動・異年齢の活動Wスタンダード） | 理念研修（糧、種）、職員会議 | 通年 | 12回 | [redacted] | 次第·議事録 | 予定通り職員会議、研修を実施。 | 法人内、月1回の職員会議内で予定通り実施した。 | 繰り返し読むことで、価値観の共有ができた。 | 理念、保育方針の共有に有効。目指す保育へ向け継続。 |
| | | | 管理職会議、リーダー会議 | 通年 | 4～18回 | [redacted] | 次第·議事録 | 予定通り実施。方向性、今後の見通しの確認。 | 管理職会議は、必要に応じて打合せを行った。リーダー会は予定通り実施。 | 管理相会議で検討事項を出し、リーダー会で討議、最終決定し職員周知した。 | 今後も管理職会議とリーダー会で検討事項の方向性を決定し、周知していく。 |
| | | | こども園化を見据えた全体的な計画の見直し | 6月·2月 | 2回 | [redacted] | 全体的な計画 | 現在の全体的な計画を見直し中。今後作成し直す。 | 1年後のこども園化を見据え、計画内容を検討中。 | こども園化を見据えた教育内容を考えていく必要がある。 | 基本的な全体の計画をこども園化を見据えて随時見直す。 |
| | | 保育者の関係性向上（同僚性向上） | 乳児会、幼児会、ケース会議、一円会議 | 通年 | 毎月·毎週 | [redacted] | 次第·議事録 | 予定通り、毎月開催している。 | 各会議、一円会議は職員会議内で実施した。 | 個々の意見を引出す機会となった。さらに活発な意見交流が求められる。 | 乳幼児会議はファシリテーターが役割を果たし、個々の意見を引き出していく。 |
| | | | OJT、リーダー·サブリーダー制 | 通年 | 随時 | [redacted] | スキルアップシート | リーダー中心にOJT実施。チーム保育の確立を目指し努力している。 | リーダー、サブリーダーによるOJT、クラス運営、チーム保育を実施した。 | OJTによりリーダー・サブリーダーの手腕が発揮され、チームカが向上した。 | リーダー・サブリーダーが中心にOJTでの人材育成に努めていく。 |
| | | 保護者対応（保護者支援） | 保護者懇談会、第三者委員の紹介、苦情解説制度の説明 | 5月·1月 | 年2回 | [redacted] | 懇談会次第·記録 | 対面での保護者会を行うことができた。次回1月を予定。 | 対面で保護者会懇談会を実施。必要な説明を行った。 | 生活発表会後にアンケートを実施。今後も活用し保護者の意見を取り入れていきたい。 | 対面交流による職員と保護者、保護者間の関係性を深め、アンケートも実施していく。 |
| | | | 保育参加·個人面談、連絡帳のやりとり、保育内容の掲示 | 通年 | 各家庭年1回<br>毎日 | [redacted] | 面談記録 | 保育参加・個人面談は、期間を設定し実施中。 | 保育参加・個人面談を実施。連絡帳のやりとり、掲示物による保育の発信を行った。 | 保護者が子どもの成長を知る機会となり、信頼関係を深めることができた。 | 通年を通しての保護者参加、個人面談により保育方針と子ども理解の共有を図る。 |
| | | | 行事参加（ファミリーデー、保育体験、運動会、アート展、生活発表会） | 各年1回 | 各1回 | [redacted] | 計画案·実施記録<br>ドキュメンテーション | 感染対策を行いながら実施。 | 各行事を保護者参加で実施した。 | 保護者が子どもの成長を知る機会となり交流の場ともなった。 | 子どもの成長を分かち合う保護者参加の行事の開催を継続する。 |
| | 地域貢献 | 小学校・養成校など学校との連携 | 実習生、インターン、ボランティアの受入れ | 通年 | 6回以上 | [redacted] | 実習記録 | 感染拡大で多少の変更はあったが、予定通り進んでいる。 | コロナ終息にあたり、前年度よりも多くを受け入れた。 | 見通しを持って年計画を立て、重ならないよう工夫した。 | 積極的に受け入れし養成校との連携、保育士養成の一端を担い採用へもつなげる。 |
| | | | 小·中·高校生の保育体験 | 通年 | 12回以上 | [redacted] | 保育体験記録 | 感染拡大で中止もあった。卒園児が在園児に折り紙を教える等実施できた。 | 卒園児が折り紙を教える様子をブログで発信することで他の卒園児も来るきっかけになった。 | 再び卒園児が折り紙を教えに来てくれた。年長児は小学校への期待も高まった。 | 地域中高生の保育体験、卒園児を受入れ幅広く保育を知ってもらう。 |
| | | | 地域年長児交流、近隣小学校行事参観 | 随時 | 6回以上 | [redacted] | 園日誌·保育日誌 | 1月に仲町保育園とお互いの園訪問を予定している。 | 悪天候の為延期。3月に実施予定。 | 桃園第2小学校の1年生交流に参加。 | 年長児の地域交流、小学校との連携を進める。 |
| | | | 年長児の小学校体験・小学生交流 | 通年 | 2回 | [redacted] | 保育日誌 | 年度末に交流を予定。今後詳細をていく。 | 2月中旬実施。桃園第二小学校に訪問。 | 訪問し交流したことで小学生になるという期待が高まった。 | 就学に期待を持てるよう卒園児交流を継続していく。 |
| | | ボランティアプロジェクト（対外、対内、両方とも含む） | 栽培ボランティア、演奏ボランティア、お話しボランティア | 通年 | 12回以上 | [redacted] | 計画案<br>ドキュメンテーション | ファミリーデーに花の種植えを実施。お話びっくり箱は感染状況をみながら開催している。年末に演奏会予定あり。 | 畑の栽培、お話しは定期的に、演奏はクリスマスに受け入れを実施。他に保育ボランティアの希望もあり受け入れた。 | 定番化することで、子ども達も職員も活動を想像し、受入れしやすくなった。 | 専門的なスキル、職種の人との関りを継続し、楽しみ興味や関心を広げていく。 |
| | | 地域の子育て支援 | 園だより·ホームページの公開 | 通年 | 12回以上 | [redacted] | 園だより·ホームページ | 毎月予定通り園だよりをUP。ブログは各クラスの様子を載せている。 | 毎月予定通り園だよりを配信。近隣へも配布した。ホームページは不定期に掲載した。 | 園だよりを通して園内外に保育の発信ができた。ファイルにし展示、送迎時に読む姿もある。 | ホームページの活用をさらに広げ、園の保育理念、実践の発信に努める。 |
| | | | 見学·育児相談会、保育体験（育児不安の軽減） | 通年 | 12回以上 | [redacted] | 実施記録 | 見学会の前に0歳児はベビーマッサージを紹介する会を開催している。見学会の応募が多く、動画でも対応した。 | 入園申し込みの時期に見学希望が多く動画で対応。来園者には丁寧な説明と見学を実施した。 | 定期的な見学と相談、ベビーマッサージに加え、希望者が多い時は動画で対応。来園者には丁寧な説明ができた。 | 見学・相談会は定期的に継続して実施し、次年度は動画をリニューアルさせたい。 |
| | | | 産前産後ケア（出産を迎える親の体験学習）、離乳食講習会、地域公開サーキット遊び | 通年 | 12回 | [redacted] | 実施記録 | 離乳食講習会（初期・中後期）サーキット体験を開催。 | ベビーマッサージ、離乳食講習会、サーキット体験を予定通り開催し好評を得た。 | 急なキャンセルがあり、受付時期や確認の検討が必要。妊産婦事業を増やしたい。 | マタニティヨガも加え産前産後のケアに取り組み子育ての不安に対応していく。 |
| | 委員会活動の強化 | 食育 | 行事食（誕生会、伝統行事）、旬の食材、防災食 | 通年 | 20回 | [redacted] | 献立表·食育だより | お月見の団子が提供できないので、お月見ゼリーを作った。旬の食材レシピを掲載。 | 節分行事の一環として、鰯の解体見学・焼いかがしの準備を実施。行事給食を提供した。 | 節分当日の給食に鰯のかば焼き、おやつは茹で大豆を使った大豆フレークを提供。 | 今後も日本古来の伝統行事の由来や行事食を紹介し、伝統文化を継承していく。 |
| | | | 食事マナー、ビュッフェスタイルの配膳、当番活動 | 通年 | 毎日 | [redacted] | 日誌·実施記録·食育だより | 5歳児は1階のエントランスで食事。準備や食後の掃除の他、お花をテーブルに飾った。 | ビュッフェスタイルの配膳が定着。マナーはその都度声掛けを行なった。 | 配膳、マナーの声掛けは実施できたが、当番活動は感染症対策で実施できなかった。 | ビュッフェスタイルを継続。マナーは随時の声掛け、当番活動は状況を見て開始したい。 |
| | | | 栽培·収穫·調理（クッキング） | 通年 | 随時 | [redacted] | 計画案<br>ドキュメンテーション | 畑の野菜予定通り栽培、収穫。お月見団子作った。 | 畑での栽培、収穫を実施。調理は実施していないものの食材展示や乾物の戻しなど実施した。のを行いふやける過程や様子、感触・においなどを観察した。 | 栽培、収穫、乾物の戻しなど素材に触れることができた。喫食状況も良かった。 | 栽培、収穫を継続し、調理の幅を広げていく。食育を通して食生活に関心を高めていく。 |
| | | | 食育コーナー、食育ボードの活用（食材紹介·献立紹介） | 通年 | 随時 | [redacted] | ホームページ·食育だより<br>ドキュメンテーション | 季節ごとに旬のものを展示。献立紹介実施。 | 日本の伝統食の乾物、小松菜・ほうれん草・白菜などの冬は旬の野菜を展示。 | 実際に給食に提供する食材を展示することで、親子での対話が広がっていた。 | 季節に合わせた献立、食材やレシピ紹介など有効に活用していく。 |
| | | 保育環境 | アトリエ活用（対話的保育の実践）、クラスとつなぐための環境 | 通年 | 随時 | [redacted] | 写真データ | 年長児とケーキプロジェクトを継続中。制作コーナー設置模索中。 | ケーキプロジェクトを継続的に実施。対話的保育を深めた。アトリエ活動への期待がある。 | アトリエとクラス活動を併用し実施、期待を高めた。少人数の対話で表現活動ができた。 | ケーキプロジェクトの継続、クラス活動とアトリエを併用し実施する。 |
| | | | 幼児保育環境（コーナー設定）、生活スペースの見直し、絵本コーナー | 通年 | 随時 | [redacted] | 議事録·写真データ | ECEQ実施を機に生活スペース、コーナー見直し中。 | 幼児の生活スタイルと興味や関心にそった環境構成を見直していった。 | コーナーの工夫、対話できる食事スペース空間にし、随時検討していく。 | 幼児の興味関心に合わせて環境設定し、随時もい直していく。 |
| | | | 乳児保育環境（発達に応じた0歳児保育室） | 通年 | 随時 | [redacted] | 議事録·写真データ | 月齢に合った環境設定に随時見直している。 | 発達に応じて生活環境の見直しを行っていった。 | 0歳児環境構成は課題を残した。必要な備品等も要検討。 | 月齢や発達に応じた環境づくりを進める。職員の連携を図る。 |
| | | | 音楽あそび（楽器コーナー）、劇、ごっこ遊び（変身コーナー） | 通年 | 随時 | [redacted] | 写真データ<br>ドキュメンテーション | 変身コーナーの人気に合わせ鏡の設置を検討中。 | コーナーを移動し鏡を設置。異年齢で関わり合いながら使用。 | 子どもの興味や関心に合わせコーナーを変更し楽しめた。 | 興味や関心に合わせた設定で、遊び込める環境づくりを継続。 |
| | | | エコ委員会（SDGs理解、節電·節水、消耗品管理）、地域環境員による園内外の清掃·美化、駐輪場の簡易屋根の設置 | 通年 | 毎月 | [redacted] | 議事録·稟議書 | 地域環境委員を中心に実施中。 | 地域環境委員を中心に、園内外の清掃、美化に努めた。 | 地域環境委員を中心に、園内外の清掃、美化に努めた。 | 地域環境委員を中心に引き続き実施していく。 |
| | | | 屋上園庭の活用、植栽の管理、ソーラーパネルの設置 | 通年 | 随時 | [redacted] | 写真データ·稟議書 | ファミリーデーで屋上の植栽を利用した活動をした。 | 植栽の剪定を行ない管理。簡易ソーラーパネルを購入した。 | 庭師やボランティア、シルバーにより活動が充実した。 | 専門家の力を借りながら、園庭整備、植栽の管理を継続する。 |
| | | 危機管理 | 防災用品·備蓄の管理、避難訓練·防犯訓練 | 通年 | 毎月 | [redacted] | 備蓄表·訓練計画·記録 | 避難訓練毎月実施。地域防災訓練に年長児参加。 | 毎月予定通り、避難訓練等を実施した。地域防災訓練に参加。 | 毎月避難訓練、初期消火訓練を実施。地域とも連携できた。 | 地域防災訓練は次年度も実施予定。備蓄整備を行っていく。 |
| | | | リスクマネジメント（アレルギー、安全チェック、ヒヤリハット、事故報告） | 通常 | 毎月 | [redacted] | アレルギー献立·安全チェック簿<br>ヒヤリハット·事故·ケガ報告書 | 毎月の職員会議でヒヤリハット共有。 | アレルギー、園外保育の安全確認、毎月避難訓練等を実施。 | 危機管理の情報共有により大きなケガ・事故に至らなかった。 | ヒヤリハットを充実させ共有して事故防止をしていく。 |
| | | | 健康管理（保健指導の充実） | 通年 | 毎月 | [redacted] | 健康診断記録·保健だより | 感染症対策、園児・職員の健康管理を実施。 | 感染症対策を徹底したことで大きな流行なく予防できた。 | 感染防止策を掲示し保護者の協力を得て感染拡大防止できた。 | 感染状況に応じた感染対策を徹底していく。 |
| | LLを柱とした保育実践と研鑽 | ラボ（実践=学び）（研究=ふりかえり）スケール（評価） | サーキット研、運動遊び、ふれあい遊び研修 | 随時 | 6回以上 | [redacted] | 議事録·写真·振り返り記録 | 予定通り毎週サーキット実施。ふれあい遊び随時実施。 | 定期的に実施。サーキット研で各クラスの振返りを行う。サーキットへの知識が身に付く。 | サーキット、サーキット研の実施で、ユニットの組換えなど幅広い設定が出来た。 | 引き続き行いたい。 |
| | | | 誕生会プランナー、ケーキプロジェクト | 通年 | 随時 | [redacted] | ドキュメンテーション | 毎月、予定通り実施。ドキュメンテーション作成。 | 予定通り実施。ドキュメンテーションの作成、発信をした。 | ドキュメンテーションの共有でプロジェクトの学びを深めた。 | 終了後の発信のみならず途中段階の発信も積極的に行いたい。 |
| | | | アートを中心とした対話的プロジェクト型保育の実践 | 通年 | 随時 | [redacted] | ドキュメンテーション | 毒ジャガイモの実験や陶芸用粘土を再生しながら遊んだ。 | アート展開催。対話的な活動、地域施設との連携ができた。 | 子どもの声に耳を傾け、大人も一緒に楽しむ姿勢ができた。 | 子どもの興味から始まるテーマ型保育を継続していく。 |
| | | | プロジェクト、論文応募（ソニー科学する心を育てる） | 9月 | 1回 | [redacted] | 応募論文 | 乳児保育実践「感じる心、動き出すとき～映像とリアル～」ソニー論文応募。 | ソニー論文応募で優秀園に選定される。ネットワーク交流等に積極的に参加した。 | ソニー論文応募の内容を共有し、実践研究にも役立った。 | 次年度もプロジェクト実践をまとめソニー論文を応募する。 |
| | | | イングリシュ·イマージョン | 通年 | 毎日 | [redacted] | 保育日誌・写真記録 | ネイティブスピーカー退職。英語の堪能な職員で対応。 | ネイティブスピーカーを採用。生活の中で英語と触れ合った。 | もっと異文化や英語に触れる機会を作れるようにしたい | ネイティブスピーカーのイングリッシュイマ・ジョンを継続。 |
| | | ライブラリー（データベース・ファイリング） | ChildCareWebによる保育計画案、保育記録 | 通年 | 毎日 | [redacted] | ChildCareWebデータ | 計画通り進めている。コロナ禍、一斉メールを活用。 | 監査を受け改善点はすぐに修正を依頼し形式を改善した。 | 日誌や個別記録、一斉メールの他も活用できるようにしたい。 | 今後、園日誌やアンケート等でも活用できるよう進める。 |
| | | | ドキュメンテーション（行事、造形、誕生会、各種プロジェクト） | 通年 | 随時 | [redacted] | ドキュメンテーション | 各行事、造形活動、プロジェクトのドキュメンテーションを作成、掲示し発信。 | 季節の制作、プロジェクト活動をドキュメンテーション化、アート展で展示。 | ドキュメンテーションを通して、子どもの活動のプロセスや成長の姿を発信できた。 | ドキュメンテーションを通して、子どもの活動のプロセスや成長の姿を発信していく。 |

| 分類 | 大項目 | 重点項目（全園） | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過<br>（半年後） | 結果（2月記入） | ふりかえり<br>（2月記入） | 次年度の取り組み<br>（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アカデミー&マネージメント | 研修の充実 | 内部研修 | リスクマネジメント研修（ヒヤリ･ハット検討会） | 毎月 | 12回 | [redacted] | 研修資料･議事録 | 毎月の職員会議でヒヤリハット事例共有。 | リスクに関する研修を実施。ヒヤリハットの共有を行なった。 | 他職種で協議し、事例検討し改善することができた。 | ヒヤリハットの報告書を見直し報告件数を増やしていく。 |
| | | | 理念研修、人権研修、マナー研修、実践検討会（4コマまんが）、ロールプレイング | 毎月 | 12回 | [redacted] | 研修計画･議事録 | 年間を通して研修計画を立て実施中。 | 園内研修は職員会議を利用し行った。 | 研修を受けた人が他の職員に伝える形を取り学びが深まった。 | 多彩な人材を活用し、園内研修の充実を図っていく。 |
| | | 外部研修 | 区･都･東社協･民保協研修、各種養成校主催研修･研究会、キャリアアップ研修、子どもアートプラットホーム養成講座 | 通年 | 随時 | [redacted] | 研修計画･研修報告 | サブリーダーも取得中。取りやすい研修をアシスト。 | zoomと対面の研修を選び、職員の負担を軽減し参加した。 | 参加しやすい研修を選択することで、多くの学びを得た。 | 法人内の研修を含め計画を立てて研修参加を進める。 |
| | | | 実践発表（園内、養成校など） | 5月 | 1回 | [redacted] | 発表資料 | こども教育宝仙大学でのゲスト講師で実践発表。 | 大学のゲスト講師、法人内研修の発表等園内でも同様に実施。 | 実践発表のまとめと発信が保育の向上につながった。 | 実践発表を活かし、園内外の発表を通し学びとしていく。 |
| | | | ベトナム乳幼児施設との連携、イタリアパンタレイとの交流、海外研修 | 通年 | 随時 | [redacted] | 発信資料・記録 | ベトナムに2回渡航。種の会の乳幼児教育に努めている。 | ベトナム園、パンタレイとのとの交流は出来なかった。 | ベトナム園など海外との交流は予定通りできず残念だった。 | 日本の保育を発信しつつベトナム園との交流を図る。 |
| | | 法人内研修 | 久保ゼミ、ひらめき研、主任会（花園会）、新任研<br>乳児保育研修（藤森先生） | 通年 | 未定 | [redacted] | 研修報告、研究資料 | ZOOM利用で職員が参加できた。感染等で予定変更した。 | 対面とZOOMを活用し様々な研修に参加することが出来た。 | 対面の良さを感じた。それぞれの利点を今後も活用したい。 | 法人内研修の強みを活かして、次年度も研修参加していく。 |
| | | | ECQE受審、公開保育（ライジン） | 未定 | 未定 | [redacted] | 各記録 | ECEQ正式受審。実施記録、報告書提出済。 | 予定通りECEQ受審、公開保育実施済。 | ECEQの経験を活かし次年度の内容を検討中。 | 公開保育を活用、ECEQに向けて準備を進める。 |
| | 人財育成・人事評価 | ヘキサゴン　（スキルアップ支援プログラム） | スキルアップシート、ヘキサゴン | 4月･2月 | 2回 | [redacted] | スキルアップシート | 中間報告を記入済。 | 振り返りを記入中。 | 保育を振返り実践や環境の見直し、同僚性を高めた。 | スキルアップシートを有効活用し、主任中心に進めていく。 |
| | | 職員面談　（自己評価・他者評価） | 個人面談 | 6月･3月 | 2～3回 | [redacted] | 面談記録 | 5月に実施済み。 | 行事後の時間を活用し、面談を実施した。 | 年間の予定に組み込むとより取り組みやすい。 | 面談を活かし、自己評価と目標達成に役立てる。 |
| | | メンター・メンティ | 職員サポート体制 | 通年 | 随時 | [redacted] | 記録 | メンターメンティー以外にも随時声を掛けている。 | メンター交代により関係性を広げ、サポート体制を強化した。 | メンター以外の職員も新任を気に掛け、同僚性が高まった。 | 次年度新入職員でメンター制度を活用していく。 |
| | 法人外部評価 | 第三者評価や施設関係者評価（学校評価）の活用 | 第三者評価受審 | 未定 | 1回 | [redacted] | 受審表 | 受審、インターネットによる公開済。 | 主審済。東京福祉ナビゲーションで公表している。 | 運営、保育の振返りで自園の良い所、改善点を確認できた。 | 次回の第三者評価受審に向けて、自園の改善を進める。 |
| マネージメント | 財務 | 人件費率マネジメント | 職員適正配置、職員構成の工夫、非常勤雇用の見直し | 通年 | 随時 | [redacted] | 予算書･シフト表 | 入退職の状況確認。適正配置している。 | 入退職の状況を確認しつつ適正配置し職員構成の工夫をした。 | 適正配置を保ちつつ職員の連携を強化しチーム保育を行った。 | 人件費率を意識しつつ適材適所の配置を行う。 |
| | | 積立金確保 | 積立金目標達成 | 年度末 | 1回 | [redacted] | 決算報告書 | 今年度予定通り積み立て見込み。 | 予定通り積立て見込み。 | 予定通り積立て。 | 予定通り積み立てる。 |
| | | 適切な予算立てと予算執行 | 法人内監査、本部よる予算執行の確認 | 通年 | 毎月 | [redacted] | 稟議書･収支計算書 | 予算執行状況を毎月確認。物品購入等のため補正予定。 | 予算執行を毎月の確認。補正予算を組んで執行した。 | 予算執行の確認、補正予算を立てを行なえた。 | 本部と協力し予算執行を毎月確認していく。 |
| | 運営強化 | 人財定着化と個々の底上げ方法<br>（マネジメントブック種の活用など） | 各種業務内容の精査･改善、仕事環境の整備、処遇改善 | 通年 | 毎月 | [redacted] | 各会議録 | 優先事項の確認、役割分担等職員の協力体制を強化。 | 職員体制を考慮し優先事項を確認しつつ業務内容を調整した。 | 業務分担し、優先事項を確認することで業務軽減にもなった。 | 業務分担と優先事項の精査を行ない、軽減を実施していく。 |
| | | 情報とテクノロジーを活用した運営 | ICT化による情報発信、データ管理 | 通年 | 毎日 | [redacted] | ChildCareWebデータ<br>外付けハードディスク | CCWの継続運用。毎月データバックアップ保存中。 | CCWを活用しデータ入力と管理を行い毎月データ保存を実施。 | データによる情報共有、毎月のデータのバックアップできた。 | CCWの有効活用、データ管理を徹底して行っていく。 |
| | | 園の魅力を伝わらせるための広報・宣伝実践 | ホームページ公開、SNS配信、アート展開催、エントランス展示 | 通年、12月 | 毎月、1回 | [redacted] | ホームページ･SNS<br>開催案内･記録 | インスタグラムでは26000人からのアクセスを記録。 | 担当制で分業できた。ソニー受賞等宣伝効果となった。 | 後半、SNSの発信出来ないまたは遅くなることがあった。 | SNS等の有効活用、定期的な配信により情報発信に努める。 |
| | | 採用活動の強化 | 養成校教員との連携、インターネット情報への掲載 | 通年 | 随時 | [redacted] | 園日誌等 | 求人の案内、研究受入れ等の連携を実施。 | 就職相談会に参加、養成校と連携。学生アルバイトを雇用。 | 学生アルバイトが雇用につながった。 | 保育内容の発信から養成校での園理解を定着させていく。 |
| | | 制度の活用と改善（ロビー活動など） | こども園化へ向けて行政、議員等へのアプローチ強化 | 通年 | 随時 | [redacted] | 経営会議議事録 | 定期的に行政へのアプローチを継続している。 | 行政の担当部署へ定期的に連絡、対面でも進捗状況を確認。 | R6年度のこども園化へ向け行政と準備を進めている。 | R6年度のこども園化へ向け行政と準備を進めていく。 |

# 2022年度　なぎさ児童館　事業報告

| 分類 | 大項目 | 重点項目（全園） | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過（半年後） | 結果<br>（2月記入） | ふりかえり（2月記入） | 次年度の取り組み（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アカデミー（保育&教育の質の向上） | 理念に基づいた教育・保育 | 教育・保育方針<br>(同年齢の活動・異年齢の活動Wスタンダード) | 児童が主役となれる環境設定、活動時間・場所の保障、他児を認められる教育、高学年によるリーダーシップ力育成 | 運営会議 | １０回 | [redacted] | 運営会議議事録 | 予定通り実践している。9月以降は糧を毎日の打ち合わせ会議の中で読み合わせをしている。 | 糧を繰り返し読み合わせをしていく中で職員が児童を思う気持ちや信じる心、その他、保育環境を通して児童の居場所の保障を心掛けている。 | 児童主役を念頭に置きながら、多くの場面で一部を任せて児童主役の場面を作っていたにすぎなかった。 | 児童が自ら企画、運営から携われる機会をもてるような職員が意識改革をし、児童が主役になれる環境を目指す。 |
| | | | 乳幼児会議、学童運営会議 | 毎月 | 月各１回 | [redacted] | 乳幼児会議議事録<br>運営会議議事録 | 予定通り実践している。 | 毎月実施し、子育て支援員、午後から出勤する放課後児童支援員との情報共有を行った。 | 親子や児童の様子の共有、情報交換をすることにより、午前、午後での協力体制が確立した。 | 月目標を掲げたり、個々の日の目標を口にしたりして、保育に向かう気持ちを高める。 |
| | | 保育者の関係性向上（同僚性向上） | ①打ち合わせ会議②キラキラ（付箋）③場面記録④グループ討議 | 随時 | ①②毎日<br>③④随時 | [redacted] | 記録 | ①長期休み以外は毎日実施している。<br>②その日の振り返りにおいて話している。<br>③④実施できていない。 | ①は糧の読み合わせは習慣化し、輪番制で読んでいる。②は振り返りにて実施している。<br>③④は実施できなかった。 | ①②ともに休みの職員への周知が徹底できていない。③④は実施できなかった。 | ①②は継続して実施し、③④はどのようにすれば実施可能か検討して実施する。 |
| | | 保護者対応（保護者支援） | ①子育て支援事業②学童保育③個別懇談会④入会・進級説明会 | ①②随時<br>③学期④年に１回 | ①②随時<br>③３回④1回 | [redacted] | 記録 | 予定通り実践している。 | 継続して実施している。また、①②共に親子・児童の様子をホームページに掲載児童館の様子の見える化を図った。 | ③及び④の進級説明会の参加者が少ない。年に1～2度のことなので、日程なども考慮し参加を促す。 | 今まで実施していなかった土曜日や平日の午前中。また、指定期間以外での受け入れについても検討する。 |
| | 地域貢献 | 小学校・中学校・養成校など学校との連携 | 交流会（コーナー・小規模園・こども園・小学校・中学校） | 随時 | 随時 | [redacted] | 記録 | イベントや交流はコロナの影響で中止になった。 | 実施できなかった。 | 実施できなかった。 | コロナは5類に移行するので、各施設と連携を図りながら積極的に実施し、児童の体験、経験につなげていく。 |
| | | | ①トライやるウィーク②ワークキャンプ③小学校校長との情報交換 | 不定期 | ③のみ10回 | [redacted] | 記録 | ①コロナの影響で実施できず。<br>２５名の中学生を受け入れ、親子や学童・一般の子ども達と交流したり、制作準備や掃除などの業務も体験してもらった。<br>③定期開催ではなく、随時開催に変更して実施した。 | ③はコロナの関係で情報共有したい時にその都度小学校と行き来して確認し合った。<br>また、インフルエンザで学級閉鎖になったときには電話でのやり取りも行った。 | ③は月替わりに学童児童の人数を伝えに行くときに顔を合わせ、簡単な情報交換で済ませることでまかなえた。 | ①②③ともに継続して実施して行く。<br>③は校長に事情を説明し、館長と保育リーダーである[redacted]の２人で出席することを伝え、児童館の職員にスムーズに情報共有できるようにする。 |
| | | ボランティアプロジェクト<br>（対外、対内、両方とも含む） | ボランティア受け入れ | 7月・8月 | 随時 | [redacted] | 案内 | コロナの影響で実施できず。 | 実施できなかった。 | 実施できなかった。 | 養成校に連絡を入れて実施し、ボランティア期間終了後、アルバイトへつなげていく。 |
| | | | ①お手玉の会②けん玉の会 | 通年 | 月１回 | [redacted] | 案内 | コロナの影響で実施できず。 | 実施できなかった。 | 実施できなかった。 | けん玉の会の先生から令和5年度は再開の連絡があったが、お手玉の会は会として外部講師は難しい。 |
| | | 地域の子育て支援 | （館内）①すこやかクラブ②赤ちゃんサロン③ちびっこ広場 | ①5月～3月<br>②③8月以外 | 月4回 | [redacted] | 振り返り ①記録・振<br>②記録 | どのプログラムも年齢や季節に合わせたものを用意し、実施した。<br>②・③では外部講師を依頼して親子に楽しんでもらったり、悩みを相談してもらったりした。 | 継続して実施した。<br>ＨＰの掲載について①は入会受付時に、②③は2階の部屋の入り口付近と、名簿記入用紙に確認できるようにした。 | 午前中の親子はＨＰ掲載に関して、否定的な方はほとんど見られなかった。お子さんの様子を見ることで、お家で話をしたことを伝えてくださった。 | ①に関しては、児童館に遊びに来ている親子や地域の子育てサークルに出向いた折にＰＲして人数確保に努めた。 |
| | | | （館外）①子育てサークル②ふれあいまちづくり協議会 | ①学期毎②7月・8月 | ①3回②2回 | [redacted] | 記録 | ①依頼を受けて地域の子育てサークルに出向きふれあい遊びを行っている。<br>②はコロナの影響で交流できず。 | ①は子育てサークルの方から学期に1回の要望があり、灘の浜コーナーの泊コーナー長に引き継いだ。②は実施できなかった。 | ②は2月に脇の浜のふれまちから協力依頼があったが、時期、内容、場所、費用他詳細を決めて実行することで同意し、5年度の事業としてとらえていく。 | ①は継続して実施していく。<br>灘の浜地域とはコロナの影響でしばらく途絶えているので、5年度はＨＡＴ地域として共催を提案したい。 |
| | | | 居場所づくり事業、学習支援（脇浜・灘浜） | 4月～3月 | 週2回 | [redacted] | 案内・記録<br>補助金申請 | なぎさ小学校の子ども達を対象に毎週木曜日に実施してる。 | 継続して実施していく。 | 学習支援が必要な児童はいるが、多くの児童は自力で問題を解けるようになっている。一定の成果は上がったと思うが、参加者が学童児童のみなのが気になる。 | なぎさ児童館に登録している児童のみでの実施になり、5年度新たに小学校に募集要項を依頼する。 |
| | 委員会活動の強化 | 食育 | 畑にてサツマイモのツル植え、収穫 | 7月～１０月 | 年2～3回 | [redacted] | 計画案 | 予定通り土づくりから、イモのツル植え収穫まで実施した。 | 担当が児童を巻き込み土づくりから芋のツル植え、収穫に至った。 | 平日は児童館に帰ってくる時間が遅いこともあり、世話をするのが難しかった。 | 児童が企画できるように担当はサポートとして助言に徹する。 |
| | | | クッキング（収穫したサツマイモを利用） | 未定 | 年2～3回 | [redacted] | 記録 | クッキングの予定は立てている。 | 自分たちが育てて収穫したサツマイモを調理して味わった。 | 例年以上に児童のかかわりは多かったが、原田児童館の保育実践を知り、企画から児童に委ねたいと感じた。 | 4年生以上の児童だけ集めサツマイモを育てるかどうかという問いかけから行い、実践につなげる中で、責任感を持たせていく。 |
| | | 保育環境 | 飼育・栽培（生きもの・植物）・・・当番活動へ | 通年 | 随時 | [redacted] | 記録 | 花壇にパンジーやチューリップなどの花は植えたが、当番活動はできていない。 | 児童に声をかけて当番活動は実施できなかった。 | 児童が率先して飼育・栽培当番をしてもらえるような仕掛けと仕組みを考える | 飼育・栽培係を希望する児童を募り、担当を交えて考えていく。 |
| | | | 制作（手作り玩具、プレゼント、飾りなど）、廃材の活用 | 通年 | 月１回実施 | [redacted] | 計画と児童への紹介 | 自由制作ができるようにしているので、材料の準備はしたが、計画までは立てていない。 | 作品制作後の片付け、材料管理、道具管理など職員が介入しないと難しい。 | 片付け後に帰りの会が始まるので、こまごまと児童に厳しく叱っている。 | 遊んでいる場所によって片付けにかかる時間が違うので、それぞれの場所で使う時計（タイマー）を活用し、リーダー（児童）に一任する。 |
| | | | 室内遊具・玩具の安全チェックと個数確認、遊戯室・図書室の備品の充実 | 通年 | 随時 | [redacted] | 記録 | 安全チェックは意識して行っているが、個数等に関しては年度末に備品購入をしている。 | 玩具、おもちゃ、絵本などの点検し、廃棄、買い替えなどをこまめに行えてなかった。 | 友達とまた一人でも好きな遊びを見つけて、快適に過ごせるような環境作りが不十分だった。 | 意見箱にアンケートを取り、児童からの要望を受け、職員で検討後購入し環境を整える。 |
| | | エコ | 水道光熱費・消耗品の使用量を前年度比と比較（試算表から） | 随時 | 随時 | [redacted] | 振り返り | 振り返りはできていない。 | 普段から、水道光熱費に関しては職員に節電、節水の協力を伝えている。 | 午前中に子育て支援事業を実施しており、午前中にも水道光熱費がかかるが、特にエアコンは室温調整ができていなかった。 | こまめな室温調整をしていく。 |
| | | 危機管理 | ヒヤリハットの定期見直し・作成 | 9月・3月 | 年2回 | [redacted] | 記録・議事録 | 日常的にヒヤリハットの確認をして、危険なもの、箇所が見つかれば修繕、廃棄をし、改善している。 | 17:00に児童が帰宅した後、延長後、打ち合わせ会議前など細かなチェックを行っている。 | 継続している。 | 継続していき、気になる点があれば全員に周知し、緊早めに改善する。 |
| | | | 職員の健康診断（予防接種・定期健診・生活習慣病予防検診） | 5月<br>（はっとこども園） | 年1回 | [redacted] | 健診記録 | 例年通りはっとこども園で健康診断は実施した。 | 実施済み | 実施済み | はっとこども園と連絡を取りながら5月中に実施する。 |

| 分類 | 大項目 | 重点項目（全園） | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過（半年後） | 結果<br>（2月記入） | ふりかえり（2月記入） | 次年度の取り組み（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アカデミー（保育&教育の質の向上） | 委員会活動の強化 | 危機管理 | 避難訓練（火災・地震・津波・水消火訓練）、不審者対応 | 毎月 | 月１回実施 | [redacted] | 避難訓練<br>実施報告書 | 予定通り実践している。 | 地震・火災、津波、大雨などは施設で実施。不審者侵入、交通安全教室などは昌合警察の協力を得て実施。 | 子育て支援事業内や午後からの学童児童や一般来館児童で実施、また、不審者対策は昌合警察に依頼し職員対象に実施した。 | 継続していき、職員間での振り返りにもつなげていく。 |
| | LLを柱とした<br>保育実践と研鑽 | ラボ（実践＝学び）（研究＝ふりかえり）<br>スケール（評価） | ホームページの充実 | 毎週 | 週１回実施 | [redacted] | 職員による<br>ネットアップ | 午前は[redacted]午後からは[redacted]に加え2名職員を増やし、役割分担していっている。 | 職員育成を主眼に置き、掲載回数は減ったが、広報担当者から2名の職員へ掲載方法を伝授した。 | ＨＰを掲載できる職員が午前中1名、午後から3名になり、結果的には令和5年度は掲載にかかる時間の短縮、掲載回数増などにつながる。 | 児童館は午前中、子育て支援事業を行っているので、ＨＰ掲載は月に3回程度掲載を継続し、見える化を図る。 |
| | | | ＡＥＤ・アナフィラキシー対応・熱性けいれん | 未定<br>（なぎさ・はらだ） | 各１回 | [redacted] | 運営会議議事録 | 実施できていない。担当と相談して実施していく。 | 実施できなかった。 | 実施できなかった。 | なぎさGとして、消防署に依頼し、講師派遣を要請し、落ち着いた対応ができるように知識や知恵を身に付ける。 |
| | | ライブラリー（データベース・ファイリング） | 遊戯室、図書室の充実、コーナーの充実 | 通年 | 随時 | [redacted] | 打ち合わせ会議内での報告 | 月1回実施している運営会議内では話し合いをすることがあるが、大きく変わることはない。年度末に向けて充実させることになる。 | 玩具、おもちゃ、絵本などの点検し、廃棄、買い替えなどをこまめに行えてなかった。 | 友達とまた一人ででも好きな遊びを見つけて、快適に過ごせるような環境作りが不十分だった。 | 児童にアンケートを取る、要望を受けとめ、職員で検討後購入し環境を整える。 |
| アカデミー＆マネージメント | 研修の充実 | 内部研修 | ライジン、施設間交流 | 随時 | 年３回 | [redacted] | 振り返り | なぎさG内で交流を行っている。施設の規模から見て、今後は原田Gとの交流も進める。 | 岩屋コーナーの職員が稗田コーナーへヘルプに行くことが増えて交流を実施するのが難しくなった。 | 慌ただしさを理由に実施しなかった。他の施設を見る、話を聴く、感じ気づくことで、職員にとってメリットになるので、どうすればできるかということを考えたい。 | 外部講師と[redacted]顧問の施設視察や施設規模に合わせたリーダー職員の交流（１週間）を実施し、資質向上に努める。 |
| | | | 制作物作成（掲示板用、壁面用他） | 毎月 | 月１～２回 | [redacted] | 掲示 | 掲示板、壁面、空間に子ども達と職員が作成したもの掲示している。 | 季節によってテーマを決め、児童が創意工夫を凝らした作品ができた。 | 職員がテーマを決め児童は用意された材料を使って作成していた。 | 児童と相談する時間を設け、夏休み前までは職員主導で進め、以降は児童間でテーマを話し合える機会を持たせる。 |
| | | 外部研修 | 社協・青少年課の各種研修 | 随時 | 随時 | [redacted] | 研修報告 | 研修の案内を回覧し、希望者を募ったり、指名して受けてもらったりしている。 | 報告書を作成し、打ち合わせ会議、運営会議内で報告した。 | パート職員が多く、報告時に休んでいる職員に周知しにくい。 | 研修報告書にチェック表を添付し、期限を決めて周知徹底する。 |
| | | 法人内研修 | 児童館・コーナー等の保育環境・保育実践 | 通年 | 随時 | [redacted] | 研修報告 | 他施設へ交流を考えていたが、実施できていない。今後は交流を実施していく。 | 岩屋コーナーの職員が稗田コーナーへヘルプに行くことが増えて交流を実施するのが難しくなった。 | 慌ただしさを理由に実施しなかった。他の施設を見る、話を聴く、感じ気づくことで、職員にとってメリットになるので、どうすればできるかということを考えたい。 | 外部講師と[redacted]顧問の施設視察や施設規模に合わせたリーダー職員の交流（１週間）を実施し、資質向上に努める。 |
| | 人財育成<br>人事評価 | ヘキサゴン　（スキルアップ支援プログラム） | 目標チャレンジシートのチェック | 6月・11月・3月 | 年3回 | [redacted] | 記録 | 実施できていない。 | 館長との面談時に活用。自分の得手なもので他の職員に共有したり、児童と触れ合ったりする時間をもつように話した。 | 実際に児童との触れ合いを希望していても言葉に出して言われないとわからないが、チャレンジシート活用すると職員も話しやすそうだった。 | 初回の面談からチャレンジシートを活用して、職員が思いを伝えやすいように導いていく。 |
| | | | スキルアップ支援（ホームページ、折り紙、ゲームあそび） | 前期・後期 | 年2回 | [redacted] | 評価表 | 後期から採用した。保育技術面のみならず、子ども理解の面でも向上を目指す。 | 実施できなかった。 | 人にとってスキルアップしたいことが違い、職員に時間を宛がうことが難しい。 | どのようにすれば実施できるのか検討し、提案する。 |
| | | 職員面談　（自己評価・他者評価） | 館長・リーダーと面談 | 6月・11月・3月 | 年3回 | [redacted] | 面談記録 | 11月以降はスキルアップシートを活用して面談予定。 | 実施できなかった。<br>パート職員が勤務内で、苦手なもの・ことを克服する時間を活用するのは難しいと感じた。 | 得手、不得手、子ども達とどのようなかかわりをしたいなど自由記載の用紙を用意し、職員の思いを後押しするような話し合いにした。 | 職員一人ひとりが子ども達とともに、活き活きと生活できるように役割分担をする。 |
| マネージメント | 財務 | 人件費率マネジメント | 適正な職員配置 | 会計打ち込み時 | 月１回確認 | [redacted] | 会計データ | 翌月10日を目途に、会計の確認を心掛けている。職員に関しては、児童館という施設上、適正以上の職員を配置している。（人件費率は多くなると考えられる。） | 会計職員を配置することで、会計処理、事務業務がスムーズに進んでいる。 | 効率よく業務が進んでいる。 | 継続していく。 |
| | | 適切な予算立てと予算執行 | 財務会議 | 補正時期<br>年度末 | 2回 | [redacted] | 決算報告書 | 毎月、なぎさGの執行率を確認し、極端に突出しているものがないか確認している。 | 継続して行った。 | 極端に突出している項目については事務職員と近経確認している。 | 継続する。 |
| | 運営強化 | 人財定着化と個々の底上げ方法<br>（マネジメントブック糧の活用など） | コンセプトブック・マネジメントブック・糧を使った読み合わせ | 毎月 | １２回 | [redacted] | 会議議事録 | 予定通り実践している。9月以降は糧を毎日の打ち合わせ会議の中で読み合わせをしている。 | 継続して行った。 | 輪番でまわし、どうして選んだのかなと、選んだ理由も伝えあった。 | 土曜日、長期休み、代休など児童が午前中から来館するときは読み合わせができないが、平常時は継続して実施する。 |
| | | 情報とテクノロジーを活用した運営 | iPadの導入、ICT導入 | 随時 | 通年 | [redacted] | 情報共有<br>振り返り | 写真を撮ってHPに掲載したり、子ども達の入退室管理で活用し、非常に役立っている。 | 継続して活用している。 | ipadは、施設内だけの活用にとどまってしまったが、情報交換のツールとして使えるのか検討したい。 | 一度に6施設で実施するのではなく、なぎさGで実施してから原田Gで実施するという順序で行い、無理なく進めていく。 |
| | | 園の魅力を伝わらせるための広報・宣伝実践 | ホームページ活用 | 随時 | 随時 | [redacted] | 原則週１回の広報活動 | HPでは午前中の親子館事業、午後からの学童・一般来館者の活動などを週に1回以上掲載している。 | 職員育成を主眼に置き、掲載回数は減ったが、広報担当者から2名の職員へ掲載方法を伝授した。 | ＨＰを掲載できる職員が午前中1名、午後から3名になり、結果的には令和5年度は掲載にかかる時間の短縮、掲載回数増などにつながる。 | 児童館は午前中、子育て支援事業を行っているので、ＨＰ掲載は月に3回程度掲載を継続し、見える化を図る。 |
| | | 採用活動の強化 | ロコミ・地域児童課・ボランティア等連携大学、ハローワーク・タウンワークの利用 | 随時 | 随時 | [redacted] | 案内・面接 | 在職している職員からの情報を優先している。今後、採用者が多くなるとタウンワークなどを活用することも考えている。 | パート職員より身内（孫）が学童として入会してくるので、退職希望との相談があった。原田児童館へ異動の打診をした。 | 職員採用は知り合いの方を優先するが、難しければタウンワークに依頼する。 | 児童館、コーナーなどへの異動はあったが、退職いなかったので、タウンワークから1名、他施設の紹介で1名計2名入職。 |
| | | 制度の活用と改善（ロビー活動など） | ロビー活動の強化（こども青少年課・地域自治体・近隣児童館へのアプローチ） | 随時 | 随時 | [redacted] | 記録 | こども青少年課・地域自治体・近隣児童館へは必要な時には電話やメールを使って連絡を取っている。 | 継続して実施した。 | 連絡するときは、極力文字として残すことを基本として、メールでのやり取りを行った。 | なぎさG、原田GのW館長として、他の児童館との情報共有をしたり、会議、イベントごとにも積極的に出向き、協力体制を取っていく。 |

# 2022年度　岩屋学童保育コーナー　事業報告

| 分類 | 大項目 | 重点項目（全園） | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過（半年後） | 結果<br>（2月記入） | ふりかえり（2月記入） | 次年度の取り組み（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アカデミー（保育＆教育の質の向上） | 理念に基づいた<br>教育・保育 | **教育・保育方針<br>(同年齢の活動・異年齢の活動Wスタンダード)** | 児童が主役となれる環境設定、活動時間・場所の保障　他児を認められる教育　高学年によるリーダーシップ力育成 | 運営会議 | １０回 | [redacted] | 運営会議議事録 | 予定通り実施している。糧を活用して職員の意識改革、加えて、児童の姿や役割など話し合っている。 | 糧を繰り返し読み合わせをしていく中で職員が児童を思う気持ちや信じる心、その他、保育環境を通して児童の居場所の保障を心掛けている。 | 児童主役を念頭に置きながら、多くの場面で一部を任せて児童主役の場面を作っていたにすぎなかった。 | 児童が自ら企画、運営から携われる機会をもてるような職員が意識改革をし、児童が主役になれる環境を目指す。 |
| | | | 学童運営会議 | 毎月 | 週１回 | [redacted] | 運営会議議事録 | 予定通り実施している。 | 毎月実施し、情報共有を行った。 | 児童の様子、行事内容、研修内容の周知など行った。 | 月目標を掲げたり、個々の日の目標を口にしたりして、保育に向かう気持ちを高める。 |
| | | **保育者の関係性向上（同僚性向上）** | ①打ち合わせ会議　②場面記録　③グループ討議 | ①毎日<br>②③随時 | １０回 | [redacted] | 記録 | ①長期休み以外は14時から実施し、前日の振り返りや当日の保育について話している。<br>②③実施できていいない。 | ①は糧の読み合わせは習慣化し、輪番制で読んでいる。②③は全員が毎日のように顔を合わせるので情報共有できている。 | 10月以降小学校まで児童の迎えが無くなり、ほとんど毎日情報を共有できている。 | 継続して実施していく。 |
| | | **保護者対応（保護者支援）** | ①学童保育　②個別懇談会 | ①随時<br>②学期に１回 | ①随時<br>②３回 | [redacted] | 記録 | ①実施できている。<br>②小学校の個別懇談に合わせて実施している。 | 継続して実施している。また、児童の様子をホームページに掲載し、コーナーの様子の見える化を図った。 | ②の個別懇談会の参加者が少ない。年に1～2度のことなので、日程なども考慮し参加を促す。 | 今まで実施していなかった土曜日や平日の午前中。また、指定期間以外での受け入れについても検討する。 |
| | 地域貢献 | **小学校・養成校など学校との連携** | 交流会（コーナー・小規模園・こども園・小学校・中学校） | 随時 | 随時 | [redacted] | 記録 | 小学校・中学校との交流は実施できていないが同法人の施設とはコロナの状況下であっても調整をしながら実施できた。 | 実施できなかった。 | 実施できなかった。 | コロナは5類に移行するので、各施設と連携を図りながら積極的に実施し、児童の体験、経験につなげていく。 |
| | | | トライやるウィーク・ワークキャンプ・小学校校長との情報交換会 | 不定期 | ６回 | [redacted] | 記録 | コロナの影響があり実施できなかった。 | 実施できなかった。 | 実施できなかった。 | 灘の浜小学校長にコーナー長が泊（灘の浜コーナー長が兼務）することを伝え、今後もより一層の協力体制で臨むことを伝える。 |
| | | **ボランティアプロジェクト<br>（対外、対内、両方とも含む）** | ボランティア受け入れ | ７・８月 | 随時 | [redacted] | 案内 | ボランティアの希望者がいなかった。いたとしても状況で受けられてなかったことも考えられる。 | 実施できなかった。 | 実施できなかった。 | 養成校に連絡を入れを実施し、ボランティア期間終了後、アルバイトへつなげていく。 |
| | | | けん玉の会 | 通年 | 月１回 | [redacted] | 案内 | 外部講師が依頼できなくなり、実施できていない。後期は他施設の職員に依頼予定。 | 実施できなかった。 | 実施できなかった。 | けん玉遊びとして実施していき、夏休みにオプションとして講師依頼を検討する。 |
| | 委員会活動の強化 | **食育** | クッキング | 毎月 | 月１～２回 | [redacted] | 計画案 | コロナの影響を受け実施していない。 | 実施できなかった。 | 実施できなかった。 | 時期を見ながら、児童とともに身近な食材を用いて実施していく。 |
| | | **保育環境** | 飼育・栽培（生きもの・植物）・・・当番活動へ | 通年 | 随時 | [redacted] | 記録 | 金魚やメダカなどの生き物の餌やりなどで当番活動を行っている。 | 児童に声をかけて希望する児童に当番を任せ、子ども達自身で日程を話し合い実施した。 | 継続して実施した。 | 飼育・栽培係を希望する児童を募り、担当を交えて進める。 |
| | | | 制作（手作り玩具・プレゼント・飾りなど）、廃材の活用 | 通年 | 月１回実施 | [redacted] | 計画と児童への紹介 | 自由制作ができるようにしているので、材料の準備はしたが、計画までは立てていない。 | 作品制作後の片付け、材料管理、道具管理など職員が介入しないと難しい。 | 片付け後に帰りの会が始まるので、こまごまと児童に声をかけている姿が見られた。 | 子ども達自身が状況を判断し、自分たちで話し合い決定していく。 |
| | | | 室内遊具・玩具の安全チェックと個数確認、図書コーナーの充実 | 通年 | 随時 | [redacted] | 記録 | 子ども達の遊びの様子を見ながら、必要な遊具やコミック本、図鑑を検討する。 | 10月から子育て支援事業を実施したので、親子向けの遊具、絵本なども購入した。 | 保護者からも要望を受け止とめ、自宅で使っているようなものも購入した。 | 子育て支援事業を週に2日目から4日間に増やすので、必要なものを検討し充実を図る。 |
| | | **エコ** | 節電・節水・消耗品の活用方法の検討 | 随時 | 随時 | [redacted] | 振り返り | 振り返りはできていない。 | 普段から、水道光熱費に関しては職員に節電、節水の協力を伝えている。 | 10月から午前中に子育て支援事業を始めた。午前中にも水道光熱費がかかるが、特にエアコンは室温調整ができていなかった。 | こまめな室温調整をしていく。 |
| | | **危機管理** | ヒヤリハットの定期見直し、作成 | ９・３月 | 年２回 | [redacted] | 記録・議事録 | 日常的にヒヤリハットの確認をしている。 | 延長後、打ち合わせ会議前など細かなチェックを行っている。 | 継続している。 | 継続していき、気になる点は全員に周知し、早めに改善する。 |
| | | | 職員の健康診断（予防接種・定期健診・生活習慣病予防検診） | 5月<br>（はっとこども園） | 年1回 | [redacted] | 健診記録 | 例年通りはっとこども園で健康診断は実施している。 | 実施済み | 実施済み | はっとこども園と連絡を取りながら5月中に実施する。 |
| | | | 避難訓練（火災・地震・津波・消火訓練）不審者対策訓練 | 月１回 | ①月１回実施 | [redacted] | ①避難訓練実施報告書 | 火災、地震、不審者対策（職員対象）津波（なぎさと合同）の訓練を実施している。 | 地震・火災、津波、大雨などは施設で実施。不審者侵入、交通安全教室などは昼合警察の協力を得て実施。 | 学童児童対象だが不審者対策は灘警察に依頼して職員対象で実施した。 | 継続する。職員間での振り返りにもつなげる。 |
| | LLを柱とした<br>保育実践と研鑽 | **ラボ（実践＝学び）（研究＝ふりかえり）<br>スケール（評価）** | ホームページの活用 | 月２～３回 | 月１回実施 | [redacted] | 職員による<br>ネットアップ | 10月下旬から午前中に子育て支援事業を実施し始めて、掲載回数を増やした。 | 職員育成を主眼に置き、10月から実施した親子館事業を中心に2名の職員で週に1日も目標に掲載した。 | 継続している。 | コーナーの児童の様子も掲載も増やしていくようにする。 |
| | | | ＡＥＤ・アナフィラキシー対応・熱性けいれん | なぎさG | １回 | [redacted] | 運営会議議事録 | 実施できていない。担当と相談して日程を決めていく。 | 実施できなかった。 | 実施できなかった。 | なぎさGとして、消防署に依頼し、講師派遣を要請し 落ち着いた対応ができるように知識や知恵を身に付ける。 |
| | | **ライブラリー（データベース・ファイリング）** | 保育室・図書コーナーの充実 | 通年 | 随時 | [redacted] | 打ち合わせ会議内での報告 | おもちゃ、コミック本については子ども達からの要望も取り入れ検討している。 | 玩具、おもちゃ、絵本などの点検し、廃棄、買い替えなどをこまめに行えてなかった。 | 友達とまた一人ででも好きな遊びを見つけて、快適に過ごせるような環境作りが不十分だった。 | 児童に意見箱でアンケートを取り、要望を受けとめ、職員で検討後購入し環境を整える。 |
| アカデミー＆マネージメント | 研修の充実 | **内部研修** | ライジン　施設間交流 | 6月・11月・3月 | 年３回 | [redacted] | 振り返り | ヘルプも含めて、積極的に他施設との交流をしている。 | 岩屋コーナーの職員が稗田コーナーへヘルプに行くことが増えて交流を実施するのが難しくなった。 | 慌ただしさを理由に実施できなかった。他の施設を見る、話を聴く、感じ気づくことで、職員にとってメリットになるので、どうすればできるかということを考えたい。 | 外部講師と[redacted]顧問の施設視察や施設規模に合わせたリーダー職員の交流（1週間）を実施し、資質向上に努める。 |
| | | | 制作物作成（掲示板用・壁面用他） | 毎月 | 月１～２回 | [redacted] | 掲示 | 子ども達が制作したものを貼れる場所を用意し、美術館として他児に診てもらえるような仕掛けをした。 | 季節によってテーマを決め、児童が創意工夫を凝らした作品ができた。 | 職員がテーマを決め児童は用意された材料を使って作成していた。 | 児童と相談する時間を設け、夏休み前までは職員主導で進め、以降は児童間でテーマを話し合える機会を持たせる。 |
| | | **外部研修** | 社協・青少年課の各種研修 | 随時 | 随時 | [redacted] | 研修報告 | 研修の案内を回覧し、希望者を募ったり、指名して受けてもらったりしている。 | 報告書を作成し、打ち合わせ会議、運営会議内で報告した。 | 殆どの職員が出勤しており、周知しやすい環境にある。 | 研修報告書にチェック表を添付し、期限を決めて周知徹底する。 |

| 分類 | 大項目 | 重点項目（全園） | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過（半年後） | 結果<br>（2月記入） | ふりかえり（2月記入） | 次年度の取り組み（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アカデミー&マネージメント | 研修の充実 | 法人内研修 | 児童館・コーナー等の保育環境・保育実践 | 通年 | 随時 | [redacted] | 研修報告 | 他施設へは行けているが、施設の規模的なもので、大きな変更は難しい。 | 岩屋コーナーの職員が稗田コーナーへヘルプに行くことが増えて交流を実施するのが難しくなった。 | 他の施設を見る、話を聴く、感じ気づくことで、職員にとってメリットになるので、即実行する。。 | 外部講師と[redacted]顧問の施設視察や施設規模に合わせたリーダー職員の交流（1週間）を実施し、資質向上に努める。 |
| | 人財育成・人事評価 | ヘキサゴン　（スキルアップ支援プログラム） | 目標チャレンジシートのチェック | 6月・11月・3月 | 年3回 | [redacted] | 記録 | 実施できていない。 | 館長との面談時に活用。自分の得手なもので他の職員に共有したり、児童と触れ合う時間をもつように話した。 | チャレンジシートを活用して面談することで、具体的に児童との触れ合いチャレンジシート活用すると職員も話しやすそうだった。 | 初回の面談からチャレンジシートを活用して、職員が思いを伝えやすいようにする。 |
| | | | スキルアップ支援（ホームページ・折り紙・ゲームあそび） | 前期・後期 | 年2回 | [redacted] | 評価表 | 後期から採用した。保育技術面のみならず、こども理解の面でも向上を目指す。 | 実施できなかった。 | 人にとってスキルアップしたいことが違い、職員に時間を宛がうことが難しい。 | どのようにすれば実施できるのか検討し、提案する。 |
| | | 職員面談　（自己評価・他者評価） | 館長と面談 | ６月・11月・３月 | 年3回 | [redacted] | 面談記録 | 11月以降はスキルアップシートを活用して面談予定。 | 実施できなかった。<br>パート職員が勤務内で、苦手なもの・ことを克服する時間を活用するのは難しいと感じた。 | 得手、不得手、子ども達とどのようなかかわりをしたいなど自由記載の用紙を用意し、職員の思いを後押しするような話し合いにした。 | 職員一人ひとりが子ども達とともに、活き活きと生活できるように役割分担をする。 |
| マネージメント | 財務 | 人件費率マネジメント | 適正な職員配置 | 会計打ち込み時 | 月１回確認 | [redacted] | 会計データ | 親館のなぎさで一緒に確認をしている。 | 会計職員を配置することで、会計処理、事務業務がスムーズに進んでいる。 | 効率よく業務が進んでいる。 | 継続していく |
| | | 適切な予算立てと予算執行 | 財務会議 | 補正時期・年度末 | 2回 | [redacted] | 決算報告書 | 毎月、執行率を確認し、極端に突出しているものがないか確認している。 | 継続して行った。 | 極端に突出している項目については事務職員と確認している。 | 継続する。 |
| | 運営強化 | 人財定着化と個々の底上げ方法（マネジメントブック糧の活用など） | コンセプトブック・マネジメントブック・糧を使った読み合わせ | 毎月 | １２回 | [redacted] | 会議議事録 | 予定通り実践している。糧を毎日の打ち合わせ会議の中で読み合わせをしている。 | 継続して行った。 | 輪番でまわし、どうして選んだのかなど、選んだ理由も伝えあった。 | 土曜日、長期休み、代休など児童が午前中から来館するときは読み合わせができないが、平常時は継続して実施する。 |
| | | 情報とテクノロジーを活用した運営 | iPadの導入・ＩＣＴ導入 | 随時 | 通年 | [redacted] | 情報共有<br>振り返り | 写真を撮ってHPに掲載したり、児童の入退室管理で活用し、非常に役立っている。 | 継続して活用している。 | ipadは、施設内だけの活用にとどまってしまったが、情報交換のツールとして使えるのか検討したい。 | 一度に6施設で実施するのではなく、なぎさGで実施してから原田Gで実施するという順序で行い、無理なく進めていく。 |
| | | 園の魅力を伝わらせるための広報・宣伝実践 | ホームページの活用 | 随時 | 随時 | [redacted] | 原則月１回の広報活動 | HPでは午前中の親子館事業、午後からの学童・一般来館者の活動などを週に1回以上掲載している。 | 10月から午前中に週2回子育て支援事業を実施し、掲載回数を増やした。 | 継続している。 | 10月から午前中、子育て支援事業を行っているので、ＨＰ掲載は週に1回程度掲載を継続し、見える化を図る。 |
| | | 採用活動の強化 | 地域児童課訪問・ボランティア等連携大学へのはたらきかけ | 随時 | 随時 | [redacted] | 案内・面接 | 親館のなぎさで地域児童課等と連携を取っているが、岩屋では特に行っていない。 | 学生も含めて全員継続希望を申し出た。 | 必要になれば、職員採用は知り合いの方を優先するが、難しければタウンワークに依頼する。 | 特になし。 |
| | | 制度の活用と改善（ロビー活動など） | ロビー活動の強化（こども青少年課・地域自治体・近隣児童館へのアプローチ） | 随時 | 随時 | [redacted] | 案内・記録 | 親館のなぎさとの間では連絡を取り合っている。 | 継続して実施した。 | 各所へ連絡するときは、極力文字として残すことを基本として、メールでのやり取りを行った。 | なぎさG、原田GのW館長として、他の児童館との情報共有をしたり、会議、イベントごとにも積極的に参加し、協力体制を取る。 |

# 2022年度　灘の浜学童保育コーナー　事業報告

| 分類 | 大項目 | 重点項目（全園） | 実施項目（各園） | 時期・場所 | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過（半年後） | 結果<br>（2月記入） | ふりかえり（2月記入） | 次年度の取り組み（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アカデミー（保育＆教育の質の向上） | 理念に基づいた教育・保育 | 教育・保育方針<br>(同年齢の活動・異年齢の活動Wスタンダード) | 児童が主役となれる環境設定、活動時間・場所の保障　他児を認められる教育　高学年によるリーダーシップ力育成 | 随時・長期休み初日 | 随時 | [redacted] | 記録 | 誰がどこにいるか分かるボード（だれどこボード）を設置。外遊びに行く際の片付け確認をこども同士で行えている。 | 誰どこボードを設置した事でだれがどこで何をしたか見える化できた。今後も継続する。 | 年度の途中で出た課題に対して職員間で意見を出し合い、環境構成ができた。 | こどもの意見を取り入れる機会（月１回程度）を設ける。 |
| | | | 職員役割別委員会の設置 | 毎月 | 最低１０回 | [redacted] | 議事録<br>申送りノート | 各職員が役割を理解し、行動できている。 | 各委員会で振り返りとルーティンを書き出し、来年度に向けてアップデートできた。 | 毎月の会議で発言してもらい、職員の役割意識を高めることができた。 | 社保加入職員により役割を与え、無駄のない職員配置を実現する。 |
| | | 保育者の関係性向上（同僚性向上） | 場面記録、グループ討議 | 毎月 | 最低１０回 | [redacted] | 記録 | 実施できていない。11月より毎月１回４５分で実施する。 | 12月、1月が実施できなかった。今後はシフト作成時に実施日を明記する。 | 実施することで保育の振り返りや灘の浜としての保育の方向性を意識共有できた。 | 今年度同様にエピソード会議を通してこどもとの関わり方の方向性を模索。職員の疑問に全員で意見を出し合う空気感を意識する。 |
| | | 保護者対応（保護者支援） | ①個別懇談会②保護者説明会 | ①6月、12月<br>②2月～3月 | ①年2回<br>②年2回<br>（継続、新規） | [redacted] | 記録 | ①1回目実施。2回目は今後実施予定。<br>②今後実施予定。 | 懇談会は2回実施できた。来年度も同様に実施。<br>3/4、11に新規・継続説明会を実施予定。 | 来年度も同じ回数でよい。 | 施設長だけでなくリーダークラス職員にも保護者面談など関わる機会を設ける。 |
| | 地域貢献 | 小学校・養成校など学校との連携 | 交流会（コーナー・小規模園・こども園・小学校・中学校） | 随時 | 随時 | [redacted] | 記録 | なぎさ児童館夏祭りに参加。土曜日はっとこども園との合同保育の実施。 | クリスマス会でもはっと職員にサンタ役をしてもらい反対にはっとのサンタを泊が担当。交流を継続している事で浸透して来ている。 | 小学校教員とは随時交流ができている。地域とのかかわりの機会を増やしたい。 | 情報交換など必要な際は、後回しにせずに即座に互いの施設間を行き来し対応していく。 |
| | | | 校長との情報交換会 | 毎月 | 12回 | [redacted] | 記録 | 毎月は実施できていないが、随時必要な情報交換は実施している。各学年担任共、随時情報共有をしている。 | 途中経過と同様。 | 今年度同様随時実施する。 | 都度、情報交換していく。 |
| | | ボランティアプロジェクト<br>（対外、対内、両方とも含む） | ボランティア受け入れ | 随時 | 随時 | [redacted] | 案内 | 実績なし。 | 実績なし。 | 実績なし。 | 実績なし。 |
| | | | 市民図書ボランティアとの関係構築 | 長期休業日 | 6～8回 | [redacted] | 写真 | 保護者懇談の際に貸し出ししてもらった。今後の交流について協議途中。 | 長期休みの際に、コーナー職員の休憩室として借りられないか協議中。 | 意見交換の機会を持ち、情報交換する。 | 保護者面談などの際に市民図書室を利用させてもらっていく。クラブハウスも同様。 |
| | | 地域の子育て支援 | （館外）子育てサークル | 学期毎 | 3回 | [redacted] | 記録 | 12月に実施予定。 | 12月と2月に実施。0～2歳の親子を対象に泊が親子遊びえを実施。 | 今年度同様学期ごとに参加する。 | ばんだっこクラブに年間2～3回伺い、親子遊びを実施する。 |
| | | | 居場所づくり事業　　学習支援（脇浜・灘浜） | 4月～3月 | 週2回 | [redacted] | 案内・記録<br>補助金申請 | 特になし | 実績なし。 | 実績なし。 | 実績なし。 |
| | 委員会活動の強化 | 校庭あそび | 道具を使う活動（縄跳び・フープ・ボールなど） | 通年 | 随時 | [redacted] | 振り返り | 常時実施。 | コロナ包括費で外遊びおもちゃを購入し、遊びの幅が広がった。 | 外遊び充実のために随時必要なものを購入する。 | 来年度も包括経費を元に外遊びの玩具を都度購入していく。 |
| | | | 道具を使わない活動（鬼ごっこ・かくれんぼなど） | 通年 | 随時 | [redacted] | 振り返り | 鬼ごっこ用にゴムバンドを購入。毎日実施。 | 特になし | 全体で鬼ごっこなど全員遊びを実施。 | 研修などで学んだ遊びを積極的に実施する。 |
| | | 保育環境 | 飼育・栽培（生きもの・植物）・・・当番活動へ | 通年 | 随時 | [redacted] | 写真 | 8月～10月上旬までトカゲを飼育。 | 10月以降実績なし。 | 職員間で何が飼育可能か検討し、6月ごろから飼育を開始したい。 | 夏休み前に飼育を開始したい。何を飼うかは未定。 |
| | | | 制作（手作り玩具・プレゼント・飾りなど）、廃材の活用 | 通年 | 月１回実施 | [redacted] | 写真 | 毎月、職員が輪番で実施。廃材工作の日（クラフトタイム）として毎月週2回（月・水、火・木）で実施。 | 途中経過と同様。 | 来年度も毎月実施。 | 毎月実施する。 |
| | | | 室内遊具・玩具の安全チェックと個数確認、遊戯室・図書室の備品の充実 | 通年 | 随時 | [redacted] | 写真 | 机消毒の際に確認、点検を実施。 | アルコール消毒から次亜塩素酸水（クリーンリフレ）に移行。 | クリーンリフレで実施する。 | 毎月チェックを実施。 |
| | | エコ | 節電・節水、消耗品の使用方法の検討 | 随時 | 随時 | [redacted] | 振り返り | 戸締りチェック表にて毎日確認。 | 途中経過と同様。 | 途中経過と同様。 | 戸締りチェック表を活用。 |
| | | 危機管理 | ヒヤリハットの作成、定期見直し | 毎月 | 11回 | [redacted] | 記録<br>議事録 | 毎日のミーティングで情報共有。職員周知を図る。 | 途中経過と同様。 | 途中経過と同様。 | 申し送りノートや日々のミーティングで職員間共有する。 |
| | | | 職員の健康診断（予防接種・定期健診・生活習慣病予防検診） | 5月（はっとこども園） | 年1回 | [redacted] | 健診記録 | はっとこども園と合同で実施。 | 途中経過と同様。 | 来年度も5月にはっとこども園と合同で実施。 | 5月にはっとこども園にて実施。<br>11月頃にインフルエンザ予防接種を実施。 |
| | | | 避難訓練（火災・地震・津波・消火訓練）不審者対策訓練 | 月１回 | ①月１回実施 | [redacted] | 避難訓練実施報告書 | 実施できていない。 | 1月、2月に実施。地震を想定し小学校体育館まで避難し経路確認をおこなう。 | 令和5年度は毎月実施。防災委員会も設立し年間計画を立て実施する。 | 毎月実施。グーグルドキュメントで実施後１週間以内に振り返りを書き込む。 |
| | LLを柱とした保育実践と研鑽 | ラボ（実践＝学び）（研究＝ふりかえり）<br>スケール（評価） | リーダー会議 | 月1回 | 11回 | [redacted] | 議事録 | 毎月実施。 | 途中経過と同様。 | 途中経過と同様。 | 6施設共通の話題を随時、議題に取り上げ検討、決定。各施設に落とし込む。 |
| | | | ＡＥＤ・アナフィラキシー対応・熱性けいれん | 6月・12月 | 2回 | [redacted] | 記録 | 実施できていない。 | 実施できていない。 | なぎさGで年度2回実施を計画する。 | 7月と10月に実施で調整する。 |
| | | ライブラリー（データベース・ファイリング） | HP・iPad・共有フォルダの活用 | 随時 | 随時 | [redacted] | 記録<br>申送りノート | 毎月更新。共有フォルダも随時活用。 | 毎月の更新ができていない。 | 広報委員会を設立し、担当職員が毎月更新する。 | HPは担当職員を配置し、月2回更新。10月から毎週更新を目指す。 |

| 分類 | 大項目 | 重点項目（全園） | 実施項目（各園） | 時期・場所 | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過（半年後） | 結果<br>（2月記入） | ふりかえり（2月記入） | 次年度の取り組み（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アカデミー＆マネージメント | 研修の充実 | 内部研修 | 理念研修 | 4月・10月 | 年2回 | ■ | 振り返り | 2回目が実施できていない。 | 途中経過と同様。 | 実施方法は検討中だが、年度内で2回実施予定 | 9月に実施予定。年度で1回。講師は会長と児童館相談役。 |
| | | | 制作物作成（掲示板用・壁面用他） | 毎月 | 月1回 | [redacted] | 掲示 | 担当を決めて実施。 | 途中経過と同様。 | 今年度同様、委員会職員を中心に毎月実施する。 | 担当職員を2人⇒3人に増やし個人負担を軽減して実施する。 |
| | | 外部研修 | 社協・青少年課の各種研修及びその他研修 | 随時 | 随時 | [redacted] | 研修報告 | 随時参加。 | 随時参加。 | 随時参加する。 | 随時参加する。 |
| | | 法人内研修 | 計画に基づき参加 | 随時 | 随時 | ■ | 振り返り・記録 | 花園会研修参加。 | 途中経過と同様。 | 計画に基づき参加。 | 計画に基づき参加。 |
| | 人財育成・人事評価 | スキルアップ支援プログラム | スキルアップ支援（パソコン・制作・ゲームあそび） | 随時 | 随時 | ■ | 振り返り | 職員間で教え合い、学生職員からPC操作方法をレクチャーしてもらう。 | ロケーションシステム構築。学生職員からのレクチャーを実施。 | 研修や職員間レクチャーを通してスキルアップを目指す。 | 個人目標シートを書いてもらう。それを元に年間3回、職員面談を実施する。 |
| | | 職員面談　（自己評価・他者評価） | コーナー長と面談 | 6月・12月・2月 | 年3回 | [redacted] | 面談記録 | 6月、11月で実施。 | 途中経過と同様。 | 他者評価の実施方法を要検討する | 個人目標シートを書いてもらう。それを元に年間3回、職員面談を実施する。 |
| | | メンター・メンティ | | | | | | 年度途中より実施。 | 途中経過と同様。 | 今年度同様。 | |
| マネージメント | 財務 | 人件費率マネジメント | 適正な職員配置 | 会計打ち込み時 | 月1回確認 | [redacted] | 会計データ | 実施できている。 | 実施できている。 | 今年度同様、適正配置を心がける。 | 今年度同様、適正配置を心がける。 |
| | | 適切な予算立てと予算執行 | 財務会議 | 補正時期・年度末 | 2回 | [redacted] | 決算報告書 | 毎月、執行率を確認し、極端に突出しているものがないか確認している。 | 途中経過と同様。 | 途中経過と同様。 | 事務員と都度相談し、適切な執行を心掛ける。 |
| | 運営強化 | 人財定着化と個々の底上げ方法（マネジメントブック糧の活用など） | コンセプトブック・マネジメントブック・糧を使った読み合わせ | 毎月 | １２回 | [redacted] | 会議議事録 | 毎月はできていない。11月より実施。 | 11月より職員会議の際に、毎月実施できている。 | 毎月糧の読み合わせとドキュメンテーションの実施。 | 職員の不安や不満を放置しない。個々に役割を与え「やりがい」を感じられる状況を作り出す。 |
| | | 情報とテクノロジーを活用した運営 | iPadの追加導入及びこどもの活用 | 上半期 | 随時 | ■ | 記録 | 行事に活用。ミマモルメに活用。日々の記録写真撮影に活用。 | クリスマス会ダンスやギター練習の際に使用。こどもの遊びに使用できている。 | iPadの有効活用。及び実践方法の検討。 | 第一にペーパーレスを意識する。IPadやホワイトボードを使い、ペーパーレス化を目指す。 |
| | | 園の魅力を伝わらせるための広報・宣伝実践 | HPの活用 | 月1回 | 最低12回 | [redacted] | UP記事 | 毎月アップ済み。 | 毎月の更新ができていない。 | 広報委員会を設立し、担当職員が毎週保育内容を発信する。 | 広報委員会を設立し、担当職員が毎週保育内容を発信する。 |
| | | 採用活動の強化 | HPの活用 | 随時 | 随時 | [redacted] | 記録 | 3件問い合わせあり。随時面接を実施。 | 1月~2月にかけてタウンワークにて採用強化。 | 必要に応じて採用活動を実施する。 | 必要に応じて採用活動を実施する。 |

# 2022年度　原田児童館　事業報告

| 分類 | 大項目 | 重点項目（全園） | 実施項目（各園） | 時期・場所 | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過（半年後） | 結果（2月記入） | ふりかえり（2月記入） | 次年度の取り組み（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アカデミー（保育&教育の質の向上） | 理念に基づいた教育・保育 | 教育・保育方針（同年齢の活動・異年齢の活動Wスタンダード） | 児童が主役となる環境設定、活動時間・場所の保障、他児を認められる教育、高学年のリーダーシップ力 | 運営会議 | 月１回 | [redacted] | 運営会議議事録 | 継続して実施している。 | 今年度後半より定着してきた。 | 終わりの会の充実、プログラムのもち方 | 子ども中心の進め方の学び |
| | | | 乳幼児会議、子育て会議、学童運営会議 | 毎月 | 月各１回 | [redacted] | 各議事録 | 毎月実施している。 | 職員の役割の明確化 | 担当者で親子間事業の目的、共有 | 1年の計画、目的、役割の明確化 |
| | | 保育者の関係性向上（同僚性向上） | グループ会議、子ども会議、ズーム会議、打ち合わせ会議、キラキラシート回覧 | 随時 | 随時 | [redacted] | 記録 | 記録し、話し合う場を設ける。 | 内容の検討が出来なかった。 | 問題意識ができてなかった。 | 異なる1つ2つの仕事に対する考え |
| | | 保護者対応（保護者支援） | 子育て支援事業、学童保育、個別懇談会、子育て相談事業、 | 随時・学期に１回 | 随時 | [redacted] | 記録 | 実施している。 | 学童に対する意識大きい。 | 子どものいうことをすべて認めている。 | 子どもの姿を話していく。 |
| | 地域貢献 | 小学校・養成校など学校との連携 | 交流会（コーナー、小規模、こども園、小学校、中学校） | 随時 | 随時 | [redacted] | 記録 | 実施している。 | 中学年が中心になる。 | コロナ禍の中少ない回数あるが工夫して実施 | どんどん参加して実践、情報収集 |
| | | | トライアルウイーク、ワークキャンプ | 不定期 | 未定 | [redacted] | 記録 | 中止となった。 | 実施できた。 | トライやる発表会にて発表を聞くことができた。 | 積極的に実施 |
| | | ボランティアプロジェクト（対外、対内、両方とも含む） | ボランティア受け入れ | 7月・8月 | 随時 | [redacted] | 記録 | 積極的に実施している。 | 多くのボランティアをお願いすることができた。 | 多くの体験ができた。 | 同じように取り入れたい。 |
| | | | 折り紙教室、お話の会、けん玉の会、工作を楽しむ会 | 通年 | 月１回 | [redacted] | 案内・記録 | 定期的に実施している。 | 全て取り入れることができた。 | 職員が定期的に取り組めた。 | 継続する。 |
| | | 地域の子育て支援 | （館内）すこやかクラブ、赤ちゃんサロン、ちびっこ広場、おひさま広場 | 6月～3月 | 月４回 | [redacted] | 記録・振り返り | 担当者を決め実施している。 | 順調に上り坂 | 工夫して取り組みしたのがよかった。 | 次年度も工夫を続け、取り組む。 |
| | | | （館外）子育てコミュニティ、ベビーキャラバン、子育てサークル | 年間計画・学期に１回 | 3回 | [redacted] | 記録 | 全て実施し、継続している。 | 目的、回数、内容が明確化 | 保護者へのアプローチの方法を今後も要検討 | 内容の充実、研修 |
| | | | 居場所づくり、学習支援 | 通年 | 随時 | [redacted] | 案内・記録<br>補助金申請 | 積極的に必要に合わせて実施している。 | 求める子どもに合わせ対応する。 | 自由来館を積極的に声がけ | 広報を意識する。 |
| | 委員会活動の強化 | 食育 | 子どもと行う畑での植栽・世話（季節の花・野菜） | 通年 | 年2～3回 | [redacted] | 計画案 | 夏野菜や芋の収穫を行なった。 | 手作りおやつに進展 | 担当者を選出し、責任をもって担当する。 | 2年の計画参考にする。 |
| | | | クッキング（季節にあったおやつ作り、収穫した野菜を料理する） | 年数回 | 年2～3回 | [redacted] | 記録 | カレーパーティや収穫祭を実施した。 | 子どもの参加が増え、充実してきた。 | 積極的に継続して取り組む。 | 継続する。 |
| | | 保育環境 | 飼育・栽培（生き物、植物など）・・・全員から当番活動へ<br>制作（手作り玩具・プレゼント・掲示板・壁面など協力して作る）<br>廃材の活用<br>室内遊具・玩具の安全チェック、整理、遊具の備品充実 | 通年 | 随時 | [redacted] | 記録 | 流れをつかみ、子ども中心に実施している。 | 充実した活動になっている。 | 職員に周知 | 子ども中心でできる活動をする。 |
| | | エコ | 水道光熱費・消耗品費の使用量を前年度と比較 | 通年 | 随時 | [redacted] | 振り返り | 物価が上昇している。<br>コロナ補助金の申請を予定。 | 毎月の請求書の照合　ミーティングにて報告 | 無駄を少なくする努力をする。 | 節約する方向へ考える。 |
| | | 危機管理 | ヒヤリハットの作成・活用 | 月１回 | 随時 | [redacted] | 記録 | 必要に応じて記録を行なっている。 | 月１回の職員会にて報告 | 学童に発表・報告 | ヒヤリハットの捉え方 |
| | | | 職員の健康診断（予防接種・定期健診など） | 年１回 | 健康 | [redacted] | 健康記録 | 日時を決定、今後実施する。 | 担当を決め職員へ投げかけ | 体系化し、具体的に確認済 | 計画性をもつ。 |
| | | | 避難訓練（火災・地震・津波・消火訓練）、不審者対応 | 月１回 | 月１回実施 | [redacted] | 実施報告書 | 地域の防災訓練に積極的に参加している。 | 想定外のことを実施、取り組み | 定着してきた。 | 計画に基づいて実施 |
| | LLを柱とした保育実践と研鑽 | ラボ（実践＝学び）（研究＝ふりかえり）<br>スケール（評価） | ホームページの充実、実践 | 月3～4回 | 週１回実施 | [redacted] | ホームページ・ネット | 担当者を決め実施している。 | 課題をもって実践を重ねる。 | 月２回実施 | 計画表の作成 |
| | | | AED、 アナフィラキシー対応、熱性痙攣 | 随時 | 各１回 | [redacted] | 運営会議録 | 事例をもとに実施している。 | 一人ひとりの責任をもてる対応 | 実践を重ねる。 | アクティブラーニング、研修、企画を実践 |
| | | ライブラリー（データベース・ファイリング） | 遊戯室・図書室・コーナーの充実 | 通年 | 随時 | [redacted] | ミーテングにて報告 | 担当者を決め実施、充実してきている。 | ２人１組　担当責任者の実践 | 記録・報告を出す。 | 責任をもって取り組む。 |
| アカデミー&マネージメント | 研修の充実 | 内部研修 | ライジン、施設間交流 | 期に１回 | 年3～4回 | [redacted] | 人事考課目標シート | 希望者を募り実施している。 | 輪番制、進め方など、職員間で考える。 | 具体的計画の立案 | 計画実践 |
| | | | 制作物作成（掲示板、壁面用他） | 毎月 | 月１回 | [redacted] | 掲示 | 学生と職員により都度掲示している。 | 担当者と学童で企画、実践 | 充実している | 計画性をもって実施 |
| | | 外部研修 | 社協・青少年課・私保連の各種研修 | 随時 | 随時 | [redacted] | 研修報告 | 積極的に紹介、参加している。 | 案内を丁寧にする。 | 積極的参加 | 年間計画をたてる。 |
| | | 法人内研修 | ６施設の保育環境・保育実践の振り返り | 通年 | 随時 | [redacted] | 記録 | リーダー会議にて情報交換を行なっている。 | 発題、発言する機会を増やす。 | 職員間で子どもの話をする機会をもつ。 | 月1回は実施 |
| | 人財育成・人事評価 | ヘキサゴン　（スキルアップ支援プログラム） | 年間目標（反省・振り帰り）チェックシート | 期ごと | 年3回 | [redacted] | 記録 | 日案をたて、振り返りをすることで進展を図っている。 | 年間カリキュラムを作成 | 日案・保育計画の充実 | 変更していく作業を行う。 |
| | | | スキルアップ支援（サーキット、手あそび、体操、ゲームなど） | | | | | | 何が課題かを探る。 | 実践を重ねる。 | 学童保育を追求する。 |
| | | 職員面談　（自己評価・他者評価） | 館長・リーダーとの面談 | 6月・11月・3月 | 年3回 | [redacted] | 人事考課表・目標達成評価など | １回目実施済み。 | 日ごろから子どもの話をする　1人30分～1時間できた | 自己課題と人間関係の相互性 | 日頃より実践を重ねる |
| マネージメント | 財務 | 人件費率マネジメント | 適正な職員配置 | 予算、補正など | 随時 | [redacted] | 会計データーを見る | 毎月確認を行なっている。 | タイムカード、有給、残業などの確認 | 本部・なぎさGとのすり合わせ | 1人ひとりの働き方チェック |
| | | 適切な予算立てと予算執行 | 財務会議 | 予算、補正・決算 | 年2～3回 | [redacted] | 報告書 | 十分にはできていない。 | 無駄なものを買わずに子どもの遊びに必要なものを購入 | 必要な物品購入と雇用の充実 | 常に大きな買い物は予算、検討 |
| | 運営強化 | 人財定着化と個々の底上げ方法（マネジメントブック糧の活用など） | コンセプトブック・マネジメントブック・糧を使った読み合わせ | 毎月 | 月１回 | [redacted] | 会議議事録 | 職員の集まる時に、読み合わせを行なっている。ページを選んだ人が読んでいる。 | 浸透しているので続ける。 | 職員が自分の言葉で語る。 | 機会を設ける計画性 |
| | | 情報とテクノロジーを活用した運営 | iPad導入、ICT導入 | 随時 | 通年 | [redacted] | 情報共有・振り返り | 担当者を決め実施している。 | 継続していく。 | 担当者を決めるが、複数でかかわる。 | ミマモルメの活用 |
| | | 園の魅力を伝わらせるための広報・宣伝実践 | HP活用 | 随時 | 随時 | [redacted] | 広報活動 | 週1回実施している。 | 継続していく。 | 担当者を決めるが、複数でかかわる。 | 目的を明確化する。 |
| | | 採用活動の強化 | ロコミ・ハローワーク・タウンワークの利用 | 随時 | 随時 | [redacted] | 案内・面接 | 次年度に向けて継続して行なっている。 | 施設長で話し合い、共有する。 | コストのかからない取り組み | 継続する。 |
| | | 制度の活用と改善（ロビー活動など） | ロビー活動の強化（こども青少年課・地域自治体・近隣児童館へのアプローチ） | 随時 | 随時 | [redacted] | 記録 | 積極的に関わっていく。 | 他施設の長をまきこんでいく。 | 自治会との交わりを心がける。 | 継続する。 |

# 2022年度　稗田学童保育コーナー　事業報告

| 分類 | 大項目 | 重点項目（全園） | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過（半年後） | 結果<br>（2月記入） | ふりかえり（2月記入） | 次年度の取り組み<br>（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アカデミー（保育&教育の質の向上） | 理念に基づいた教育・保育 | 教育・保育方針<br>(同年齢の活動・異年齢の活動Wスタンダード) | 児童が主役となれる環境設定、活動時間・場所の保障、他児を認められる教育、高学年によるリーダーシップ力育成 | 運営会議 | １０回 | [redacted] | 運営会議議事録 | 継続実施中。 | 子ども達の成長確認 | 毎月の職員会議出席と内容充実 | 計画をたて目標をもつ。 |
| | | | 学童運営会議 | 毎月 | 月１回 | [redacted] | 乳幼児会議議事録<br>運営会議議事録 | 毎月実施済み。 | 課題の内容の検討 | 一人ずつ必ず子どもの姿を話す。 | 近々の話題の話し合いを継続する。 |
| | | 保育者の関係性向上（同僚性向上） | 場面記録、打ち合わせ会議、グループ会議 | 随時 | １０回 | [redacted] | 記録 | 記録を行い、必要に応じて話し合うを行う。 | 職員の意識づけが課題 | 連絡・共有ノートの活用方法 | ミーティングにて発表を予定 |
| | | 保護者対応（保護者支援） | ①学童保育②個別懇談会 | ①随時<br>②学期に１回 | ①随時<br>②3回 | [redacted] | 記録 | 実施している。 | 充実している。 | 職員全体に浸透 | 記録の充実・報告 |
| | 地域貢献 | 小学校・養成校など学校との連携 | 交流会（コーナー・小規模園・こども園・小学校・中学校） | 随時 | 随時 | [redacted] | 記録 | 実施中。 | 小学校との関係に注視 | 関係を良くする努力 | 交流を広げる。 |
| | | | トライやるウィーク、ワークキャンプ | 不定期 | 未定 | [redacted] | 記録 | 未実施。 | 実施できなかった。 | 実施できなかった。 | 検討していく。 |
| | | ボランティアプロジェクト<br>（対外、対内、両方とも含む） | ボランティア受け入れ | 随時 | 随時 | [redacted] | 案内 | 未実施。 | 実施できなかった。 | 実施できなかった。 | 検討していく。 |
| | | | ①将棋の会②けん玉の会 | 通年 | ①月１回<br>②月1回 | [redacted] | 案内 | 定期的に来てもらえるボランティアが見つからず未実施。見つかり次第積極的に行いたい。 | 実施できなかった。 | 実施できなかった。 | 検討していく。 |
| | | 地域の子育て支援 | （館外）子育てサークル | 学期毎 | 3回 | [redacted] | 記録 | 未実施。 | 実施できなかった。 | 実施できなかった。 | 検討していく。 |
| | | | 居場所づくり事業　、学習支援 | ４月～３月 | 週２回 | [redacted] | 案内・記録<br>補助金申請 | 継続中。 | 一部子どもに合わせて実施 | 子どもの把握 | 細やかな配慮を意識する。 |
| | 委員会活動の強化 | 校庭あそび | 道具を使う活動（縄跳び・フープ・ボール・一輪車など） | 通年 | 随時 | [redacted] | 計画案 | 実施中。 | 時間を決めて実施 | 小学校との関係性構築 | あそびの充実 |
| | | | 道具を使わない活動（鬼ごっこ・かくれんぼ・ケンパなど） | 通年 | 随時 | [redacted] | 記録 | 実施中。 | 校庭利用頻度増 | 職員の積極的な関わり | あそびの研修 |
| | | 保育環境 | 制作（手作り玩具・プレゼント・飾りなど）、廃材の活用 | 通年 | 月１回実施 | [redacted] | 計画と児童への紹介 | 実施中。 | 得意な職員が実施 | 時間・場所の確保 | 子どものニーズに合わせていく。 |
| | | | 室内遊具・玩具の安全チェックと個数確認、図書コーナーの充実 | 通年 | 随時 | [redacted] | 記録 | 実施中。 | 充実してきている。 | 役割の充実 | さらに環境整備 |
| | | エコ | 節電・節水、消耗品の使用方法の検討 | 随時 | 毎週 | [redacted] | 振り返り | 物価が上昇している。<br>今後コロナ補助金の申請を予定。 | 物価、予算との比較 | 報告・計画の徹底 | 職員への浸透を目指す。 |
| | | 危機管理 | ヒヤリハットの作成、定期見直し | 四季 | 毎月 | [redacted] | 記録 | 必要に応じて記録をしている。 | 会議にて報告 | 報告から対話 | 継続していく。 |
| | | | 職員の健康診断（予防接種・定期健診・生活習慣病予防検診） | ５月 | 年1回 | [redacted] | 健診記録 | 日時が決定し、今後実施する。 | 11月に確認、実施 | 書類の提出 | 継続していく。 |
| | | | 避難訓練（火災・地震・津波・消火訓練）不審者対策訓練 | 月１回 | 月１回実施 | [redacted] | 避難訓練実施報告書 | 地域の防災訓練に積極的に参加している。 | 担当者が計画・立案 | 問題点・課題の見直し実施 | あらゆる場面の計画 |
| | LLを柱とした保育実践と研鑽 | ラボ（実践＝学び）（研究＝ふりかえり）<br>スケール（評価） | ホームページの活用 | 月2～3回 | 月2～3回実施 | [redacted] | 職員による<br>ホームページアップ | 担当者により実施中。 | 充実してきている。 | 職員への浸透 | 継続していく。 |
| | | | ＡＥＤ・アナフィラキシー対応・熱性けいれん | 未定<br>（なぎさ・はらだ） | 各１回 | [redacted] | 運営会議議事録 | 担当者が研修に参加し共有している。 | 報告・記録あり | 全体へ報告 | 継続していく。 |
| | | ライブラリー（データベース・ファイリング） | 保育室・図書コーナーの充実 | 通年 | 随時 | [redacted] | 打ち合わせ会議内での報告 | 担当者により実施中。充実してきている。 | 担当者を決めて実施 | チェックしていく。 | 継続していく。 |
| アカデミー&マネージメント | 研修の充実 | 内部研修 | ライジン、施設間交流 | 6月・11月・3月 | 年３回 | [redacted] | 人事考課目標シート | 希望者を募り実施している。 | 実施できなかった。 | シフトの工夫が必要 | 継続して方法・内容模索 |
| | | | 制作物作成（掲示板用・壁面用他） | 毎月 | 月１～２回 | [redacted] | 掲示 | 学童と職員により都度掲示している。 | 充実、季節感を出す。 | 輪番制定着 | 子どもの力を引き出す。 |
| | | 外部研修 | 社協・青少年課の各種研修 | 随時 | 随時 | [redacted] | 研修報告 | 希望者募る | 希望者なし | 随時紹介 | 継続していく。 |
| | | 法人内研修 | 児童館・コーナー等の行事に参加する | 通年 | 随時 | [redacted] | 振り返り | 積極的に参加している。 | 参加している。 | 全員に周知 | 積極的に参加する。 |
| | 人財育成・人事評価 | ヘキサゴン　（スキルアップ支援プログラム） | 目標チャレンジシート作成・振り返り | 6月・11月・3月 | 年３回 | [redacted] | 記録 | 実施中。 | 反省・振り返り作成 | 左記を活かすために考察 | 自己理解、専門性の学び |
| | | | スキルアップ支援（サーキット・制作・ゲームあそび） | 前期・後期 | 年2回 | [redacted] | 記録 | 実施中。 | 職員の内容理解、把握できず | 会議の充実 | あそびの研修実施 |
| | | 職員面談　（自己評価・他者評価） | 館長・コーナー長と面談 | 6月・11月・3月 | 年３回 | [redacted] | 人事考課表<br>目標評価表 | 1回目実施済み。 | 2回目、希望により3回目 | 時間を設定する。 | 日々の対話を増やしていく。 |
| | 法人外部評価 | 第三者評価や施設関係者評価(学校評価)の活用 | | | | | | | | | |
| マネージメント | 財務 | 人件費率マネジメント | 適正な職員配置 | 月1回 | 月１回確認 | [redacted] | シフト確認 | 毎月確認している。 | 事務担当の話をする。 | なぎさGとすり合わせ | 固定勤務依頼、定着 |
| | | 積立金確保 | | | | | | | | | |
| | | 適切な予算立てと予算執行 | 財務会議 | 補正時期・年度末 | 2回 | [redacted] | 決算報告書 | 毎月確認している。 | 毎月確認 | コロナ包括費の検討 | 必要備品購入、予算含む |
| | 運営強化 | 人財定着化と個々の底上げ方法<br>（マネジメントブック糧の活用など） | コンセプトブック・マネジメントブック・糧を使った読み合わせ | 毎月 | １２回 | [redacted] | 会議議事録 | 十分にはできていない。 | 職員が選択、解説 | 職員の意識、評価 | 継続していく。 |
| | | 情報とテクノロジーを活用した運営 | iPadの導入・ICT導入 | 随時 | 通年 | [redacted] | 情報共有<br>振り返り | 実施中。 | 職員全体周知 | 役割分担定着 | 継続していく。 |
| | | 園の魅力を伝わらせるための広報・宣伝実践 | ホームページの活用 | 随時 | 随時 | [redacted] | 月2～3回の<br>広報活動 | 毎月実施している。 | 回数を増やして実施 | 月２回実施 | 継続していく。 |
| | | 採用活動の強化 | ボランティア等連携大学へのはたらきかけ | 随時 | 随時 | [redacted] | 案内・記録 | 次年度に向けて準備中。 | 必要に応じて行う。 | 社協より依頼を受ける。 | 積極的に働きかけていく。 |
| | | 制度の活用と改善（ロビー活動など） | ロビー活動の強化（こども青少年課・地域自治体・近隣児童館へのアプローチ） | 随時 | 随時 | [redacted] | 記録 | 積極的に関わる。 | できるだけ努力を重ねた。 | チャンスを見逃さず、見極める。 | 継続して働きかける。 |

# 2022年度　稗田学童保育コーナー分室　事業報告

| 分類 | 大項目 | 重点項目（全園） | 実施項目（各園） | 時期・場所 | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過（半年後） | 結果<br>（2月記入） | ふりかえり（2月記入） | 次年度の取り組み<br>（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アカデミー（保育＆教育の質の向上） | 理念に基づいた<br>教育・保育 | 教育・保育方針<br>（同年齢の活動・異年齢の活動Wスタンダード） | 児童が主役となれる環境設定、活動時間・場所の保障　他児を認められる教育　高学年によるリーダーシップ力育成 | 運営会議 | 最低１０回 | [redacted] | 運営会議議事録 | 継続して実施している。 | 今年度後半より定着してきた。 | 終わりの会の充実。プログラムのもち方。 | 子ども中心の進め方の学び。 |
| | | | 学童運営会議 | 毎月 | 週１回 | [redacted] | すこやか保育<br>子育て会議録<br>運営会議議事録 | 毎月実施している。 | 職員の役割より明確化。 | 担当者で親子間事業目的共有。 | １年間計画・目的役割の明確化。 |
| | | 保育者の関係性向上（同僚性向上） | 場面記録、打ち合わせ会議、グループ会議 | 随時 | 最低１０回 | [redacted] | 記録 | 記録し、話し合う場を設ける。 | 内容の検討ができなかった。 | 問題意識がなかった。 | 職員共有の徹底。 |
| | | 保護者対応（保護者支援） | ①学童保育　②個別懇談会 | ①随時　②学期に１回 | ①随時　②３回 | [redacted] | 記録 | 実施している。 | 学童に対する意識が大きい。 | 子どもがいうことをすべて認めている。 | 保護者との関係性の構築。 |
| | 地域貢献 | 小学校・養成校など学校との連携 | 交流会（コーナー・小規模園・こども園・小学校・中学校） | 随時 | 随時 | [redacted] | 記録 | 実施している。 | 中学年が中心となる。 | コロナ禍の中、少ない回数である。工夫して実施。 | 長期休暇に実施。 |
| | | | トライやるウィーク・ワークキャンプ | 不定期 | 未定 | [redacted] | 記録 | 実施していない。 | 下半期よりトライやるは実施できた。 | トライやる発表会でも発表を聞けた。 | 次年度も積極的に取り入れたい。 |
| | | ボランティアプロジェクト<br>（対外、対内、両方とも含む） | ボランティア受け入れ | ７・８月 | 随時 | [redacted] | 案内 | 実施している。 | 多くのボランティアをお願いできた。 | 多くの体験ができた。 | 次年度も積極的に取り入れたい。 |
| | | | ①将棋の会②けん玉の会 | 通年 | ①月１回<br>②月１回 | [redacted] | 案内 | 担当を決め実施している。 | 実施することができた。 | 職員が定期的に取り組んだ。 | 継続して実施していく。 |
| | 委員会活動の強化 | 食育 | クッキング(原田児童館・稗田学童保育コーナーと合同保育) | 毎月 | 月１～２回 | [redacted] | 計画案 | 収穫祭を行なっている。 | 順調に取り組んでいる。 | 工夫を凝らして取り組めたのはよかった。 | 継続して実施していく。 |
| | | 保育環境 | 飼育・栽培（生きもの・植物）・・・当番活動へ | 通年 | 随時 | [redacted] | 記録 | 実施している。 | 取り組めたのは取り組めた。 | 目的・ねらい・内容など中身を要検討である。 | 繰り返しチャレンジしていく。 |
| | | | 制作（手作り玩具・プレゼント・飾りなど）、廃材の活用 | 通年 | 月１回実施 | [redacted] | 計画と児童への紹介 | 定期的実施している。 | 子どもに合わせて実施。 | 目的・ねらい・内容など中身を要検討である。 | 節約も意識して継続していく。 |
| | | | 室内遊具・玩具の安全チェックと個数確認、図書コーナーの充実 | 通年 | 毎週 | [redacted] | 記録 | 週１回実施している。 | 実施できた。 | ２年計画を参考に取り組めた。 | 継続して実施していく。 |
| | | エコ | 節電・節水・消耗品の活用方法の検討 | 随時 | 毎月 | [redacted] | 振り返り | 物価が上昇している。<br>コロナ補助金を申請し利用する。 | 検討は継続してしていた。 | 毎月の請求書照合をミーティングにて報告。 | 継続して節約を考えていく。 |
| | | 危機管理 | ヒヤリハットの定期見直し、作成 | ９・３月 | 随時 | [redacted] | 記録 | 必要に応じて記録をしている。 | 必要に応じて記録・報告。 | 月1回の職員会議にて報告。 | ヒヤリハットの定義を考える。 |
| | | | 職員の健康診断（予防接種・定期健診・生活習慣病予防検診） | ５月<br>（兵庫県医学予防協会） | 年1回 | [redacted] | 健診記録 | 日時が決定し、今後実施する。 | 日時を決定し、実施した。 | 担当を決めて、各職員へ投げかけ、実施。 | 計画性をもって継続して実施していく。 |
| | | | 避難訓練（火災・地震・津波・消火訓練）不審者対策訓練 | 月１回 | ①月１回実施 | [redacted] | ①避難訓練実施報告書 | 地域防災訓練に積極的に参加。毎月施設で実施している。 | 地域の防災訓練に参加。月一度避難訓練実施。 | 想定外の事を実施。反省・振り返りをし、繰り返し取り組む。 | 計画に基づいて実施していく。 |
| | LLを柱とした<br>保育実践と研鑽 | ラボ（実践＝学び）（研究＝ふりかえり）<br>スケール（評価） | HPの充実 | 月２～３回 | 月１回実施 | [redacted] | 職員による<br>HPネットアップ | 担当者が実施している。 | 担当者を決めて実施した。 | 課題をもって実践を重ねる。 | 継続して月一回実施していく。 |
| | | | ＡＥＤ・アナフィラキシー対応・熱性けいれん | 未定（なぎさ・はらだ） | 各１回 | [redacted] | 運営会議議事録 | 事例をもとに実施した。 | 事例をもとに実施した。 | 一人ひとりの責任をもてる対応。 | アクティブラーニング研修企画を実践。 |
| | | ライブラリー（データベース・ファイリング） | 保育室・図書コーナーの充実 | 通年 | 随時 | [redacted] | 打ち合わせ会議内での報告 | 担当者が実施している。 | 担当者を決めて進行中。 | 二人一組担当責任者の実践。 | 整理整頓と責任をもって取り組む。 |
| アカデミー＆マネージメント | 研修の充実 | 内部研修 | ライジン | 6月・11月・3月 | 年3回 | [redacted] | 人事考課目標シート | 希望により実施している。 | 希望者を募り、実施。 | 輪番制で進め方等、職員で考える。 | 具体的な計画実践を考える。 |
| | | | 制作物作成（掲示板用・壁面用他） | 毎月 | 月１～２回 | [redacted] | 掲示 | 毎月実施している。 | 学童作品中心に掲示。 | 担当者と子ども達で企画実践。 | 計画性をもって、担当者を決めて実践。 |
| | | 外部研修 | 社協・青少年課の各種研修 | 随時 | 随時 | [redacted] | 研修報告 | 実施している。 | 担当者を決めて実施。 | 課題をもって実践を重ねる。 | 研修・計画表の作成を行ない実践していく。 |
| | | 法人内研修 | 児童館・コーナー等の保育環境に参加する | 通年 | 随時 | [redacted] | 研修報告 | 実施している。 | 事例をもとに実施。 | 一人ひとりの責任をもった対応が重要。 | アクティブラーニング勉強法で対話を重ねる研修企画を実践。 |
| | 人財育成・人事評価 | ヘキサゴン　（スキルアップ支援プログラム） | 目標チャレンジシート作成・振り返り年間目標 | 6月・11月・3月 | 年3回 | [redacted] | 記録 | 情報交換・リーダー会議にて実施している。 | 担当者を決めて進行中。 | 担当責任者の実践を重ねる。 | 責任をもって参加、報告の取り組み。 |
| | | | スキルアップ支援（サーキット・制作・ゲームあそび） | 前期・後期 | 年2回 | [redacted] | 記録 | 目標を立て振り返りをすることで遂行している。 | 希望者を募り、実施。 | 輪番制での進め方等、職員間で考える。 | 計画・立案・実践（日案・振り返り等ねらいも明確に） |
| | | 職員面談　（自己評価・他者評価） | 館長と面談 | 6月・11月・3月 | 年3回 | [redacted] | 人事考課表・目標評価表 | １回目は実施済み。 | 実施することができた。 | 面談を継続してしていかなければならない。 | 時期を見計らう必要あり。 |
| マネージメント | 財務 | 人件費率マネジメント | 適正な職員配置 | 会計打ち込み時 | 月１回確認 | [redacted] | 会計データ | 毎月確認を行なっている。 | 実施することができた。 | 求人案内を丁寧にする。 | 職員確保・定着のための求人募集。 |
| | | 適切な予算立てと予算執行 | 財務会議 | 補正時期・年度末 | 3回 | [redacted] | 決算報告書 | 十分にはできていない。 | リーダー会議・職員会議にて情報交換 | 初題・発表する機会を増やす。 | 月1回収支の確認を必ず行なう。 |
| | 運営強化 | 人財定着化と個々の底上げ方法<br>（マネジメントブック糧の活用など） | コンセプトブック・マネジメントブック・糧を使った読み合わせ | 毎月 | １２回 | [redacted] | 会議議事録 | 職員が集まる時に読み合わせを行なっている。 | 月案→振り返りと流れをつくる。 | 年間カリキュラム作成 | 行事日案の作成・職員会議・研修会の参加徹底 |
| | | 情報とテクノロジーを活用した運営 | iPadの導入検討・ICT導入 | 上半期 | ４・５月 | [redacted] | タブレット | 担当者が実施している。 | 担当者が継続して実施。 | 課題の明確化、底上げ方法を模索。 | 小学校とのすり合わせを徹底していく。 |
| | | 園の魅力を伝わらせるための広報・宣伝実践 | HPの充実 | 随時 | 随時 | [redacted] | 原則月１回の広報活動 | 月1回以上実施している。 | 月２回を実施。 | 日常の子どもとの対話をしていくこと。 | 月２回目的、ねらいをもって実施していく。 |
| | | 採用活動の強化 | 地域交流センターボランティア等連携大学へのはたらきかけ・口コミ・ハローワーク・タウンワーク | 随時 | 随時 | [redacted] | 案内・記録・面談 | 次年度に向けて継続して行なっている。 | 必要な時に利用させてもらう。 | 施設長で話し合い、共有する | 継続して時期をみながら実施していく。 |

# 2022年度　小規模園（はらだ・なのは・元町はっと）　事業報告

| 分類 | 大項目 | 重点項目（全園） | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過<br>（半年後） | 結果（2月記入） | ふりかえり<br>（2月記入） | 次年度の取り組み<br>（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アカデミー（保育＆教育の質の向上） | 理念に基づいた教育・保育 | 教育・保育方針(同年齢の活動・異年齢の活動Wスタンダード) | ０・１・２歳児のカリキュラム（年間カリキュラム・期案）の情報交換 | ３か月に1回<br>施設長会議 | 年４回 | [redacted] | 年間カリキュラム<br>期案 | 共有することや気になる点があれば施設長会議で議題に挙げている。 | 議題によっては臨時で施設長会議を開催し、即時対応、話し合いの場が持てている。 | 施設長間でしっかりと共有が出来た。 | 次年度も３か月に１回開催予定。 |
| | | | 期の振り返り | 各期の最終週 | 年８回 | [redacted] | 期の振り返り | なのは・はらだは、期末の週案会で行なっている。<br>元町はっとは、期の振り返りが浸透していないので、今後は時間を設けて行なう。 | 期末に週案会の後、期の振り返りを行なった。 | 子どもの姿を１～２か月のある程度長い期間で捉え、職員間で共有することができた。 | 次年度も引き続き行ない、子どもの育ちや保育の課題を共有していく。 |
| | | | 週案会議 | 毎週木曜日 | 週１回 | [redacted] | 週案 | 毎回意見を出しあい、共通理解して次に繋げている。 | 週に１回行なうことができた。 | 子どもの発達など、細かい変化も共有しやすく、それに伴った環境の工夫も取り組むことができた。 | 次年度も継続して、週に１回行なう。 |
| | | 保育者の関係性向上（同僚性向上） | ケース会議（エピソード） | 毎月 | 月1回 | [redacted] | 議事録 | 月1回の小規模検討会や他のエピソードで気になることをその都度話している。 | 毎月各園輪番でエピソードを出し合い、定期的に行なえている。 | 今ある子どもの姿から、育ちや捉え方、関わりなどの視点を皆で考え、共有する機会となった。 | ５月～２月の年10回開催で行なう。 |
| | | | 場面記録、場面ビデオ検証 | 半年に1度 | 年２回 | [redacted] | 議事録 | なのは・はらだは、6月に実施。後期１１月に実施予定。<br>元町はっとは、その場にいた職員全員で場面の検証を都度している。 | なのは・はらだは、予定通り１１月に後期分を行ない、年２回行なうことが出来た。<br>元町は、時間を設けて事例を取り上げての検証はしていない。 | 姉妹園での生活やあそびの様子を見ることで、自園の課題がわかったり、アドバイスをもらうことが出来、良い機会となった。 | 次年度は、小規模4園で実施予定。 |
| | | 保護者対応（保護者支援） | 保護者親睦会（保護者顔合わせ） | ４・12月 | 年２回 | [redacted] | 日案・振り返り | なのは・はらだは、６月にzoomで行なう。<br>元町はっとは行なっていない。 | 2回目は1月に開催。計2回実施。 | 1回目は保育内容中心、2回目は保護者同士の親睦をねらいとし、内容を変えることでそれぞれ有意義な内容となった。 | 元町はっとは、次年度より年２回春と秋に実施予定。<br>なのは・はらだは、春と冬に実施予定。 |
| | | | 個人懇談（保育参加時） | はらだ・なのは10月<br>元町はっと随時 | 随時 | [redacted] | 保護者振り返り | 元町はっとは、10月・11月の保育参加で実施。<br>なのは・はらだは、１１月保育参加時に実施。 | なのは・はらだは、11月に実施することができた。<br>元町はっとは、保育参加時に実施した。 | 保護者に園での子どもの様子を知っていただいたり、家庭での姿など情報交換する良い機会となった。<br>発達記録の担当者が行なうことで、より密に話ができた。 | 次年度も実施したい。 |
| | 地域貢献 | 連携施設・地域との交流 | ３園…なぎさグループ・原田グループとの交流会 | ８月 | 2回 | [redacted] | 日案・振り返り | 日程確保が難しく、同日でamなのは、pmはらだとなったが問題なく交流できた。人数が8名程と多かったが、いろんな子ども同士の関わりがあり良かった。元町はっとは、施設内でコロナ陽性者が出た為今年度は中止。 | なのは・はらだは予定通り実施できた。 | なのは・はらだは、コロナ流行で日程が調整が難しかったので、次年度は早めに日程を確保するようにする。 | 元町はっとは、児童館の夏休みを利用して８月に実施予定。児童館館長と話し合い決める。<br>今年度同様に、夏休み中に交流を実施する。 |
| | | | はらだ・なのは…だいな幼児園へ　①体育あそび<br>②行事参加 | ①毎週<br>②8月 | ①月4回<br>②随時 | [redacted] | 週案<br>行事日案 | 夏祭りは人見知りがあり、1歳児の参加は難しかった。2歳児は喜んで参加し幼児と関わりを持てていた。日頃からもう少し触れ合える機会を持てるとさらによいと思う。 | 低月齢児は小規模園でも十分に活動できていたため、1歳児は高月齢のみ2歳児と共にサーキットを行なった。 | 2歳児と1歳児高月齢児はだいなで活動することに期待を持っていた。1歳児は無理のない範囲で参加するようにした。 | 夏祭りは行事のねらいや発達段階を考慮し、2歳児のみの参加にする。サーキットは、2歳児のみでスタートし、今年度同様に無理のない範囲で1歳児の参加を試みる。 |
| | | | 元町はっと…神戸ゆたか園へ | 毎月 | 月１～２回 | [redacted] | 週案 | 月に2回、定期的に行ない交流がもてている。 | 継続して月２回、交流をしている。 | 交流の回数が増えるごとに、子ども達の中にもどんな遊具があるかが分かり、ゆたか園に行くことを楽しみにする姿が見られた。 | 次年度も引き続き行ない、交流の機会をもつ。 |
| | | | 元町はっと…元町商店街夜市出店 | 商店街 | 年1回 | [redacted] | 日案 | まといれとコインすくいを計画。準備をすすめている。 | まといれとコインすくいを出店。予想を大きく超え、200人余りの方が利用。多くの方で賑わった。 | 次年度も開催であれば出店を検討し、自園のアピールと地域貢献を目指す。 | 今年度初の出店で元町夜市の様子がよく分かったので、次年度は内容の見直しを行ないながらさらに盛り上げていきたい。 |
| | | | 元町はっと…こどもライブ | 商店街 | 年３～４回 | [redacted] | 日案 | POPなどを作ることで保護者の方に参加していただくことができている。地域の方も足を止め見て頂けている。 | 12・1・2月の冬の期間は天気の都合により開催を見送った。 | 地域との交流の機会にもなり、楽しみに来られる方もおり、和やかな会が行なえている。 | 次年度は年間行事に組み入れ、１年間のスケジュールを商店街側に掲示する。 |
| | | 地域の子育て支援 | 一時預かり | 通年 | 通年 | [redacted] | 一時保育利用報告書 | なのは・はらだは、非定形利用が少ないため、全体数は少なめになっている。元町はっとは、今年度は登録数が減少、全体数も大幅に少なくなっている。 | 元町はっとは、秋以降、登録利用人数がかなり増加した。<br>なのは・はらだは、後半に非定型利用が増えたため２園間で調整してどちらか空いている方に予約を取れるように連携した。 | 元町はっとは園児募集チラシで一時保育の募集も同時に行なったことが結果につながったと思われる。<br>なのは・はらだは、非定型の保護者に入園を勧めるようにした。 | 元町はっとは非定型利用の方も多くいるので、在園児化をすすめてみる。一時保育を通して、地域のつながりを大切にする。<br>なのは・はらだは、現在利用中の方は全員次年度行き先が決まっている。14名受け入れに伴い、一時保育は実質ストップになる。 |
| | 委員会活動の強化 | 危機管理 | よい子ネット管理、災害時対策（非常食管理） | 通年 | 通年 | [redacted] | よい子ネット | 新しくBCPを作成した。年間を通して、随時更新していく。よい子ネットは、保育士も操作できるようにした。 | 手紙の配布と同時に配信も行ない、よいこネットの浸透につなげた。 | 元町はっとは、実際に保護者がどのくらい内容を把握出来ているかが今後の課題である。<br>なのは・はらだはよい子ネットが浸透している。 | 元町はっとは、よいこネットを保育士も操作できるようにする。<br>なのは・はらだは、災害時だけでなく日常の情報発信をよい子ネットメインで行なっていく。 |
| | | | ①避難訓練（火災・地震・水害・不審者・消火訓練）<br>②緊急時対応訓練（ＡＥＤ・アナフィラキシー対応・熱性けいれんなど） | 通年 | 毎月 | [redacted] | ①避難訓練実施報告書<br>②緊急時対応訓練報告書 | なのは・はらだは、８期に分けて計画通りに実施している。<br>元町はっとは、①は日中の想定が多いので朝・夕の想定も行なっていきたい。 | ①朝夕の想定で実施した。②全体会の時に職員全員で確認・共有が行なえている。 | 避難訓練は１２カ月間実施できた。<br>緊急時対応訓練は、前年度の振り返りを確認し見方を変えて職員間で意見を出し合えた。 | 緊急対応について、元町も次年度は8期で実施する。<br>なのは・はらだは継続していく。 |
| | | | 発生通知書、ヒヤリハット記録用紙、ヒヤリハット事案の情報共有と改善 | 毎月 | 月１回 | [redacted] | 全体会議事録 | なのは・はらだは、発生通知は記入し全体発信で共有している。<br>元町はっとは、年度始めはヒヤリハットを加えて記載することが少なかったため、日々のヒヤリハット事項を記載することを確認し、実行している。 | ヒヤリハットはその都度、職員間で話し合い改善点を話し合っている。 | 元町はっとは、ヒヤリハットの件数が増えると記載漏れもあったため、事象があった時は忘れず記載するようにする。<br>なのは・はらだは、毎月全体会で共有し実行している。 | ヒヤリハットの内容を踏まえて、大きな怪我等に繋がらないように努める。 |
| | | | 園外保育マニュアル・各種マニュアルの管理・改訂 | 毎月 | 月１回 | [redacted] | 各種マニュアル | マニュアルの内容、保管場所を職員間で確認し合うようにしている。 | 分からない時や疑問に思った時は職員間で都度確認し合うようにしている。 | 改定箇所を踏まえて、職員間での確認をこまめに行なうようにする。 | 次年度も引き続き職員でマニュアルの確認を行ない、意見を出し合い改訂に努める。 |
| | | | 環境チェック（①玩具の破損確認　②保育室危険箇所の確認　③保育士の関わり） | 毎月 | 月１回 | [redacted] | 自主点検表 | なのは・はらだは、週案会で実施している。<br>元町はっとは、気になることは園長に報告をしすぐに対応をしている。 | なのは・はらだは毎月継続して行なっている。 | なのは・はらだは週案会の日に行なうことで、意識してできた。 | 元町はっとは月末の週案会で実施する。<br>なのは・はらだは月初めの週案会の日に行なう。 |
| | | エコ | ①光熱費の削減（職員会で周知）　②消耗品の使用量を前年度と比較 | ①７・１月<br>②８・２月 | 年２回 | [redacted] | 職員会議議事録 | 全体会で周知し、エコを意識している。削減のために何が出来るか、全体会で具体的に話し合っている。 | コロナ渦、光熱費高騰により変動がある。 | 比較しにくい状況のため、職員への呼びかけもしにくかった。 | コロナ渦が治まったので、物品においても意識していきたい。 |
| | | 検診 | ①子どもの検診（内科検診、歯科検診、検尿）<br>②職員の健康診断（予防接種・定期健診・生活習慣病予防検診）乳がん・子宮がん検診（自己負担） | ①５月・６月・１１月<br>②４月～６月 | ①内科2回、他1回<br>②年1回 | [redacted] | ①健康記録<br>②健診記録 | 予定通り実施できている。 | 予定通り実施できた。 | 次年度も予定通りの実施を目指す。 | 元町はっとは、内科嘱託医から辞退の申し入れがあり、次年度みなと元町小児科に変更が決定。<br>なのは・はらだは、今年度同様姉妹園間で連携しながら予定を立てていく。 |

| 分類 | 大項目 | 重点項目（全園） | 実施項目（各園） | 時期・(場所) | 実施回数 | 担当者 | 確認事項 | 途中経過<br>（半年後） | 結果（2月記入） | ふりかえり<br>（2月記入） | 次年度の取り組み<br>（3月記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アカデミー（保育&教育の質の向上） | 委員会活動の強化 | 発行物 | HP更新 | 毎月 | 月１回 | [redacted] | HP | 順番に行えているので負担がない。 | 毎月５日に定期更新が出来ている。 | 輪番制にすることで、毎月負担なくできた。 | 次年度も継続して実施。元町も更新時によいこネット配信を行ない、保護者の周知につなげる。 |
| | | | 写真販売 | 2か月に1回 | 年６回 | [redacted] | 記録 | 毎月写真を見やすくまとめていく。 | 月ごとに写真の整理を行ない、フォルダに分ける等して管理しやすいようにした。 | 定期的に写真の整理をすることで写真をスムーズに選別し活用することができた。 | 引き続き定期的に写真整理をしていく。 |
| | | 誕生日 | 誕生日カード・プレゼント・誕生会の充実 | 毎月 | 月１回 | [redacted] | 園だより | 担当が主になってすすめている。また他の保育者の協力もあり、みんなで楽しい会が出来ている。 | 担当が主になってすすめている。また他の保育者の協力もあり、みんなで楽しい会が出来ている。 | 担当が主になってすすめ、みんなで楽しい会が出来た。 | 元町はっとは、パート職員にも出し物をしてもらい、みんなで楽しい誕生会を企画する。<br>なのは・はらだは季節にちなんだ出し物を取り入れながら職員で協力して会を盛り上げていく。 |
| | | 環境 | コーナーの充実（玩具の入れ替え・充実・研究） | 毎月 | 月１回 | [redacted] | 全体会議事録 | 子どもの年齢や子どもの様子に合わせて玩具の入れ替え、コーナーの配置、広さ、玩具を工夫した。 | 子どもの興味に即した掲示や玩具を提供できるように努めた。 | 姉妹園の玩具の素材や遊び方も参考に取り入れることで、楽しむことができた。 | 今後も子どもの様子や年齢にあった玩具や環境設定を行なえるように、日々協議していく。 |
| | LLを柱とした保育実践と研鑽 | リズム | リトミック（さくらさくらんぼ）・ふれあいあそびの研究 | 通年 | 随時 | [redacted] | 週案 | 運動会の種目で取り入れることで細かい動きなども保育者間で共有することができた。 | 週に１回程度活動に取り入れピアノの音をよく聞いて積極的に参加する姿が増えた。 | 自由あそび時間に子ども同士で動きを真似しあったり誘い合い自然にリトミックを楽しむ程親しんでいた。 | 継続的に行ない子どもたちがより丁寧に体を動かせるようにしていきたい。<br>室内で過ごす時間に多く取り入れることができた。 |
| | | サーキット | サーキットの環境整備・研究 | 通年 | 随時 | [redacted] | 週案・写真 | なのは・はらだは、子どもの発達や動きに合わせて行なっている。期ごとに話し合いをしている。<br>元町はっとは、年度始めより発達がすすみ出来ることが増えているので内容を見直していく。 | 子どもの様子や発達に合わせてサーキット内容を考えた。 | 様子や発達に合わせてユニットを考えることで、様々動きを楽しむことができた。 | 今後も期ごとにサーキット内容を話し合っていく。 |
| | | 絵画・造形 | 教材研究（素材・環境の整備、ドキュメンテーションの発信） | 通年 | 随時 | [redacted] | 週案<br>ドキュメンテーション | 季節の素材を大事にし、実際に触れて遊びを深めている。 | 子どもの興味や姿に合わせて素材を工夫した。 | ドキュメンテーションは後期は頻度が少なくなってしまった。計画的に行ないたい。 | 次年度も職員同士で話し合いながら素材の研究を行ないたい。 |
| | | 食育 | プランターでの植栽 | 通年 | シーズン毎１つ | [redacted] | 週案<br>園芸食育記録 | 元町は、アジサイの花の色に興味を持ち季節の花に関心が持てた。<br>なのは・はらだは、年間計画を立て旬の野菜に触れるように計画した。今年は夏野菜がよく育った。 | 様々な野菜や花を育て子ども達も植物に親しむことができた。 | 野菜の苦手な子どもにも関心が広がり一口食べてみようと思える良いきっかけにすることができた。 | 元町はっとは、日陰でも育てられる野菜を探し、栽培の経験もてるようにしたい。<br>なのは・はらだは、秋・冬以降の植栽が取り入れることが少なかった。 |
| | | | 簡単クッキング | 通年 | 年数回 | [redacted] | 週案<br>園芸食育記録 | なのはは、近所のお店にパンを買いに行き、自園で収穫した野菜を使いピザパンを作って試食した。はらだは、毎月誕生児のカップケーキを作ってみんなでお祝いしている。元町はっとは、商店街の八百屋さんで買い物体験を行い、野菜を使った食育を行なっている。 | 元町はっとは、月１回定期的に行なっている。<br>なのは・はらだは、イベントごとや季節の野菜など季節感に即したクッキングを行なうことができた。 | ２歳児を中心に繰り返し行なうことでエプロンの着脱を積極的に行ない意欲的に参加する姿が見られてとてもよかった。 | 元町はっとは、お弁当日を活用し、調理の先生とのクッキングも検討する。<br>なのは・はらだは、年間をとして自園でも食育ができるように計画していく。 |
| | | 生き物 | 生き物の飼育 | 通年 | 通年 | [redacted] | 週案 | 各園、すずむし・かぶとむし・カタツムリ・クワガタなどを飼育し、子ども達も一緒に観察、お世話している。歌や手遊びとリンクし季節も感じられるようにしている。 | 継続してお世話を続ける難しさを感じている。<br>元町はっとは1月に水槽をリニューアルした。<br>なのは・はらだは。土を変えたり子ども達と一緒に世話をする機会を設けられるように努めた。 | 水槽は、子どもの目につきやすく喜んで眺めている。<br>なのは・はらだは、冬場は世話できる虫がいなくなるので難しさを感じた。 | ２歳児でエサやり当番を決めることを検討する。<br>なのはは、環境的に飼育場所が難しい。コーナーの設置場所など検討が必要である。 |
| アカデミー&マネージメント | 研修の充実 | 外部研修 | ①私保連の各種研修　②キャリアアップ研修 | 随時 | 随時 | [redacted] | 研修計画<br>研修報告 | キャリアアップ研修、法人内研修を中心に受講計画を立てて受講している。りんごの木セミナーも追加で受講した。 | 予定通り実施できた。 | １年の計画を立ててすることで、一人ひとりに合った研修を割り当てることができた。 | 年度初めに一人ひとりに合った研修を計画し、漏れなく実施できるようにしていく。 |
| | | 内部研修 | 園内研修（保育内容・理念ブック） | 期毎 | 年8回 | [redacted] | 研修振り返り | 毎月全体会で理念ブックの内容を確認している。 | 糧や理念ブックの読み合わせ、保育内容に関する具体的な方法や実践を共有している。 | 年8回の積み重ねで、日々理念が浸透してきていることを実感する。保育内容は、講師側の学びも大きい。 | 継続して行なう。 |
| | | | ピアノテスト | 7月・11月 | 年2回 | [redacted] | 面接シート | 個々のレベルに応じてスキルアップできるよう助言している。<br>元町は1月に初の試みとして行なう予定。 | 個々にレベルアップが見られる。 | 年間を通して個々のレベルアップが図れている。 | 継続して行なう。 |
| | | | 小規模３園との保育者交換 | 7月・11月・2月 | 全職員がいずれかに1回以上参加する | [redacted] | 研修計画<br>振り返り | 9月に実施した。運動会前で互いにおけいこを見ることができて良かった。 | 後半は12月・2月に実施。 | 全員が姉妹園にいくことができた。 | 双方の園に学びになる機会になっている。継続して行なう。 |
| | | 法人内研修 | 評価スケール(乳児）、他園の行事を見に行く | 4回 | | [redacted] | 各園振り返り<br>全体会議議事録 | 11～1月に実施予定。 | 11～1月に実施した。 | 見てきたことを自園で共有。環境や遊びで取り入れられることを順に始めている。 | 年間研修計画で、各園まんべんなく参加できるようにする。 |
| | 人財育成<br>人事評価 | ヘキサゴン<br>（スキルアップ支援プログラム） | ヘキサゴン面談による支援<br>フルタイム職員…スキルアップシート、ヘキサゴンの実施<br>パート職員…目標チャレンジシートの実施 | 面談…<br>7月・12月<br>シート…<br>4月・10月・3月 | 年２回 | [redacted] | スキルアップシート<br>チャレンジシート | 施設長面談4・８月に実施。 | 3月に実施。その他、必要に応じて個別に実施した。 | 園として担ってほしい仕事やマインドを施設長から伝える大切な機会になっている。 | 継続して行なう。時期は要検討。 |
| | | 職員面談　（自己評価・他者評価） | 保育リーダーとの面談（必要に応じて施設長） | ５月・１０月・３月 | 年３回 | [redacted] | 面談記録 | なのは・はらだは4月に施設長面談をしているため、5月はなしで10月に実施。<br>元町は行なっていない。 | なのは・はらだは１０月に実施し、３月は施設長面談を行なうことで３回行なうことが出来る。 | 日頃なかなかできない保育観の共有や、スキルアップについて話し合うことができた。 | 次年度も継続して行ないたい。 |
| マネージメント（組織づくり・管理） | 財務 | 人件費率マネジメント | 適正な職員配置 | 随時 | 随時 | [redacted] | 予算書 | 職員配置や人件比率は、小規模3園＋だいなで総合的に考えることになった。栄養士、事務員の人件費を按分する。 | 職員の産休後、日により不足が出る時間帯があり、残業ではなく1か月単位で調整するようにした。 | 有給消化が多く、シフトを組むのに大変な時期があった。先も見越した職員配置も必要だと感じた。 | 適正な配置のために早めに先を見通して求人を掛けることも必要。 |
| | | 積立金確保 | 積立金１０%目標 | 年度末 | 年１回 | [redacted] | 月次資金収支計算書 | 目標通りに積立金確保できている。 | 目標通りに積立金確保できている。 | コロナ補助金、食材費高騰、光熱費の増加などあったが、総合的には問題なく収まっている。 | 予算に基づいて遂行していく。 |
| | 運営強化 | 小規模園共有フォルダの活用 | 小規模3園の共有フォルダを作成し、情報共有・業務の効率化を図る | 通年 | 随時 | [redacted] | 小規模共有フォルダ | データの受け渡しがスムーズに行なえている。受け渡しフォルダにずっと入っているものがあるので、期限を決めて削除していく。 | とても効率化が図れている。 | 効率的に行なえている。フォルダの整理ができていなかった。 | 引き続き効率化を図っていくために活用していく。半年に1度はフォルダの整理を行なうなど、ルールを明確化する。 |
| | | 採用活動の強化 | ハローワーク、就職フェアへの参加、養成校へのはたらきかけ | 随時 | 随時 | [redacted] | 案内・記録 | 求人に合わせて求人媒体を選定し、早めに動いている。 | 早めに動くが朝夕のパート保育士は難しいため、チラシ2000部配布、求人媒体を増やした。 | 早めに動くだけでなく、タイミングや面接の聞き取りも重要に感じた。 | タイミングや面接での人柄の見極めをしっかり複数で行なう。 |
| | | 制度の活用と改善 | 制度理解・活用 | 通年 | 随時 | [redacted] | 施設長会議議事録 | 補助金等申請に漏れがないか、３園＋だいなでその都度確認し合っている。理解不足のことがあれば、確認し共有している。 | その都度、対象なのか、対象になるための条件を確認し、必要に応じて認可申請の変更を行なった。 | 小規模間で確認し合うことで様々な気づきがあり、漏れなく申請できた。 | 週１回のミーティングも行なうことで、さらに迅速な共有を行なっていく。 |